

東北研究論文篇目

下宗孟頫

遼寧省立圖書館編印

東北研究論文篇目

(日文之部)

中華民國三十六年

序

東北舊有圖書館多矣。惜也今多接而未辦，有而不爲。舊存之書，既多積讀而藏，喜讀之人，遂亦望館興嘆。此種現象，應爲外人之所竊笑，抑亦國人之奇恥。遼寧省立圖書館名舊而實新，似因而實創。館舍新覓，舊館則塵封矣。館藏新置，原無一種一冊也。年餘以來，幸能逐步開展，供期應求。故對於蒐藏編覽等經常工作，雖甚繁重，但對推廣工作，仍同時並進。如東北研究論文篇目之編刊，其一例也。

東北地方爲中國領土之一部，在學術上何以需要提出作單獨之研究乎？此一問題之解答，不必更多費辭。試觀於近四十年來，中外學者對於東北學術研究上，何以竟有極多之專著與論文公表於世，即可以恍然於其故矣。

東北在學術上所佔之地位，確有其特殊性，亦有其重要性。且其富有研究之資料，堪爲研究之對象，誠如其在歷史上所具有之悠久年代，與其在地理上所具有之天府寶藏，大有取之不盡，用之不竭之勢。而四十年來其用力最勤收穫最豐者，自以日本人研究成績之表現爲最著。吾人誠不能否認日本過去曾有不少諱用之野心學者，離開純學術立場，以研究東北，致有諸多入主出奴之偏見，以擾亂世人對東北之觀聽。但彼之知我，究勝我之自知。則其研究結果，如僅視爲研究參攷資料，固無傷也。況在淪陷期間，日人動員其全國具有權威之專家學者，前來東北，從事各方面之學術研究工作。十數年來，其著爲專書，發爲論文，總其部居，校其篇目，林林總總幾於更僕難數。姑無論日人此種研究之精神，是否別有用心，研究之成果，是否完全正確。而其蒐材之富，立說之繁，著作之多，學人之衆，竟若是矣。吾人對於今日之東北，既深感舉世認識之不足，與國人參稽資料之缺乏，自應多取日人研究之成果以爲參考之資料。故關於東北研究有關參考書目與論文篇目之輯刊，實爲圖書館當前最爲迫切需要之一種工作也。

省館有見及此，因於編刊之外，另擬發刊之計劃。首爲論文篇目，次爲專著書目，各就中英日文分別編列，依次刊行。以在目前東北各館新藏書刊，日文較多，蒐求較易，故先着手日文之部，今論文篇目初編既竟，即將付梓，曷予爲序，因書所感歸之。

民國三十六年六月 卞宗孟序於遼寧省教育廳

叙 例

1. 本館選輯有關東北研究論文篇目分中文英文日文三部此爲日文之部係就近四十年來日文雜誌及報告刊物中發表有關東北研究之各種學術論文篇目加以編次
2. 本目採取之論文以純本學術立論且無時間性而適宜於國人之參考者爲限其別有用意或歪曲事實者概不濫入
3. 大別爲書目歷史地理政治經濟社會六大部門但爲便檢查起見依次別爲三十類不復標舉部門其各類之下間有更列小類者俾清眉目（參閱類次簡表）
4. 各類篇目排列其有時間關係者壹依時代爲序以便稽考
5. 考古類之時代排列次序難期精確因在東北有所謂金石併用時代及所謂新石器與金石併用時代之例排列次序以出土最古者爲準例如「牧羊城」排入新石器時代而不入漢代即其一例
6. 本目篇名書寫形式如左
論文篇名 著者 原載雜誌名稱 卷號次 年次
（例）遼東屬國の性質に就て 津田左右吉 史學雜誌 25—10 大三
7. 本目各篇原載刊物卷號及年次簡書如左
（例）2卷7號=2—7 第56號=56
昭和12年5月號=昭12—5 自2卷3號至3卷5號=2—3—3—5
明治==明 大正==大 昭和==昭
8. 本目所載刊物出版年次壹依原書書寫另於篇首附列中西及日本年曆表藉便對照
9. 本目前列類次簡表後附論文篇目索引俾便檢索索引排列按字典部首筆畫繁簡爲次其首一字爲日本字母者視該字母筆畫置於相同筆畫內之末如字母爲草書時則以真書爲準
10. 本目採用刊物限於瀋陽市內公私所藏難期齊備此爲初編嗣當續補
11. 本目倉促編就謬誤在所難免幸希讀者不吝教正

郝曉甫識於本館

目

書	總	目	錄	1
一	目	錄	4	
時	代	史	5	
	唐	以	5	
	高	代	5	
	遠	代	6	
	金	代	7	
	元	明	8	
	清	時	9	
	現	代	11	
史	地	考	11	
傳		證	14	
史		記	15	
考	古	石	15	
	外	金	16	
對	關	係	22	
地		象	23	
氣	地	理	23	
自	然	理	26	
人	文	志	27	
地	方	記	30	
遼	日	工	32	
人		圖	33	
地		圖	33	
交		通	33	
制		度	34	
宗		教	37	
語	言	字	39	
美	文	術	62	
建		築	62	
經	研	究	68	
地	方	經	69	
土	經	濟	69	
移		地	72	
農		民	76	
物	業	經	77	
金		濟	81	
財		產	82	
貿		融	82	
社		政	82	
民		易	84	
風		會	85	
		族	86	
	俗	民	86	
	俗	俗	94	

東北研究論文篇目

日文之部

書目：書録

支那・滿蒙關係目錄(目錄)
書香 11—1

滿洲史參考文獻目錄
旗田巍 著 歷史學研究 3
(滿洲史研究)

滿洲關係書籍解題
島田好 書香 11—111

大連圖書館所藏稀難書解題
島田好 永樂大典 書香

明治初中葉の滿洲文獻
田口稔 滿蒙 11—1

朝鮮臺灣滿洲研究の枝折
那珂通世 東學雜誌 11—1

滿洲關係論文抄録
書香 11—111

雜誌索引(滿洲)
1—10 下戸重繁 松

明治初中葉の滿洲文獻
田口稔 滿蒙文獻研究 2冊
大連圖書館刊 2版1

クレベシニエフ 滿洲文獻小論
堀竹雄 譯 東洋學報 1—112

滿洲研究參考書
喫茶 滿洲主人 學燈 8—1

滿洲に就て何を讀むべきか

田口稔 滿蒙文獻研究 2冊 大連圖書館刊
2版1 昭7

滿蒙支那關係重要記事索引
滿鐵調査月報 11—1121

昭和十五年の歴史學會東洋史
歴史學研究 12—15

歴史學年報(昭和十七年後)東洋史
歴史學研究 16—16

滿洲支那地方誌概観
植野武雄 滿鐵資料彙報

滿洲地方志綜合目錄
植野武雄 叢書月報 2

滿洲地方志考
植野武雄 奉天圖書館叢刊 17

滿洲地方志目錄
瀧川政次郎 資料公報 3—1111

滿洲土地問題關係文獻目錄
滿鐵資料彙報 6—1112

滿蒙農業に關する參考文獻
農 經濟研究 1—12

滿洲農業に關する若干の文獻につ
いて
佐藤洋 滿鐵資料彙報 6—112

滿洲農業關係文獻目錄
滿鐵資料彙報

昭10

昭9

昭15—13

昭10

昭11

昭7

昭7

昭7

昭11

昭17

昭7

昭7

昭15

昭18

昭15.5

昭14

昭14

昭15

昭18.2

昭16

昭7

昭6

昭16.1

奉天の生んだ兩叢刊に就いて (東北叢刊及萃升書院叢刊)

植野武雄 書香 47,48 昭3

滿洲語圖書目錄

渡邊滿太郎 亞細亞研究 5 大14
(又増訂本出版於昭和7年)

蒙古藝文新録

石濱純太郎 東亞研究 6—9,10, 7,1—4,6 大1—6

アルタイ諸語研究文献 (歐文之部)

建國大學研究院研究期報 5 昭18

滿洲に關するロシヤの書物

石田幹之助 東亞 1—7,8 明3

ロシヤに於ける渤海研究者及び文献について

小島武男 史學 10—1 昭5

蘇聯近時の東洋學關係文献覺書

江上波夫 東亞 8—2,4 昭40

露人の爲した北滿洲の學術的研究

ルカーシヤ (翻譯) 滿蒙 14—12 昭8

露文雜誌極東關係論文目錄

滿鐵調査彙報 昭16.5. 昭17.5

文溯閣四庫全書に就て

植野武雄 斯文 19—7 昭12

熱河文津閣小記

村田岩郎 書香 67 昭10

岡田龜氏編「滿洲金石志稿」(書評)

第一册秋貞實造 東洋史研究 1—6 昭11

第二册外山軍治 史林 24—3 昭14

滿洲金石志稿を前にして

天宮健太郎 滿蒙 6 昭11

奉天訪書談

内藤湖南 中央公論 27—10 大1

熱河文献綜覽

大連圖書館 書香 40 昭8

熱河に現存せる文化的資料

水野梅曉 特に滿蒙藏文三大藏經に就いて ヒタカ 昭10

支那 5—4 昭5

熱河に關する歐人の著述

K生 書香 49 昭8

熱河文献解説

島田好 書香 49 昭8

滿洲と蒙古との資料

田中秀作 歴史と地理 2—3 大7

奉天宮殿書庫書目

内藤虎次郎 藝文 20—8 昭4

奉天古典資料攷

原覺天 滿鐵資料彙報 5—1 昭15

奉天關係文献雜話

衛藤利夫 東亞 1—4 明2

奉天南蠻境

彌古光長 日本古書通信 82 昭12

滿蘇國境東南部に關する文献

田口稔 滿蒙 19—10 昭13

契丹に於ける大藏經彫造の事實を論ず

妻木直良 東洋學報 2—3 大1

佛教史料としての金刻藏經

特に宋釋教目錄と唐宋法相宗章疏に就て 塚本善隆 東方學報京都 6 昭11

金刻大藏經の發見とその刊行

塚本善隆 日華佛教研究會年報第1年 昭11

金藏に関する第二報告

樺淵文鏡 宗教研究新 12-5 昭19

磧沙藏と金剛藏經との發見並にその影印に就いて

石田幹之助 大正大學學報創立第十周年記念特輯號 21-23 昭19

黑樅事略について

箭内互 史學雜誌 31-12 大11

遼史拾遺續補凡例

羅繼祖 滿洲史學 2-1 昭14

遼史拾遺續補序

羅振玉 滿洲史學 2-1 昭14

遼史校勘記序

羅繼祖 滿洲史學 2-4 昭14

金史世紀の研究

池内宏 滿鮮地理歴史研究報告 19 大15

三國史記高句麗紀の批判

津田左右吉 滿洲地理歴史研究報告9 大12

秦邊紀略の嘎爾旦傳

内藤虎次郎 史林 3-3 大7

再び秦邊紀略に就て

内藤虎次郎 史林 4-4 大8

三たび秦邊紀略に就て

内藤虎次郎 讀史叢錄 昭4

奉天の國權に就て

鷲淵一 東洋史研究 8-2 昭18

遼東行部志研究

島田好 滿洲學報 1 昭7

山中聞見録校記

羅繼祖 東洋史研究 7-23 昭17

鈔本百二老人語錄及び其の著者

稻葉岩吉 服部先生古稀祝賀記念論文集 昭12

滿蒙叢書刊行

園下大慧 史學雜誌 30-7

滿清紀事の編刊について

長澤規矩也 書誌學 14-6 昭15

皇清開國方略に見たる曲筆

稻葉岩吉 歴史地理 11-2 明11

乾隆御製盛京賦に就て

衛藤利夫 滿蒙 12-6,7 昭6

奉天圖書館叢刊 1

昭5

奉天通志

島田好 書香 1-5 昭13

奉天通志に就て

植野武雄 收書月報 28 昭19

衛匡國の鞏鰐戰記

衛藤利夫 滿蒙 11-11 昭5

滿洲文化史上の一挿話

衛藤利夫 奉天圖書館叢刊 昭9

南懷仁の滿洲紀行

衛藤利夫 滿蒙 11-12 昭5

墓と本

衛藤利夫 奉天圖書館叢刊 8 昭5

奉天圖書館所藏ノーズイクライ

(關東報)に就いて

野中六郎 收書月報 46 昭14

稀覯書「東北鞏鰐」

吉阪俊藏 收書月報 25 昭13

二つの歐文滿洲文献

衛藤利夫 學燈 49-9

一般歴史

滿洲文化史概論
佐藤四郎 滿蒙 11—1 昭19

長安文化と契丹文化
神尾武彦 東方文化雜考 昭18

東方民族の文化的關係
八木英三郎 邊疆支那 昭19—5

内鮮より見たる滿洲の歴史
中山久四郎 滿蒙 13—10 昭7

滿鮮史體系の再認識
稻葉岩吉 青丘學叢 11, 11, 13, 14 昭7, 8

滿鮮不可分の史的考察
稻葉岩吉 東洋 25—25 大11

滿洲の既往と將來
久米邦武 歴史地理 7—1, 2 明38

滿洲支那の將來に附て史學の推測
久米邦武 史學雜誌 10—1 明38

滿洲史觀
黒田源次 滿洲民族學會會報附録 昭18

滿洲史要領
松井肇 東亞 1—1, 2, 3, 5, 11 昭6—5

滿洲支那の將來に付て史學の推測
久米邦武 史學雜誌 10—1 明38

滿鮮史論
白鳥庫吉 大膽 7—4 大19

滿蒙史論
和田清 アジア問題講話 昭11

滿洲問題と支那の將來
白鳥庫吉 中央公論 昭11

歴史上に於ける滿洲の地位
白鳥庫吉 新民 2—5 明49

長城線に關ぐ三千年
大野恭平 滿蒙 22—3 昭16

遼東史話
島田好 滿蒙 7—6, 7, 8, 10 大11
8—7, 5, 9, 10, 12 昭12

歐美人の滿洲研究
石田幹之助 東亞 2—11, 12 3—2 昭15

「ロシア滿洲學」に就て
布村一男 叢書月報 47 昭11

三百年來の滿洲研究
中山久四郎 外交時報 68—1, 2 昭8

「東洋史研究」を中心とする滿洲史の近業
柴三九男 史觀 11 昭12

フランスに於ける滿洲研究
田口稔 滿蒙 14—11, 11 昭8

近藤守重の滿洲研究
島田好 書香 111 昭13

滿洲史研究序説
三島一 歴史學研究 7—2 (滿洲史研究) 昭11

「滿鮮地理歴史研究報告」を中心として見たる滿洲中世史の研究
三上次郎 歴史學研究 5—2 (滿洲史研究) 昭11

滿洲史研究の現状
稻葉岩吉 青丘學叢 57 昭12

明治以前に於ける滿蒙研究
和田清 日本古書通信 84 昭12

(明治以後に於ける歴史學の發達)
滿洲蒙古史
和田清 歴史教育 7—9 昭7

時代史 隋唐以前時代

滿洲民族興起時代
鷺淵一 世界歴史大系朝鮮滿洲史 昭11

滿蒙の文化
原田淑人 岩波講座東洋思潮第11回 昭10

古代の滿洲
鷺淵一 世界歴史大系朝鮮滿洲史 昭11

滿鮮國境古代文化の交流
高麗義 滿蒙 22—3 昭10

古の滿洲
那珂通世 地學雜誌 205, 206 明16, 3

漢代の滿洲
稻葉岩吉 滿洲地理歴史研究報告 1 大3

三國文化考
那珂通世 那珂通世遺書 大3

三國時代の滿洲
箭内互 滿洲地理歴史研究報告 1 大3

晋代の遼東
池内宏 帝國學士院紀事 昭17, 3

晋代の滿洲
箭内互 滿洲地理歴史研究報告 1 大3

南北朝時代の滿洲
箭内互 滿洲地理歴史研究報告 1 大3

魏羯史研究に關する諸問題
小川裕人 東洋史研究 2—5 昭12

唐末の遼東
島田好 滿洲學報 3 昭9

安東都護府を中心として見たる唐の東方政策
伊藤三代 史學研究 10—3 昭14

安東都護府考
津田左右吉 滿鮮地理歴史研究報告 1, 大4

高句麗與渤海

高句麗考
那珂通世 那珂通世遺書 大14

高麗妙清の亂に就いて
瀨野馬熊 東洋學報 15—3 昭4

遼西鮮卑般代考
志田不動齋 池内博士還曆記念東洋史論叢 昭10

鮮卑族の活躍と高句麗の盛衰
鷺淵一 世界歴史大系朝鮮滿洲史 昭11

高句麗疆域沿革考
箭内互 史學雜誌 24—3, 4, 5

唐の高宗の高句麗討滅の役と卑列道多谷道海谷道の稱
池田宏 東洋學報 37—4 昭3

高句麗滅亡後の遺民の叛亂及び唐と新羅との關係
池内宏 滿鮮地理歴史研究報告 12 昭5

契丹聖宗の高麗征伐
池内宏 滿鮮史研究 2 昭13

滿鮮地理歴史研究報告之改稿 7

高麗顯宗朝に於ける契丹の侵入
池内宏 滿鮮地理歴史研究報告 7 大9

高麗成宗朝に於ける女眞及び契丹との關係
池内宏 滿鮮地理歴史研究報告 5 大7

朝鮮高麗朝に於ける東女眞の海寇
池内宏 滿鮮地理歴史研究報告 8 大10

曹魏の東方經略

池田宏 附毋丘儉の高句麗征伐に關する三國史記の記事
滿鮮地理歴史研究報告 12 昭5

渤海考

津田左右吉 滿鮮地理歴史研究報告 1 大4

渤海の建國者について

池内宏 東洋學報 5-1 大4

滿洲に於ける唐代文化の波及と渤海國

三上次男 世界歴史大系東洋中世史 2 昭9

渤海國の興亡とその文化

三上次男 世界文化史大系隋唐の盛世 昭9

渤海史上の難問題に就いて

白鳥庫吉 史學雜誌 469 昭10

渤海時代

外山軍治 世界歴史大系朝鮮滿洲史 昭10

金靜庵氏著渤海國志長篇を讀みて

稻葉岩吉 靑丘學叢 23 昭11

渤海史研究の回顧

外山軍治 東洋史研究 1-5 昭11

我が國史にあらはれたる渤海國

大和田道隆 研究要報 昭12

滿洲史の一節としての渤海國史

中山久四郎 歴史教育 4-1 昭7

渤海國王の文化

鳥山喜一 東亞研究 4-2 大3

渤海國の文化

鳥山喜一 東亞研究 3-8
4-1 大23

高麗に來投せる渤海人に就いて

李鐘明 靑丘學叢 23 昭11

後渤海國の建國

日野間三郎 帝國學士院紀事 2-3 昭18

東丹國人皇王南奔の行迹

圓田一龜 滿蒙 169 奉天圖書館叢刊第20冊 昭10

東丹國人皇王の一考察

村田治郎 滿蒙 17-2 昭11

遼 代

遼代史概説

三上次男 世界歴史大系東洋中世史 3 昭9

契丹時代 (滿洲史第五編)

秋眞實造 世界歴史大系朝鮮滿洲史 昭10

唐代長安文化と契丹文化

神尾式春 滿蒙 18-5 昭12

契丹に對する北宋の配兵要領

滿洲地理歴史研究報告 7 大6

遼室君主權の成立に關する一考察

小川裕人 東洋史研究 3-5, 6 (昭12) 4-1, 2 (昭14)

遼の遼東經略

津田左右吉 滿鮮地理歴史研究報告 3 大5

遼の太宗北支進出の一考察

田村實造 蒙古學 第3冊

遼の聖宗の女眞征伐

池内宏 史學雜誌 36-5 大4

契丹勃興史

松井等 滿洲地理歴史研究報告 1 大4

- 北宋の對契丹防備と其の利用
松井等 滿洲地理歴史研究報告 5 大7
- 遼の建國に就いて
小川裕人 東洋史研究 2—3 昭12
- 遼代紀年考
松井等 滿鮮地理歴史研究報告 3 大5
- 舊五代史契丹傳について
橋本増吉 東洋史研究 2—1 昭11
- 澶淵の盟約と其の史的意義
秋眞實造 史林 20—1 昭10
- 橋本増吉氏の遼の建國年代に就いてを讀む
小川裕人 東洋史研究 1—5 昭11
- 遼の建國年代に就いて
橋本増吉 史潮 6—1 昭11
- 遼初史釋疑三題一迭刺部，漢域，西樓
田村實造 東洋史研究 3—2 昭12
- 燕京に於ける遼宋金三國の角逐
外山軍治 特に郭藥師の常勝軍を中心として 滿洲學報 昭12
- 燕雲十六州解説一
外山軍治 東洋史研究 4—4.5 昭14
- 契丹の燕雲十六州領有とその史的意義
朴時亨 京城帝大史學會誌 13 昭13
- 最近契丹史學界の展望
神尾武春 滿蒙 20—9 昭14

金代

- 金代史（滿洲史第6編）
小川裕人 世界歴史大系朝鮮滿洲史 昭和

- 金代史概説
三上次男 世界歴史大系東洋中世史 3 昭9
- 金世宗即位事情の考察特に世宗と遼陽渤海人との關係について
外山軍治 紀元二千六百年紀念史學論文集 昭16
- 大金國志に見ゆる愛王の亂に就いて
鳥山喜一 白鳥博士還曆記 大14
念東洋史 論叢
- 金の建國以前完顏氏の君長の稱號
池内宏 東洋學報 20—1 昭7
- 猛安謀克と金の國勢
鳥山喜一 京城法文學會第2部論叢 1 昭4
- 金人考
西脇玉峰 斯文 16—5,7 昭9
- 金史に就いて
稻葉岩吉 東洋學報 1—2 明44
- 金熙宗朝に於ける蒙古の侵寇
外山軍治 蒙古學 昭13
- 金初の世襲萬古に就いて
三上次男 東洋學報 24—4 昭12
- 金の海陵王燕京遷都の一考察
田村實造 紀元二千六百年紀念論文集 昭16
- 金の海陵王
外山軍治 東洋史研究 7—4 昭17
- 金熙宗朝に於ける蒙古討伐の事實
外山軍治 東洋史研究 2—2 昭11
- 蒙古勃興期に於ける金西夏關係
星城夫 北亞細亞學報 12 昭18

金正隆大定年間に於ける契丹人の叛亂

三上次男 東洋學報 26—34 昭14
外山軍治

金の海陵王燕京遷都の意義

田村實造 東洋史研究 3—5 昭13

金代中期に於ける女真文化の作興運動

三上次男 史學雜誌 4—9 昭17

金熙宗皇統年間に於ける宋との媾和

外山軍治 滿蒙史論叢 3 昭13

金熙宗朝に於ける蒙古の侵寇

外山軍治 蒙古學 3 昭13

金末の滿洲

池内宏 滿鮮地理歴史研究報告 10 大13

金の外族に對する政策

鳥山喜一 東亞研究 7—12, 24 大5

金史世紀の研究

池内宏 滿鮮地理歴史研究報告 11 大13

金の世宗「東巡」考

園田一龜 滿蒙 15—2 昭9

係遼籍女直の太極について

三上次男 東洋學報 27—31 昭11

宋徽宗欽宗二帝の滿洲遷徙

小平總治 滿蒙 26—31 昭15

金國末期に於ける軍糧支給問題と其の展開

高橋匡四郎 滿洲史學 1—3 昭11

滿鮮萬奴の國號について

池内宏 東洋學報 12—4 大11

滿鮮萬奴國號考

岩井大憲 東洋學報 19—4 昭7

滿鮮萬奴國號考補正

岩井大憲 東洋學報 20—3 昭8

岩井學士の滿鮮萬奴國號考を讀む

池内宏 東洋學報 20—4 昭8

滿鮮萬奴事蹟考

箭内互 史學雜誌 21—235 明4²

金代女眞の研究(三上次男著)評

高橋匡四郎 滿洲史學 2—1 昭13

元明時代

元、明、清帝業の沒落

今關天彭 東洋 41—11 昭13

元代の東蒙古

箭内互 滿鮮地理歴史研究報告 6 大9

成吉思汗の滿洲經路に關する二三の研究

箭内互 東洋學報 4—2 大3

四半世紀前の北滿

古澤幸吉 滿蒙 15—8 昭9

明代の滿洲

市村燾 史學雜誌 24—7 大2

明初の滿洲經路

和田清 滿洲地理歴史研究報告 14—15 昭9, 12

鐵嶺衛の位置を疑ふ—和田教授の

「明初の滿洲經路」—

稻葉岩吉青丘學叢 18 昭9

正統九年の兀良哈征伐について

和田清 東洋學報 18—3 昭5

女真族衰亡後に於ける滿洲

小川裕人 世界歴史大系朝鮮滿洲史
 黨淵一 昭10

鮮初の東北境との關係

池内宏 滿鮮地理歴史研究報告 2, 4, 5, 7,
 大5, 7, 9

池内學士の鮮初の東北境と女真との關係に就いて

箭内互 史學雜誌 26—9 大6

明代の蒙古と滿洲

和田清 世界歴史大系東洋中世史第4編
 昭16

明代の) 滿洲及び蒙古

植村清二 世界文化史大明の興亡と西力の東漸
 昭10

明代の遼東經營

清水泰次 東亞 8, 1 昭10

明萬曆初期に於ける遼東女真の消長

園田一龜 滿洲學報 3 昭9

大寧都司の内徙につきて

清水泰次 東洋學報 8—1 大7

清 代

滿洲民族の過去

白鳥庫吉 東洋時報 133 明42

清代の滿洲

矢野仁一 世界歴史大系朝鮮滿洲史 昭10

近代滿洲歴史序説

矢野仁一 東亞經濟研究 16—1 昭7

清朝の興起(滿洲史第9編)

黨淵一 世界歴史大系朝鮮滿洲史 昭10

喀爾喀の紗花と宰賽

黨淵一 史林 28—2

舒爾哈齊の死清初内紛の一齣

黨淵一 史林 17—3 昭7

滿洲及大清の國號に就て

稻葉君山 日本及日本人 520 明42

滿清遺事

稻葉岩吉 日本及日本人 578 明45

清太祖勃勒與初期の行迹

園田一龜 滿洲學報 4 昭11

薩爾語山の戰

渡邊三三 撫順史話 昭15

天命建元の年次に就いて

太祖滿文老檔の一考察
 三田村泰助 東洋史研究 1—11 昭11
 上批評 中山八郎 歴史學研究 6—5

清の太宗の即位事情とその君主權確立

三田村泰助 東洋史研究 6—2 昭15

再び清の太宗の即位事情に就いて

三田村泰助 東洋史研究 7—1 昭17

清初の直隸侵界戰に就て

矢野仁一 歴史と地理 9—3 大11

清太祖の都城遷移問題

戸田茂喜 史學研究 5—3, 9—2, 10—12, 昭12, 14

烏拉國とその人々

北山康夫 北方圏 1 康12

清の太宗と宸妃の死

園田一龜 奉天圖書館叢刊 11 昭8

清太祖如兒哈赤崩殞考

園田一龜 滿洲學報 2 昭8

滿清の肇國と其の血統

中島勝次 滿蒙 8—7 昭2

清朝國號考

市村燾次郎 東洋協會調查部學術報告 1 明12

清の太宗の立太子問題

今西春秋 史學研究 7-1, 2 昭10

建州海西兩女直中心の滿洲時代

鴛淵一 世界歴史大系朝鮮滿洲史 昭10

陵丹汗の書信に就いて

鴛淵一 戸田茂喜 史學研究 7-3, 8-1 昭11

三百年前の奉天附近の大會戰

深澤總吉 歴史と地理 8-9 明39

李朝實録に見える建州三衛

旗田巍 史學雜誌 49-7 昭13

滿洲精神の問題

中山八郎 歴史學研究 4-2 昭10

清太祖初期に於ける蒙古との關係の一面觀

鴛淵一 滿蒙 16-9 昭10

天命建元の年次に就いて

三田村泰助 東洋史研究 1-2 昭10

清太祖の七宗惱恨に就いて

鴛淵一 戸田茂喜 史學研究 6-3 昭10

孟森氏に答ふ

一ヌルハチヒ七大恨論に關して一 今西春秋 東洋史研究 1-5 昭11

孟森氏の(清太祖告天七大恨之眞本研究)と併せて鴛淵、戸田兩氏合著

「清の太祖の七宗惱恨に就いて」を讀む 今西春秋 東洋史研究 1-4 昭11

剛林の斬罪と清太宗實録とから

石田茂喜 書光 康11 1

清初史研究の現状

今西春秋 東洋史研究 1-1 昭10

滿珠國成立過程の一考察

三田村泰助 東洋史研究 2-2 昭11

清の太祖と煙突

村田治郎 ドルメン 3-4 昭9

睿親王多爾袞を中心とに見たる清朝初期の繼嗣

前島又次 山下先生還曆紀念東洋史論文集 昭13

李成梁と其の一族に就て

園田一龜 東洋學報 26-1 昭14

清の太祖と李成梁との關係

和田清 稻葉博士還曆紀念滿鮮史論叢 昭13

我國に於ける滿洲近世史研究の動向

百瀨弘 歴史學研究 5-2 滿洲史研究 昭10

清朝初期の繼嗣問題

内藤虎次郎 史林 7-1 大11 昭4

撫近門の扁額に就いて

山本守 東洋史研究 2-3 昭12

申忠一書啓及び圖記

清初史料の解剖 稻葉岩吉 青丘學叢 29 昭12

睿親王多爾袞、九王の意義

園田一龜 滿洲學報 5 昭12

清朝の對蒙政策論

矢野仁一 地友會雜誌 2-5 康4

呼倫貝爾蒙古政治史略

橋本平八 蒙古 17 昭15

清仁宗の「東巡謁陵圖」考

園田一龜 書香 56 昭9

奉天會戰と撫順

渡邊三三 撫順史話

昭15

現 代

ウイツラクロバトキン往復書簡 一

二

布村一夫 叢書月報 59-60

昭6

近世滿洲問題史論

清水泰次 東亞 4-9

昭9

滿洲事件と支那人の滿洲研究

鈴木俊 歴史學研究 5-2

(滿洲史研究)

昭10

滿洲國の建國と其の現勢

式守富司 歴史教育 12-11

昭14

史上より見たる滿洲帝國

松井等 中央公論 49-4

昭9

滿洲四頭政治に就て

星野桂吾 外交時報 44-7

大15

奉天軍閥の勢力消長觀

關田龜一 滿蒙 8-1

昭2

東三省官制改革と新任總督

齊柳篤恒 外交時報 10-5

明40

史 地 考 證

古の滿洲

那珂通世 地學雜誌 205

明39

滿洲を三韓といふことについて

和田清 北亞細亞學報 2

昭18

秦長城東部の位置につきて

松井等 歴史地理 13-3

明42

秦長城東端王險城考

稻葉若吉 史學雜誌 21-2

昭13

漢沓氏縣考

岩間總也 滿洲學報 1

昭7

朝鮮半島に於ける漢四郡疆域及沿革考

樋口隆次郎 史學雜誌 22-12 23-2, 3, 4, 5

隋唐二朝高句麗遠征の地理

松井等 滿洲地理歴史研究報告 1 大2

公孫氏の帶方郡設置と曹魏の樂浪帶方二郡

池内宏 史苑 2-4 昭4
内藤博士頌壽紀念支那學論叢 昭5

國內城の位置につきて

松井等 東洋學報 1-2 明44

丸都及國內城考

白鳥庫吉 史學雜誌 25-15 大2

丸都城及國內城の位置に就いて

鳥居龍藏 史學雜誌 25-7 大3

國內城及丸都城の位置

關野真 史學雜誌 25-11 大3

丸都城及び國內城の新解釋

水島綱太郎 史觀 19 昭14

高句麗の平壤及び長安城に就いて

關野真 史學雜誌 25-11

高句麗の南北道と南蘇木底

今西春秋 靑丘學叢 22 昭10

東夫餘の位置と高句麗の開國傳説

島田好 靑丘學叢 16 昭9

滿州の地理を論じて渤海の五京に及ぶ

白鳥庫吉 史學雜誌 46-12 昭10

- 渤海國の疆域
松井等 滿洲地理歴史研究報告 1 大2
- 渤海の五京に就いて
森田鐵次 研究要報 10 昭12
- 渤海扶餘府考
金毓麟 服香先生古稀祝賀紀念論文集 昭12
- 渤海の扶餘府並に遼の黃龍府につきての考
松井等 史學雜誌 21—2 明43
- 渤海中京顯德府即遼陽說
島田好 滿洲學報 2 昭8
- 東京城名義考
原田淑人 池内博士 東洋史論叢 還曆記念 昭15
- 渤海國南京南海府考
新妻利久 研究要報 10 昭10
- 渤海の建州と元の建州
箭内互 東洋學報 1—2 明44
- 徳林石小考
村田次郎 ドルメン 2—6 昭9
- 鏡泊湖畔黒石句子の奇觀
HT生 亞東 3—4 大15
- 渤海金の歴史地理的考察
原田 研究要報 16 昭12
- 滿洲に於ける遼の疆域
松井等 滿洲地理歴史研究報告 2 大2
- 世軍沒里に就いての疑
(遼王出身地) 小川裕人 東洋史研究 2—3 昭12
- 遼代の長春州について
津田左右吉 東洋學報 7—1 大5
- 遼代の漢城と炭山
箭内互 東洋學報 11—3 大5
- 余の遼聖宗征女直考と和田學士の定安國考とについて
池内宏 東洋學報 6—1 大5
- 遼の祖淵・西樓說の原據について
北川房次郎 收書月報 81 昭17
- 西樓小記
村田治郎 收書月報 82—83 昭17
- 遼の西樓と北蕃地理志
北川房次郎 收書月報 85 昭18
- 西樓再記
村田次郎 收書月報 87 昭18
- 西樓續記
北川房次郎 收書月報 87 昭18
- 契丹可敦城考附祖ト考
松井等 滿鮮地理歴史研究報告 1 大2
- 西遼都城虎思斡兒朶考
王國維 內藤博士 支那學論叢 還曆祝賀 大15
- 遼朝諸皇帝の東巡
園田 龜 滿蒙 16—17 未入圖書館叢刊第19冊 昭10
- 許亢宗の行程録に見ゆる遼金時代の滿洲交通路
松井等 滿洲地理歴史研究報告 大2
- 宋對契丹の戰略地理
松井等 滿鮮地理研究報告 4 大7
- 遼代混同江考
池内宏 東洋學報 6—1 大5
- 弱水考
白鳥庫吉 史學雜誌 7—11, 12 明29

- ミューイー饒樂水考を續む
 秋貞實造 東洋史研究 1—2 昭10
- 遼代春水考
 池内宏 東洋學報 6—2 大5
- 金の東京城考
 松井等 歴史地理 15—1 明13
- 滿洲に於ける金の疆域
 松井等 滿洲地理歴史研究報告 2 大2
- 金代北邊考
 津田左右吉 滿鮮地理歴史研究報告 4 大7
- 金の世宗東巡考
 島山喜一 滿蒙 15—2 昭9
 奉天圖書館叢刊 13 昭9
- 金の爲蘇館路と寧州
 島田好 稻葉博士還曆記念滿鮮史論叢略 3
- 遼西の交通路に就いて
 園田一龜 東亞論叢 2 昭15
- 遼西交通路の變遷
 園田一龜 收考月報 26 昭13
- 金の蒲輿路について金の北邊に關する考察
 三上治男 東方學報(東京) 15—2 昭18
- 東真國の疆域
 箭内互 滿洲地理歴史研究報告 2 大2
- 元代の地名開元の沿革
 池内宏 東洋學報 12—3 大11
- 池内博士の「元代の地名開元の沿革」を讀む
 箭内互 東洋學報 13—1 大12
- 元代の開元路に就いて
 和田清 東洋學報 17—3 昭3
- 高麗に於ける元の行省
 池内宏 東洋學報 20—3 昭8
- 元明時代の滿洲交通路
 箭内互 滿洲地理歴史研究報告 2 大2
- 滿洲に於ける元の疆域
 箭内互 滿洲地理歴史研究報告 2 大2
- 池内學士の鮮初の重北境と女眞との關係に就いて
 稻葉岩吉 史學雜誌 25—2 大7
- 析木城か柞木城か
 島田好 滿蒙 15—10 昭9
- 白江及び炭硯について
 池内宏 東洋學報 21—2 又滿鮮地理歴史研究報告 14 昭9
- 明代遼東の邊柵
 稻葉岩吉 滿洲地理歴史研究報告 2 大2
- 滿洲旅行談(長柵の話)
 市村燾太郎 歴史地理 8—2 明19
- 兀良哈三衛名稱考
 箭内互 東洋學報 4—1 大7
- 兀良哈三衛の本據について
 和田清 史學雜誌 40—3 昭4
- 兀良哈三衛に關する研究
 和田清 滿鮮地理歴史研究報告 12 13 昭5
- オランカイシ衛名稱考
 箭内互 東洋學報 4—1 大2
- 九連城の古名に就いて
 箭内互 東洋學報 1—3 明14
- 建州左衛の遷住地に就いて
 鷺淵 桑原博士還曆記念東洋史論叢 昭4
- 清初の疆域
 稻葉岩吉 滿洲地理歴史研究報告 2 大2

清朝開基の地
 藤田豊八 東亞叢林 1 明23

清朝發祥の地域について
 和田清 池内博士還曆記念東洋史論叢 15 昭15

豆滿江畔は李朝清朝の發祥地
 村田生 朝鮮 35 明44

赫圖阿拉構成の素描
 戸田茂喜 山下先生還曆記念東洋史論文集 9 昭13

遼陽の東京城及東京陵
 齋淵一 史林 24-3 昭14

長白に關する知識について
 和田清 史學雜誌 49-7 昭13

滿洲諸部の位置に就いて
 和田清 東亞論叢 1 昭13

黑龍江の異名に就て
 白鳥庫吉 歴史地理 7-1 明38

都爾鼻考
 内藤虎次郎 史林 5-4 大4
 讀史叢錄 昭9

清朝歴代皇帝の滿州巡幸
 園田一龜 滿蒙 7,8,9,11 昭7
 奉天圖書館叢刊 4 昭7

南懷仁の滿洲旅行に對する考察
 園田一龜 滿蒙 11-12,12-23 昭5,6

康熙帝と南懷仁
 衛藤利夫 驢組 昭13

南懷仁の滿洲旅行記
 フェルビースト衛藤利夫譯驢組 昭13

南懷仁の滿洲旅行記後記
 衛藤利夫 驢組 昭13

乾隆帝の東巡沿路考
 園田一龜 滿蒙 13-6 昭7
 奉天圖書館叢刊 昭7

旅順口の沿革と旅順城の位置
 島田好 滿蒙 10-7,8 昭4

再び旅順城の位置に就て
 島田好 滿蒙 10-11 昭4

黑龍江の春
 彌吉光長 北窗 4-4 昭17

大連地名考
 田口稔 滿蒙 16-4,5 昭19

龍と滿洲の地名
 植野武雄 滿蒙 21-8 15

關東州名の起源
 島田好 滿蒙 17-10 昭11

滿蒙支露主要地名
 原田千三 滿洲の技術 15-107 昭13

滿洲名義考
 中島利一郎 ドルメン 2-5 昭3

星ヶ浦の命名と滿洲地名考
 木戸忠太郎 地球 3-1 大14

滿洲語と北滿の地名
 新帶國太郎 滿蒙地理歴史 2 昭14

滿洲水名雜記
 小貫義男 滿蒙地理歴史 2 昭3

傳 記

滿洲人の今昔
 服部宇之吉 史學雜誌 20-10 明42

前奉天省長故王永江の政見とその人物上に就て
 岩間徳也 滿蒙 21-12 昭15

滿洲秘話張作霖の遺言
大木茂 月刊滿洲 11—10 昭13

滿洲史上の人物
曼珠性 大陸 14 15 16 大3

滿洲出張の思ひ出と内藤湖南博士の追憶
市村瓊次郎 漢學會雜誌 2—2 昭9

滿鮮史學上の内藤湖南博士
稻葉岩吉 朝鮮 231 昭9

白鳥博士の憶出
羽田亨 東洋史研究 7—2 3 昭15

稻葉君山博士の學績
竹城生 收書月報 53 昭15

稻葉君山博士の追憶
松浦嘉三郎 收書月報 125 昭15

羅叔言先生を憶ふ
石濱純太郎 東洋史研究 5—5 昭17

羅振玉先生を偲びて
小平綏方 滿蒙 21—8 昭15

支那滿洲學者ザハロフ
坂口數雄 滿蒙 22—7 昭17

史 料

滿文老檔邦文譯稿未完
篤淵一 戸田茂喜 史學研究 9—1 昭12

漢和對譯滿文老檔
今西春秋 叢書 昭18—11, 1
昭19—1, 2, 5

各項稿簿
市村瓊次郎 史苑 2—12, 45 3—34 昭15

清朝開國期の史料
内藤虎次郎 藝文 3—12 大元

滿洲に於ける古文書整理の概要
山本守 滿洲史學 1—2 昭12

舊記問答
彌吉光長 資料公報 3—4 3 昭17

舊記とは如何なるものか
彌吉光長 資料公報 5—8 9 10 昭19

旅順庫籍整理處を訪ふ
TGM 叢書 81 昭11

滿洲志料
金風學人 世界 70 明43

滿鮮關係の新史料
中村榮孝 清太宗朝鮮征伐に關する古文書
青丘學叢 1 昭25

滿漢二體の滿洲實錄に就いて
山本守 滿洲史學 1—2 昭12

清三朝實錄の纂修
今西春秋 史林 20—3 昭19

塗改本清太祖實錄殘卷及び其年代
稻葉岩吉 青丘學叢 10 昭7

清朝實錄のはなし
山本守 遼東の珠 昭19

蒙支日譯滿洲實錄(1, 2)
兒玉信久 蒙古研究 1—2 昭14

阿濟括略明事件の滿文木牌
今西春秋 東洋史研究 1—2 昭19

滿和對譯滿洲實錄
山岸部 (今西春秋) 評史學雜誌 49—1 昭13

考古金古蹟石

滿蒙考古叢
島田貞彦 滿蒙 16, 5—8, 11 昭16

滿洲考古學界の趨勢

島田貞彦 滿蒙 18—8 昭12

滿洲考古學界の近況

島田貞彦 歴史公論 6—8 昭12

滿洲考古學發達小史

島田貞彦 フルメン 9—1 昭13

考古學上の滿洲

三上次男 世界地理風俗大系滿洲帝國篇 昭12

三十五年前の滿洲に於ける人類學と考古學

鳥居龍藏 東亞 3—8 昭7

滿洲考古學漫筆

八木奘三郎 歴史公論 1—8 昭12

滿洲の考古學的遺跡

濱田青陵 東洋時報 152—154, 156 明14

南滿北滿

島田貞彦 歴史と地理 20—4 昭2

滿洲考古資料餘話

梅本俊次 研究要報第一輯 滿蒙 10—3—2 昭2 昭4

滿鮮の文化を語る

樺本龜太郎 水野清一著 考古學 8—2 昭13

古墳を通じて觀たる滿鮮古代文化の交流

高遵義 滿蒙 22—3 昭17

滿洲の古物と支那の古文献

八木奘三郎 フルメン 2—4 昭8

滿洲の考古

島田貞彦 史蹟名勝天然記念物 17—12 昭17

滿洲の文化と遺蹟の史的考察

伊陳忠太 朝鮮と建築 13—2, 4 昭9

滿洲の古建築と古墳

關野貞 支那の建築と藝術 昭18

滿洲考古學より東亞考古學へ

青木宮太郎 內蒙古長城地帯の紹介を兼ねて歴史學研究 5—2 (滿洲史研究) 昭10

滿洲國に於ける五大遺跡に就て

鳥居龍藏 歴史教育 7—2 昭7

滿洲考古資料

神尾式存 東方文化雜志 昭18

滿洲建築史概要(含考古記事)

村田次郎 滿洲建築雜誌 8—4 昭3

木乃伊ものがたり

島田貞彦 滿蒙 18—1 昭12

滿蒙の遺蹟と支那の古陶磁

小山富士夫 觀光東亞 9—1 昭17 (又滿洲の城) 昭17

滿洲調査復命書

鳥居龍藏 史學雜誌 17, 2—17, 4 明19

滿蒙旅行談(元上部中心)

駒井和愛 東方文化 2 昭12

北支滿鮮の旅から

石野瑛 考古學雜誌 18—11, 12 昭3

滿蒙探查旅誌

鳥居龍藏 滿蒙を再び探る 昭7

滿洲の思出

濱田耕作 フルメン 2—4 昭8

滿洲考古旅行記

大野雲外 見塚磚墓積石塚の調査 民族と歴史 6—1 大11

遼東半島の遺蹟
(鳥居龍藏筆掲載於太陽論文節略)
 佛教史林 7—20 明29

遼東の建築(含城郭史)
 塚本清建築雜誌 18—215 明31

撫順の史蹟
 池内宏 考古學雜誌 3—7 昭15

撫順の古文化
 小林知生 考古學雜誌 27—10 昭12

私と熱河省の研究に就て
 鳥居龍藏 ドルメン 2—1 昭3

滿鮮支旅行談
 原田淑人 史學雜誌 37—2 大15

蒙古旅行談
 鳥居龍藏 世界 56—70 明12

興安西省假指定古蹟古物一覽表
 滿洲古蹟古物名勝天然紀念物保存協會誌 2 昭17

東部西比利亞アムール河の思出
 鳥居龍藏 學堂 40—9

古蹟等調査並保存
 滿洲古蹟古物名勝天然紀念物保存協會誌 1 昭16

關東州の古墳
(大正六年指定の古蹟目録)
 滿蒙 11—2 昭25

滿洲國立博物館
 石井相亭中央美術(復興) 25 昭10

ハルビンの博物館
 三上久男 ドルメン 2—1 昭5

老鐵山麓の石斧から關東廳博物館
 の創立まで
 島村孝三郎 ドルメン 2—1 昭5

鞍山中學校歴史研究室蒐集品目録
 研究要報第一輯 昭9

ハルビンの露西亞學者
 鳥居龍藏 滿蒙の探查 昭3

北滿の考古學者ルカーンキン氏を
 語る
 直良信夫 ドルメン 3—10 昭9

ハルビン博物館のボノソフ氏
 陶存厚 ドルメン 3—9 昭9

コミュニティー師の略歴
 平山和巳 收書月報 12 昭17

滿洲の古今城壁考
 八木榮三郎 觀光東亞 9—1 (又滿洲の城) 昭17

白鳥博士の滿洲蒙古踏査
 和田 考古界 8—8

濱田學士小川博士の滿洲古墳調査
 岩井俊武 3—1

鳥居文學博士論文の審査要旨
 考古學雜誌 12—3

熱河北滿の史蹟調査略記
 外山 東洋史研究 1—1 昭10

錦州市民衆教育館所藏
 山下 滿洲史學 2—2 昭14

滿洲の城特輯グラフ
 觀光東亞 9—2 (又滿洲の城) 昭17

山城踏破行(照像)
 節田俊雄 觀光東亞 8—10 昭16

滿洲現存の城壁類
 八木榮三郎 滿蒙 12—5 昭6

滿洲の城壁と傳説
 三宅俊成 觀光東亞 9—2 (又滿洲の城) 昭17

滿洲主要古城址便覽

前田俊雄 滿洲の城 昭17

熱河省內古城調査

滿洲古蹟古物名勝天然紀念物保存協會誌 昭18

撫順から興京へ古城址發見行

渡邊三三 觀光東亞 1—1(又滿洲の城) 昭17

石器及青銅器時代

東亞大陸に於ける洪積世人類の足跡

直良信夫 ドルメン 昭7

シベリヤ舊石器時代

江上波夫 ドルメン 昭7

滿洲の舊石器時代に就いて

ヴェジトルマチヨフ鳥 鳥井幸了譯 考古學 1—1 昭5

滿蒙の舊石器時代

直良信夫 ドルメン 昭11

滿洲に於ける舊石器時代の最新の發見

ヴェゴノソフドルメン 4—3 昭11

北滿更新期動物古石器時代遺物と觀察

ボノソフ 滿洲史學 1—1 昭11

滿洲舊石器時代の骨角器

水野清一 人類學雜誌 4—13 昭9

滿洲の石器時代遺跡出土鏃の型式と所感

森修 考古學雜誌 20—14 昭5

滿洲國吉林省願郷屯第一回發掘研究報告

德永重康 直良信夫 岩波書店刊 30倍版 1 上批評 駒和愛 人類學雜誌 40—1 昭9

願郷屯の二次的堆積

奥田直榮 人類學雜誌 51—3 昭14

「願郷屯の二次的堆積」について 直良信夫 人類學雜誌 54—3 昭14

願郷屯の先史學的調査(續報)

奥田直榮 大發科學院彙報 3—1

ハルビン近郊發掘の洪積期人類遺品

德永重康 直良信夫 人類學雜誌 48—1 昭8

瀋江省哈爾濱市願郷屯化石産地帶報告

遠藤隆六 願郷屯(滿洲古蹟古物名勝天然紀念保存協會) 昭17

願郷屯に於ける化石發掘調査

滿洲史學 2—3 昭14

吉林省願郷屯産化石胡桃

遠藤誠道 第一 滿蒙學術調查研究團報告 昭12

哈爾濱考古だより

滿洲史學 1—1 昭14

北滿ジャライノール遺跡出土の新資料

赤堀英三 人類學雜誌 51—3 昭14

ジャライノール出土の石器について

直良信夫 考古學雜誌 24—1 昭11

齊々哈爾近郊の五十年前の遺跡

滿蒙 1—7 昭5

北滿東前文化相

島田良彦 北蒙 1—1 昭14

北方の先史學的魁感

奥田直榮 北蒙 1—1 昭14

東亞に於ける新石器時代文化の概観
小林知生 歴史公論 6—1 昭12

滿蒙の石器時代
島田貞彦 ドルメン 4—6 昭10

先史時代の南滿洲
島田貞彦 先史學講座 昭13

考古學上より見たる熱河省の古文化について
島田貞彦 滿洲史學 2—4 昭14

滿蒙の石器時代
島田貞彦 歴史公論 6—1 昭12

滿蒙新石器時代要論
水野清一 考古學 5—8 昭19

滿蒙新石器時代要論
水野清一 人類學雜誌 50—5 昭10

天津北縣博物館に代表され(翻譯)し新石器時代の遺跡
人類學雜誌 46—2,3,4 昭5

石器時代の東南蒙古
江上波夫 考古學雜誌 22—1,5 昭7

南滿洲に於ける考古學的研究
濱田耕作 東洋學報 2—2,3—1 明45 大1 (又東亞考古學研究) 昭5

南滿洲の重要な古墳
濱田耕作 民族と歴史 6—1 大10

滿洲の石器時代遺跡と朝鮮の石器時代遺跡に就て
島居龍藏 人類學雜誌 236 明40

貔子窩の起源及發達
島田好 滿蒙 19—41 昭13

南滿洲に於ける見墓に就いて
駒井和愛 ドルメン 2—1 昭5

日鮮滿史前前末期の墓制について
梅原未治 東洋史研究 5—5 昭15

貔子窩遺跡發掘記
島田貞彦 民族 2—6 昭2

貔子窩南滿洲碧流河畔の先史時代遺跡
濱田耕作 東方考古學叢刊 1, 昭和4

旅順張家屯の一古墳
濱田耕作 東洋學報 1—2 明44

旅順張家屯古蹟調査報告補遺
濱田耕作 東洋學報 11—3 大10

「南山裡」(評)
考古學 4—10 昭8

旅順双台子山新石器時代遺跡
江上波夫 人類學雜誌 49—4 昭9

羊頭窪(旅順)見塚出土鳥獸骨について
直良信夫 羊頭窪 昭8

旅順發見石器時代遺物
古谷清 考古學 7—10 明42

旅順双砬子新石器時代遺跡
江上波夫 駒井和愛
水野清一 人類學雜誌 48—1 昭9

關東州望海島城石器時代遺蹟の發掘
島田貞彦 森修考古學雜誌 20—11 昭14

旅順考古紀行
清野謙次 歴史地理 25—2,3 昭5

老鐵山發見の遺物
和田 考古學雜誌 8—1

關東州旅順管内山頭村會大營山遺跡
森修 (考古學雜誌 17—6)

南滿洲關東州魏子窩より出土せる
石器時代人骨

清野謙久 民族 2—4 昭1

初夏の魏子窩城子睡へ

島田一男 滿蒙 14—5 昭

長山列島の史蹟と傳説

三宅俊成 滿蒙 14—50 昭18

長山列島先史時代の小調査

三宅俊成 滿洲學報 4 昭11

復州城及長興島史蹟調査記

三宅俊成 滿洲史學 1—7 昭12

滿洲國本省燕京城九連洞遺跡に
ついて

三上久男 考古學雜誌 34—50 昭16

大石橋附近に於ける洞窟堆植物に
就いて

遠藤隆久 野岡光雄國立中央博物館時報 1 昭13

撫順永安公園附近に於ける石器及
土器類分布状

戸田寛 滿洲史學 1—7 昭11

撫順永安公園響ヶ丘遺蹟

齋藤武 滿洲史學 2—3 昭13

撫順の發掘

三上久男 考古學雜誌 31—7 昭16

先史時代の撫順

渡邊三三 撫順史話 昭15

吉林省寧安縣附近三靈屯の石器時
代遺跡

駒川和愛考古學雜誌 25—3 昭

吉林省三靈屯の石器

駒川和愛三上久男考古學雜誌 26— 昭11

吉林龍潭山遺蹟報告

李文信 滿洲史學 1—2, 3, 2—2 昭12—13

延吉郊外より發見せられたる石器
及石棺

山田文英 滿洲史學 1—7 昭13

滿洲國吉林開山子の遺跡

三上久男 人類學雜誌 54—6 昭14

吉林開山子の遺跡

三上久男 人類學雜誌 4—3 昭12

鏡泊湖畔の先史學的調査報告

奥田直榮 大陸科學院發報 庚7—4

朝陽附近の新石器時代遺跡

八幡一郎 考古學雜誌 16—11 昭11

南熱河に於ける新石器時代遺物
概観

兒玉重雄 熱河古文化學報 2 昭11

熱河の先史時代遺跡

八幡一郎 地理學評論 1—1 昭

南熱河の古文化に就いて

原田龍人講 史學雜誌 26—5 昭11

大 廟

熱河省西北部の先史遺跡—

赤堀英三 三上久男 考古學雜誌 37—1 昭12

熱河西南部先史時代遺蹟表承 德樂
平附近

兒玉重雄 丸岡良郎 考古學 9—1 1

南熱河に於ける新石器時代 遺物概
観

兒玉重雄 考古學雜誌 27—1 昭14

熱河の遺蹟と遺物

森萬雄 旅行雜誌 10—12 昭12

熱河省の考古學的調査研究の一端

兒玉重雄 滿洲古蹟古物名勝天然紀念物保存協會誌 4 昭18

遼の中京城内に存在する石器時代の遺蹟

鳥居龍藏 東方學報(東京) 9

熱河承德附近の新石器時代遺跡

丸岡良郎 兒玉重雄 考古學雜誌 28—1 昭13

シラムレン流域及興安嶺方面に於ける東胡民族の遺跡

鳥居龍藏 地學雜誌 22—258 昭11

熱河省古山驛附近の石器時代遺跡

三上次男 古學雜誌 22—4 昭17

熱河省承德附近伊犁廟台地出土の遺物に就て

駒利和愛 人類學雜誌 56—4 昭16

熱河赤峯遊記

濱田耕作 古學 9—3 昭17

赤峰紅山後

濱田耕作 水野清一 評 古學雜誌 28—9 昭17

史林 2—4 昭14

東洋史研究 4—2 昭14

赤峰先史時代の問題

水野清一 蒙古學 1—1 昭13

赤峰四道井子(北)の遺蹟

小林知生 考古學雜誌 28—1 昭13

鳥村孝三郎

滿洲赤峰の考古學的調査(紅山の發掘)

濱田耕作 史學雜誌 57—2 昭11

林西より

小林重雄 考古學 10—11 昭14

鄭家屯西北砂丘地帯の一遺跡

水野清一 人類學雜誌 47—8 昭7

北滿松花江站附近發見の遺物

奥田直榮 人類學雜誌 54—10 昭14

北滿海拉爾附近石器時代墳墓發見遺物

島田貞彦 考古學雜誌 28—8 昭13

滿蘇國境珠爾干附近發見の遺物

八幡一郎 人類學雜誌 54—10 昭14

滿蘇國境珠爾干附近發見の遺物追加

八幡一郎 人類學雜誌 54—10 昭14

原始民族の遺跡を探ふ(呼倫貝爾石器時代)

米内山庸夫 蒙古風土記 昭13

東部シベリヤの有史以前

鳥居龍藏 黑龍江と北樺太 昭18

石器時代の土器と日鮮滿民族論

八木英三郎 民族と歴史 5—5 大正

朝鮮滿洲の磨製石器に就いて

鳥居龍藏 上代文化 3—1 昭7

滿洲石庖丁攷

森修 人類學雜誌 56—1 昭16

有肩石斧

水野清一 人類學雜誌 48—10 昭8

塊狀多頭石器—南滿洲の石器—

水野清一 人類學雜誌 50—50 昭10

金州半島の石器及び土器

渡邊爲吉 人類學雜誌 22—2 昭7

滿洲石器時代石斧の遺物形態學的
研究

樋口清之 上代文化 6 昭6

關東州石斧の形式

森修 古代文化 12—4 昭18

第一回版南滿洲旅順双台子山發見の鬮斧(旅順双台子山新石器時代遺跡)

江上波夫、駒井和愛

水野清一 人類學雜誌 41—1 昭14

滿洲の石器時代遺跡出土鏃の型式と所感

森修 考古學雜誌 20—11 昭5

關東州の石劍と石槍

森修 古代文化 13—5 昭18

新京發見の鉞形石器

小林行雄 考古學 11—9 昭15

遼東發見の古代土器

濱田耕作 東洋學報 2—1 明5

南滿洲石器時代土器に關する二三の事實に就て

樋口清之 考古學雜誌 21—1 昭6

貔子窩の土器

濱田耕作 民族 2—6 昭2

關東州彩色土器の一考察

三宅俊成 滿洲史學 2—2 昭14

旅順石塚發見土器の種類に就てに

濱田耕作 人類學雜誌 44—4 昭5

(東亞考古學研究)

赤峰附近發見の完形彩文土器

濱田耕作 考古學雜誌 27—2 昭12

遼東半島の石室

鳥居龍藏 太陽 2—15 明20

ドルメンに就て

鳥居龍藏 ドルメン 1—1 昭7

懐かしいドルメン

鳥居龍藏 滿蒙の探査 昭3

ドルメンとメンヒル

鳥居龍藏 滿蒙の探査 昭3

普蘭店附近の探査(巨石遺跡)

鳥居龍藏 滿蒙の探査 昭3

新木城附近の探査(ドルメン)

鳥居龍藏 滿蒙の探査 昭3

鳳城附近の探査(メンヒル)

鳥居龍藏 滿蒙の探査 昭3

滿洲に於ける巨石遺物の地理的分布

田口稔 滿洲地理點描 昭14

老鐵山上の石塚に就て

鳥居龍藏 人類學雜誌 281 明41

ドルメン

島田直彦 滿蒙 21—11 昭11

南滿洲のドルメンに關する一考察

久原山次 滿蒙地理歴史 3 昭8

南滿洲のドルメンと其の方位

山本正 歴史と地理 28—2 昭6

平南(朝鮮)龍岡郡石衆山のドルメンに就いて

水田省吾 朝鮮 114 大13

遼東某墓人骨の抜齒例

三宅宗匠 人類學雜誌 24—6 昭6

滿洲出土の多鈕銅鏡について

駒井和愛 考古學雜誌 23—2 昭13

赤峰青銅器の一二に就て

駒井和愛 人類學雜誌 34—1 昭14

赤峰金石期文化のふひご口

水野清一 人類學雜誌 37—8 昭17

熱河赤峰出土の一古鏡に就て
水野清一 『考古學』 6—1 昭10

再び北部朝鮮發見の古鏡
梅原末治 『東洋學報』 1—1 大正13

滿洲國錦州省錦州出土の劍柄形銅器
島田貞彦 『考古學雜誌』 25—5 昭12

南滿洲老龍山麓郭家屯附近發見の銅劍に就て
島田貞彦 『考古學雜誌』 28—11 昭13

熱河赤峰出土の一古鏡について
水野清一 『考古學』 4—8 昭10

滿蒙支の古銅鎗器と古民族
八木榮三郎 『東亞』 7—7 昭9

漢時代

滿洲に於ける漢代遺跡
中川謙治 『東方學報(東京)』 5 昭11

滿洲に於ける漢及び高句麗の代的遺跡
關野貞 『東方學報(東京)』 6 昭11

滿洲に於ける漢時代の遺跡
島居龍藏 『滿蒙の探查』 昭7

滿洲に於ける前漢末の器物
島居龍藏 『日本美術』 139 明43

南滿洲に於ける前漢末の遺物
島居龍藏 『國學』 10—233, 237, 238, 247, 248, 249, 250, 251, 252, 253, 254, 255, 256, 257, 258, 259, 260, 261, 262, 263, 264, 265, 266, 267, 268, 269, 270, 271, 272, 273, 274, 275, 276, 277, 278, 279, 280, 281, 282, 283, 284, 285, 286, 287, 288, 289, 290, 291, 292, 293, 294, 295, 296, 297, 298, 299, 300, 301, 302, 303, 304, 305, 306, 307, 308, 309, 310, 311, 312, 313, 314, 315, 316, 317, 318, 319, 320, 321, 322, 323, 324, 325, 326, 327, 328, 329, 330, 331, 332, 333, 334, 335, 336, 337, 338, 339, 340, 341, 342, 343, 344, 345, 346, 347, 348, 349, 350, 351, 352, 353, 354, 355, 356, 357, 358, 359, 360, 361, 362, 363, 364, 365, 366, 367, 368, 369, 370, 371, 372, 373, 374, 375, 376, 377, 378, 379, 380, 381, 382, 383, 384, 385, 386, 387, 388, 389, 390, 391, 392, 393, 394, 395, 396, 397, 398, 399, 400, 401, 402, 403, 404, 405, 406, 407, 408, 409, 410, 411, 412, 413, 414, 415, 416, 417, 418, 419, 420, 421, 422, 423, 424, 425, 426, 427, 428, 429, 430, 431, 432, 433, 434, 435, 436, 437, 438, 439, 440, 441, 442, 443, 444, 445, 446, 447, 448, 449, 450, 451, 452, 453, 454, 455, 456, 457, 458, 459, 460, 461, 462, 463, 464, 465, 466, 467, 468, 469, 470, 471, 472, 473, 474, 475, 476, 477, 478, 479, 480, 481, 482, 483, 484, 485, 486, 487, 488, 489, 490, 491, 492, 493, 494, 495, 496, 497, 498, 499, 500, 501, 502, 503, 504, 505, 506, 507, 508, 509, 510, 511, 512, 513, 514, 515, 516, 517, 518, 519, 520, 521, 522, 523, 524, 525, 526, 527, 528, 529, 530, 531, 532, 533, 534, 535, 536, 537, 538, 539, 540, 541, 542, 543, 544, 545, 546, 547, 548, 549, 550, 551, 552, 553, 554, 555, 556, 557, 558, 559, 560, 561, 562, 563, 564, 565, 566, 567, 568, 569, 570, 571, 572, 573, 574, 575, 576, 577, 578, 579, 580, 581, 582, 583, 584, 585, 586, 587, 588, 589, 590, 591, 592, 593, 594, 595, 596, 597, 598, 599, 600, 601, 602, 603, 604, 605, 606, 607, 608, 609, 610, 611, 612, 613, 614, 615, 616, 617, 618, 619, 620, 621, 622, 623, 624, 625, 626, 627, 628, 629, 630, 631, 632, 633, 634, 635, 636, 637, 638, 639, 640, 641, 642, 643, 644, 645, 646, 647, 648, 649, 650, 651, 652, 653, 654, 655, 656, 657, 658, 659, 660, 661, 662, 663, 664, 665, 666, 667, 668, 669, 670, 671, 672, 673, 674, 675, 676, 677, 678, 679, 680, 681, 682, 683, 684, 685, 686, 687, 688, 689, 690, 691, 692, 693, 694, 695, 696, 697, 698, 699, 700, 701, 702, 703, 704, 705, 706, 707, 708, 709, 710, 711, 712, 713, 714, 715, 716, 717, 718, 719, 720, 721, 722, 723, 724, 725, 726, 727, 728, 729, 730, 731, 732, 733, 734, 735, 736, 737, 738, 739, 740, 741, 742, 743, 744, 745, 746, 747, 748, 749, 750, 751, 752, 753, 754, 755, 756, 757, 758, 759, 760, 761, 762, 763, 764, 765, 766, 767, 768, 769, 770, 771, 772, 773, 774, 775, 776, 777, 778, 779, 780, 781, 782, 783, 784, 785, 786, 787, 788, 789, 790, 791, 792, 793, 794, 795, 796, 797, 798, 799, 800, 801, 802, 803, 804, 805, 806, 807, 808, 809, 810, 811, 812, 813, 814, 815, 816, 817, 818, 819, 820, 821, 822, 823, 824, 825, 826, 827, 828, 829, 830, 831, 832, 833, 834, 835, 836, 837, 838, 839, 840, 841, 842, 843, 844, 845, 846, 847, 848, 849, 850, 851, 852, 853, 854, 855, 856, 857, 858, 859, 860, 861, 862, 863, 864, 865, 866, 867, 868, 869, 870, 871, 872, 873, 874, 875, 876, 877, 878, 879, 880, 881, 882, 883, 884, 885, 886, 887, 888, 889, 890, 891, 892, 893, 894, 895, 896, 897, 898, 899, 900, 901, 902, 903, 904, 905, 906, 907, 908, 909, 910, 911, 912, 913, 914, 915, 916, 917, 918, 919, 920, 921, 922, 923, 924, 925, 926, 927, 928, 929, 930, 931, 932, 933, 934, 935, 936, 937, 938, 939, 940, 941, 942, 943, 944, 945, 946, 947, 948, 949, 950, 951, 952, 953, 954, 955, 956, 957, 958, 959, 960, 961, 962, 963, 964, 965, 966, 967, 968, 969, 970, 971, 972, 973, 974, 975, 976, 977, 978, 979, 980, 981, 982, 983, 984, 985, 986, 987, 988, 989, 990, 991, 992, 993, 994, 995, 996, 997, 998, 999, 1000

漢代の繪畫に就いて
濱田耕作 『國學』 43—503, 509 又 『洋美術研究』 昭17

漢代の壁畫古墳
濱田耕作 『東洋美術』 14 昭7

畫像石の種々
島居龍藏 『滿蒙の探查』 昭7

今回(昭和三年)の滿蒙調査で得た者
島居龍藏 『滿蒙を再び探る』 昭7

關東州董家口に於ける漢式墳墓
三上次男 『人類雜誌』 48—2, 5 昭8

旅順老龍山麓に於ける漢代墳墓
田澤金吾 ● 『人類雜誌』 48—2, 5 昭8
矢島夢介 『考古學雜誌』 20—2, 5 昭5

關東州董家溝古墳調査報告書
滿洲漢文化調査之一
三宅俊成 『滿洲學』 7 昭7

南滿洲營城子漢代甄墓の發掘
島田貞彦 『史林』 20—1 昭10

營城子・前牧馬驛附近の漢代壁畫甄墓
森修内藤寬 『東方』 古學叢刊 『東亞』 古學叢刊 44 復版 1 圖版 7 上批評 關野貞和愛 『人類學雜誌』 44—1 昭10

營城子古墳壁畫の畫題に就いて
水野清一 『東方』 古學叢刊 44 營城子 附録 昭7

營城子古墳の壁畫に就いて
姚鑒 『考古學雜誌』 11—3 昭14

營城子畫古墳篇を讀む
八木榮三郎 『滿蒙』 10—1 昭10

營城子(東亞考古學會編)評
史學雜誌 46—1 昭10
史林 20—1 昭10

營城子古墳壁畫に關して
熊谷宜夫 『畫說』 67 昭17

- 營城子古墳壁畫補記
熊谷寛夫 靈説 67 昭17
- 南滿洲遼陽附近の漢代遺蹟について
梅本俊次 史學雜誌 46—47 昭10
- 遼陽の古蹟
木下李太郎 太陽 26—34 大9
- 南滿洲遼陽附屬地發見の石棺 古墳
梅本俊次 滿蒙 15—16 昭5
- 南滿洲遼陽に於ける古蹟調査
駒井和愛 考古學雜誌 32—37 昭17
- 遼陽に於ける漢代墳墓の發掘調査
原田淑人 史學雜誌 53—54 昭17
- 遼陽古墳發掘記
島田正郎 觀光車亞 9—10 昭17
- 考古學より見たる
原田淑人 滿洲古蹟古物名勝天然紀念物保存協會誌 3 昭17
- 遼陽の史蹟を探る
三宅俊成 觀光車亞 8—11 昭16
(又滿洲古蹟保存會誌 31遼陽) 昭17
- 南林子の壁畫古墳
原田淑人 國華 52—53 昭18
- 遼陽南林子漢代古墳壁畫(圖版解説)
國華 53—54 昭18
- 遼陽附近の壁畫古墳
濱田耕作 東亞考古學研究 昭5
- 遼陽發見の壁畫古墳
八木契三郎 東洋學報 11—11 大11
- 遼陽太子河附近の壁畫ある古墳
塚本青 考古學雜誌 11—17 大10
- 南滿洲遼陽附屬地發見の石棺 石墳
梅本俊次 滿蒙 15—16 昭5
- 漢代古墳の發掘(鞍山)
島居龍藏 滿蒙の探查 昭5
- 南滿洲遼陽出土の漢代銅玉
水野清一 東方學報(京都) 4 昭5
- 遼陽壁畫古墳保存工事竣工
滿洲古蹟古物名勝天然紀念物保存協會誌 4 昭18
- 奉天市塔灣發見之古墳
李文信 國立中央博物館時報 5 昭15
- 奉天の古墳發見(長沼漢墳遼墳)
滿洲古蹟古物名勝天然紀念物保存協會誌 4 昭18
- 奉天考古日誌抄(長沼漢墳遼墳)
田中堯雄 收書月報 85 昭18
- 支那古代の長城に就いて
橋本増吉 史學 5—2—6—1 大15—昭5
- 燕の龍城と龍騰苑
岡大路 滿洲建築雜誌 19—2 昭14
- 燕の長城考
村田治郎 滿蒙 17—5 昭11
- 燕の北長城(萬里長城の研究第1)
村田次郎 建築學會論文集 29 昭18
(同概説 建築雜誌 67—69) 昭18
- 滿洲長安出土の漢代文字瓦當
山口松次郎 滿蒙 13—14 昭7
- 滿洲國撫順の古瓦に就いて
渡邊三三 考古學雜誌 30—31 昭14
齋藤武一
- 秦漢の北長城東部(萬里長城研究第2)
村田次郎 建築學會論文集 31 昭1
(同概説 建築雜誌 67—70) 昭18

萬里の長城と古北口の懷古

伊藤清造 支那の建築

昭4

萬里長城

藤徹生 滿蒙 87-91

昭3

支那の城廓と長城に就いて

鰐淵友常 歴史地理 34-35

昭4

文献に現れたる萬里長城

山王丸蘭州 滿蒙 1-13

昭5

滿洲に於ける漢代の城址

駒井和愛 觀光東亞 1-2 又滿洲の城 昭17

昭17

玄菟部の屬縣高顯の遺址

池内宏 考古學雜誌 31-32

昭16

漢代第三玄菟郡

渡邊三三 撫順史治

昭15

南滿洲牧羊城址發掘報告(第一次發掘)

島田貞彦 歴史と地理 22-31

昭3

旅順牧羊城の漢時代城址(研究旅行覺書の内)

清野謙次 民族 1-3

大15

南滿洲牧羊城址發掘概況

島田貞彦 歴史と地理 22-31

昭4

牧城驛古墳より発見せる漢代の漆器及其の他の遺物

濱田耕作 國華 271號

大2

「牧羊城」(東亞考古學叢刊 2)(評)

後藤 考古學雜誌 22-31

昭7

大嶺屯城址(漢及漢代前の遺蹟)

三宅俊成 滿蒙 34-40

昭5

熱河省梁平縣附近の遺蹟

上都 東方考古學會叢刊

昭16

南滿洲漢墓發見の一瓦屋に就いて

島田貞彦 歴史と地理 22-31

昭9

南滿洲發見の漢代青銅器遺物

森修 考古學 8-7

昭12

高 句 麗

滿洲に於ける漢及び高句麗時代の遺跡

東方學報(東京) 6

昭11

高句麗時代の古墳について(壁畫)

中村清兄 考古學論叢 4

昭12

再び高句麗時代の古墳について

中村清兄 考古學論叢 7

昭12

扶餘行

池内宏 トルメン 2-7

扶餘の舊部

清野謙次 民族 2-7

昭3

扶餘地方發見の古墳と水門

八木獎三郎 人類學雜誌 21-9

大7

高句麗の墓制に就いて

梅原未治 史林 24-1

昭14

滿洲に於ける高句麗遺蹟

藤田亮策 朝鮮 22-2

昭13

輯安高句麗墓に關する一二の考察

駒井和愛 考古學雜誌 22-31

昭14

(注) 三森評此論文於考古學論叢1(輯)

通溝附近の古墳と高句麗墓制

藤田亮策 池内博士還曆紀念東洋史論叢

昭15

保存協會誌 8(輯安)

康11

鮮滿に於ける前方後圓形
徳永孝一 東洋 43—5, 8 昭15

朝鮮人の見たる通遼の遺蹟
藤田亮策 京城帝大史學會誌 15 昭14

安東省輯安縣城附近高句麗の遺蹟
三宅俊成 滿蒙 16—9 昭11
(又古蹟古物名勝天然紀念物保存協會誌
8輯安) 昭19

滿洲國輯安縣高句麗遺蹟調査の現
況
七田忠志 考古學雜誌 25—17 昭13

安東省輯安縣高句麗古墳調査消息
考古學雜誌 27—3 昭17

滿洲國安東省輯安縣に於ける高句
麗の遺蹟
池内宏 考古學雜誌 28—3 昭13

滿洲國安東省輯安縣に於ける高句
麗遺蹟の調査
藤田亮策 青丘學叢 23 昭11

滿洲輯安縣及び平壤附近に於ける
高句麗時代の遺蹟
關野貞 考古學雜誌 5—3, 4 大3

通溝二日半
池内宏 東洋 38—22 昭19

朝鮮の古王國高句麗の遺蹟
エシヤワンヌ
平山和巳譯 叢書月報 78號 昭17

滿洲輯安縣に於ける高句麗の遺蹟
池内宏 考古學雜誌 26—3 昭11

廣闢土王陵
關野貞 世界美術全集 4 昭3
滿洲國安東省輯安縣高句麗遺蹟の
第二回調査
三上次男 考古學雜誌 26—12 昭11

輯安行高句麗時代の遺蹟調査
三上次男 歴史地理 11—1 昭13

鴨綠江畔好太王の碑と將軍塚
木柴三郎 亞東 (1—7—8) 昭15

遼東半島に於ける高麗の考古學上
の事實
鳥居龍藏 史學雜誌 7—8

滿洲國通化省輯安縣に於ける高句
麗の壁畫古墳
池内宏 梅原末治 考古學雜誌 27—2 昭15

新出の高句麗遺(輯安縣)壁畫
梅原末治 東洋史研究 1—2 昭19

新出の高句麗壁畫(口繪及略解)
東洋史研究 1—3

高句麗古墳の壁畫に就て
内藤湖南 支那繪畫史

陵を見る
田中倉琅子 畫說 7 昭11

池内宏著滿洲國安東省輯安高句麗
遺蹟
史學雜誌 47—8 昭11
史林 3—4 昭11

池内宏著「通溝」上
村清兄 史林 24—3 昭14

池内梅原共著「通溝」卷下
田 E 東洋史研究 6—1 昭15

鴨綠江河畔の高句麗遺蹟壁畫 上に
見える歌舞音樂資料
研究調査部東洋音樂研究 1—1 昭12

國立博物館に於いて高句麗壁畫 模
寫並遺品展覽
滿洲史學 2—3 昭14

鴨綠江畔洞溝に於ける高句麗の遺跡

鳥居龍藏 東洋時報 197 明19

洞溝に於ける高句麗の遺跡と遼東に於ける漢族の遺跡

鳥居龍藏 史學雜誌 21—5 明43

問島省延吉縣西城村北人屯 所在の高句麗時代の古墳群調査概報

一宅宗悦 國立中央博物館時報 3 昭14

長白山附近の地勢及び松花江水源附完顔城址

小川琢治 歴史研究會講演集 2 昭10
阿支那歴史地理研究 昭10

南滿の高麗城

島田好 滿蒙 8—11 大15

高句麗城址

島田好 觀光東亞 6—1 昭17
1) 卑沙城(金城) 2) 建安城(濛城) 3) 白巖城(遼陽) 4) 安市城(海城) 5) 新城(撫順) 6) 鳥骨城(鳳凰城) 7) 國內城(輯安)

高句麗の城廓と撫順新城

三上丈男 觀光東亞 9—12 (又滿洲の城) 昭17

高句麗の南北道と南蘇木底

今西春秋 普丘學叢 22 昭10

高句麗の新城(撫順)

渡邊三三 滿蒙 14—9 昭8
(又奉天圖較叢刊16)

高句麗の安市城の位置に就て

島田好 歴史地理 43—1 昭2

千三百年前の我國防と新城

渡邊三三 (撫順高句麗新城) 撫順史話 昭15

撫順北關山城址(高句麗時代)

渡邊三三 撫順史話 昭15

高句麗の新城(見)

渡邊三三 滿蒙 14—9 昭8

高句麗城と鳳凰山上の遺跡 柳條邊嶺と高麗門附近の遺址

島田好 亞東 6—9 昭4

鳳凰山

八木樊三郎 亞東 6—9 昭4

國內城及び丸都城の位置

關野真 史學雜誌 25—11 昭1

丸都城及國內城の位置につきて

鳥居龍藏 史學雜誌 25—7 大3
(講演筆録在同誌 25—5)

高句麗丸都の遺蹟

池内宏 東方學報(東京) 8 昭3

高句麗の安市城の位置に就て

島田好 歴史地理 43—1 昭2

洮南(高句麗城址)の遺物

小村俊夫 滿蒙 12—17 昭3

高句麗の蓋牟城に就て

岡田一龜 稻葉博士還歴記念滿鮮史論叢 昭16

蓋牟城址

渡邊三三 撫順史話 昭15

蘇子河流域に於ける高句麗と後女眞の遺蹟

高橋匡四郎 建國大學研究會研究期報 2 昭16

高句麗の平壤城及長安城に就いて

關野真 史學雜誌 25—1 昭1

桓仁縣の高句麗遺蹟

黒田源次 東洋史研究 2—1 昭14

桓仁三日の旅

黒田源次 滿洲史學 1—1 昭12

滿洲國間島省琿春縣半拉城に就いて

齋藤甚兵衛 考古學雜誌 7—5 昭17

城津地方に在る古墳と遺物並に女眞族の遺蹟

木村宗太郎 考古學雜誌 5—4 大4

滿洲の古碑

考古界 6—10 明36

高麗好太王碑銘考

菅政友 史學雜誌 2—22, 23, 24, 25

高句麗古碑考

那珂通世 史學雜誌 4—48, 49 (好太王)

高麗古碑及追加

三宅米吉 考古學會雜誌 2—1, 2, 3, 5 明4

好太王碑卒年について

末松保和 史學雜誌 46—1 昭19

高句麗牟婁婁の墓と壘書の墓誌

池内宏 苑 1—8 昭12

廣開土王碑發見の由來と碑石の現状

池内宏 史學雜誌 46—1 昭19

高句麗好太王碑考

島田好 滿蒙 11—3 12—2, 6, 7 昭5, 9

高句麗古碑

木岡良爾 如蘭話 8 明12

渤海

渤海東京考

島山喜一 史學論叢 7 昭11

渤海國都城址の發掘

駒井和愛 歴史學研究 1—1 昭8

渤海國都城址發掘の概要

原田淑人 史學雜誌 44—13 昭3

渤海國上京龍泉府の第二回發掘に就いて

三上次男 歴史學研究 2—1 昭9

渤海國上京龍泉府の遺址について

島山喜一 滿鮮文化史觀 昭10

渤海の舊都東京城の發掘

歴史地理 62—3 昭3

渤海東京城發掘

水野 史林 10—4 昭9

渤海國都東京城に就いて

島山喜一 朝鮮建築 14—6 昭10

東京城名義考

原田淑人 池内博士還曆記念東洋史論叢 昭15

東京城再見記(渤海上京龍泉府)

島山喜一 觀光東亞 7—9 昭15

渤海國上京城址

村田治郎 建築學研究 具6 昭7

東京城—渤海國上京龍泉府址

石田茂作 考古學雜誌 26—6 昭14

渤海古城(東京城)

島居亂藏 滿蒙の探査 昭14

渤海國上京の街坊に就いて

原田淑人 東方學報(東京) 9 昭14

渤海の中京顯德府に就いて

島山喜一 東洋史研究 2—76 昭19

東京城外光古屯土城址

黒田後次 滿洲史學 1—1 昭12

東京城（東亞考古學會編）評

考古學雜誌 20—9

昭14

史學雜誌 5—11

昭14

滿洲國間島省内古蹟調査略報

鳥山喜 考古學雜誌 27—1

昭12

東京城出土の馬尾に就いて

瀧川政次郎 滿蒙 18—1

昭12

東京城出土の版瓦に就いて

瀧川政次郎 歴史教育 11—1

昭12

渤海の佛像

原田淑人 文化 2—11

昭10

渤海國の石燈籠について

池内宏 東亞考古學別冊

昭11

蘇密城に就いて

鳥山喜 池内博士還曆記念東洋史論叢

昭15

蘇密城址踏査記

李文信 滿洲史學 2—1

昭14

北滿の二大古都址（鳥山喜一）評

東京城と白縣

人類學雜誌 50—9

昭11

青丘學叢 21

昭11

間島省の山城土城

鳥山喜 觀光東亞 1—1 又滿洲の京 昭17

遼

滿洲に於ける北魏と遼時代の文化的遺跡

關野真 東方學報東京 6

昭11

考古學上より見たる契丹の文化

鳥居龍藏 東方學報東京 6

昭11

遼代の文化

鳥居龍藏 考古學雜誌 21—1

間島帝國總領事館門内の石獸石人

考古學雜誌 6—7

契丹の殘した遺跡の探査について

鳥居龍藏 歴史科學 2—1

昭11

滿洲に於ける遼金時代の文化的遺跡

關野真 東方學報東京 6

昭11

滿洲東蒙古の三大遺蹟

鳥居龍藏 滿蒙の探査

昭13

驚冠壺を出土せる最初の古墳に就いて

三宅宗悅 國立中央博物館時報

昭15

熱河老西營子城墓調査記

三上 男

水野清 人類學雜誌 50—10

昭11

滿洲國熱河省葉爾蘇附近の遺蹟に就いて

三宅宗悅 考古學雜誌 27—1

昭12

滿洲熱河省大名城發見の石棺等について

鳥田真彦 紀元二千六百年記念史學論文

昭16

林東紀行一遼の古蹟を探る

三宅俊成 觀光東亞 1—12 10—1

昭17

滿蒙に於ける契丹の遺蹟について

鳥居龍藏 遼の文化書探る

昭12

ワールインマンハ調査旅行誌

齊藤菊太郎 滿洲史學 3—2

ワールマンハの遼凌

山本守 遼東の珠

昭19

遼凌帝后の哀冊と慶陵

田村實造 滿洲學報 7

昭14

熱河省の古代文化と遺蹟
齋藤武一 旅行雜誌 41—44 昭18

遼の陵墓について
鳥居龍藏 史學雜誌 42—7 昭5

遼慶陵の調査
小坪行雄 史學 21—1 昭14

遼の慶陵
ミニリ著
平山和巳 收書月報 71 昭15

フールマンハ遼の陵墓の調査
陵内壁畫の描寫
鳥居龍藏 滿蒙の探查 昭12

遼代陵墓内の壁畫に就いて
鳥居龍藏 中央美術 8 昭9

契丹の陵墓とその陵碑に就いて
鳥居龍藏 上代文化 9 昭7

遼代壁畫古墳
山本守 洋史研究 2—5 昭12

遼代の壁畫について
鳥居龍藏 國華 41—49—493 昭7
又滿蒙を再び探る

滿洲遼墓と景教との關係に就いて
鳥居龍藏 史學雜誌 47—5 昭11

遼代の建築
村田治郎 史蹟 21—1 昭14

遼の古部を尋ねて（上京慶州 城陵墓等）
鳥居龍藏 明治聖蹟紀念會紀要 46 昭7

遼金都城考（北京通信）
小野勝年 考古學論叢 14 昭1

遼の慶州城
竹島卓一 東方城報（東京）11、1—2 昭14、15

遼の上京城址
竹島卓一 東洋建築 1—1 昭12

遼の上京とその遺品
鳥居龍藏 國華 248、253 明44

遼中京城址の大塔
竹島卓一 國華 51—5 昭16

遼の中京とその過去及現在中京内外遺蹟の研究
鳥居龍藏 遼の文化を探る 昭12

遼の中京大寧城の廢墟
武雄 謀蒙 1—2 大9

遼の中京城址
竹島卓一 東方學報（東京）11—1 昭15

古城の探查（洮南）
鳥居龍藏 滿蒙の探查 昭1

洮南附近の古城址と遼秦州
村田治郎 滿蒙 1—5 昭4

八面城の探查
鳥居龍藏 滿蒙の探查 昭1

遼金の古城址
瀧川政治郎 滿洲古蹟古物名勝天然紀念物保存協會會誌 1 昭17

柞木城附近の探查（鐵塔）
鳥居龍藏 滿蒙の探查 昭1

遼陽發見の壁畫古墳
八木獎三郎 東洋學報 11—1 大10

遼陽に發見せる遼代古墳の壁畫（遼陽東石岫山）
滿洲史學 1—1 昭12

遼西義縣の石窟寺紀行
濱田青陵 寶雲 8 昭8

- 契丹畫像石の圖様に就て
島居 藏 歴史教育 1—1 昭11
- 契丹畫像石の圖様
島居 藏 歴史教育 10—1 昭11
- 南滿洲鞍山出土畫像石の調査
梅本俊次 研究要報 5 輯 昭9
- 鞍山出土畫石に就いて
梅本俊次 滿蒙 10—5 昭4
- 遼代古墳の發掘とその出土品(鞍山)
梅本俊次 滿蒙 11—56 昭5
- 畫像石とケールン
島居 藏 滿蒙の探査 昭4
- 鞍山の調査
島居龍藏 阿比利亞から滿蒙へ 昭4
- 遼東にて發見せし獅子符の彫刻石
島居龍藏 考古學會 誌 1—1 昭26
- 獅子符の圖様ある彫刻石(遼切)
島居 藏 滿蒙の探査 昭4
- 遼の道宗墓誌篆蓋上の十二支像
八樞三郎 滿蒙 11—1 昭3
- 撫順の遼代石經幢
渡邊 三 滿蒙 10—1 昭1
- 遼の銅鑿
關野真 美術研究 4—2 昭4
- 東丹王陵考案記
金毓敏 滿洲學報 2 昭3
- 滿洲國熱河遼平縣發見の古銀銅面
島田眞彦 史前 20—1 昭11
- 滿洲發見古銀銅面について
島田眞彦 考古學雜誌 3—3 昭11
- 滿洲國新出の古銀銅面及二三の青銅遺物について
島田眞彦 考古學雜誌 26—2 昭11
- 滿洲國熱河省新出の古銀銅面
島田眞彦 考古學雜誌 27—1 昭12
- 滿洲出土怪獸裝飾紋
丸茂武重 古代文化 13—6 昭13
- 滿洲出怪人面紋
丸茂武重 古代文化 13—1 昭17
- 撫順に於ける開闢の古碑銘
水島 考古界 6—1 昭11
- 契丹文哀冊に就いて
辛兌鈺 青年 叢 28 昭11
- 遼在金吾衛王將瓦蕭德溫墓誌跋
羅福頤 國立中央博物館時報 11 昭11
- 遼彭城郡王劉繼文墓誌跋
羅福頤 國立中央博物館 時報 11 昭11
- 林西遼陵石新出土の紀事
島田好 書香 46 昭11
- 熱河發見の契丹文字墓誌
島田眞彦 ドルメン 昭11
- 遼陽喇嘛墳碑文の解説
黨湖 內務博士選歴祝賀支那學論義 大15 昭11
- 遼考喇嘛墳碑文解説補正
黨湖 史林 22—1 昭12
- 椽賓とて類世室碑に就いて
園田 龜 滿洲史學 1—1 昭13
- 大遼大横帳蘭慶郡郡夫人建靜安寺碑
山下泰藏 滿蒙 16—1 昭11
- 奉天圖書滙刊第23册 昭11

奉天の石經幢
 稻葉君 新佛 17-12 大

奉天故宮前の石經幢年代考
 園田 龜 滿蒙 16-19 昭10
 又奉天圖書館叢刊第24册

撫順遼代石經幢
 渡邊 三三 奉天圖書館叢刊 14 昭7
 滿蒙 15-1 昭11

輯安發見の畫像石(圖說解道)
 島居 龍藏 滿洲史學 2-1 昭10

景教に關する畫像石
 島居 龍藏 考古學雜誌 27-3 昭12

『西游記』圖像を剛刻せる畫像石
 島居 龍藏 寶雲 11 昭11

契丹畫像石の圖樣について
 島居 龍藏 歴史教育 10-4 昭10

遼代の畫像石に就いて
 島居 龍藏 史學雜誌 43-7 昭7

遼靈藏寺佛塔碑文並に舍利函關り刻
 堀謙遠 史學雜誌 20-11 昭10

滿洲國朝陽の遼代碑文と佛塔
 村田治郎 建築學論文集 27 昭17
 (同梗概 建築雜誌 5-1-32)

遼宣懿皇后哀冊釋文
 羅福頤 滿洲學報 2 昭7

朝陽縣出土の韓公墓誌
 園田 龜 滿蒙 16-7 昭10
 奉天圖書館叢刊第20册

遼大康通寶銀泉考
 羅福頤 國立中央博物館時報 16 昭7

遼大康通寶銀泉考
 羅福頤 國立中央博物館時報 16 昭17

錦州北鎮縣出土埴邊金古錢整理記
 國立中央博物館時報 22 昭18

遼陽發見の水盟
 高橋 考古界 8-2

金元明清

金完顏希尹の墳墓
 園田 龜 考古學雜誌 20-3 昭14

滿洲吉林省石碑嶺發見金
 島田真彦 考古學雜誌 28-1 昭18

石碑嶺と鐵嶺
 水野清一 駒和陵 人類學雜誌 5-1-1 昭11

金上京遺址追考
 村田治郎 滿蒙 18-9 昭12

金の上京に就て百鳥博での講演
 人 考古界 8-9

阿什河と金の上京
 島居龍藏 西比利亞滿蒙へ 昭7

金上京遺址の一問題
 村田治郎 滿蒙 17-1 昭11

金上京遺址追考
 村田治郎 滿洲建築雜誌 18-9 昭12

金の上京址白城にふとも讀む
 竹島卓一 建築史 2-2 昭15

金の上京會寧府の遺址にツいて
 吉田金一 研究要報第十輯 昭12

金の上京址白城に就いて
 園田 龜 考古學雜誌 20-7 昭14

金の上京
 島居龍藏 滿蒙の探査 昭7

- 金國國都の踏査に就いて
鳥山喜一 北滿の二大古都址 昭10
- 金の上京址の出土品に就いて
鳥山喜一 青丘學叢 19 昭10
- 金の上京址—白城
鳥山喜一 滿蒙 76—9 昭10
- 完顏城址考
小川琢治 史學研究會講演集 2 明42
- 塔呼城址
山下泰藏 滿洲史學 1—1 昭12
- 柳條邊牆と金の邊堡
長古川兼太郎 同仁 12—5 7 昭13
- 寬甸縣より發見の經略副使之印
山田文英 滿洲史學 2—3 昭14
- 北青城串山城女真字摩崖考釋
稻葉岩吉 青丘學叢 2
- 白城址より金代刻銘の磚を發見
山田文英 滿洲史學 2—3 昭14
- 大金得勝陀頡碑の研究
田村實造 東洋史研究 2—5 6 昭12
- 女真國書碑考釋
羅福頤 支那學 5—4 昭14
- 滿洲公主嶺附近石人石獸
考古學雜誌 8—10
- 大金の得勝陀頡碑に就て
園田一龜 滿蒙 14—12 昭9
奉天圖書館叢刊 12 昭9
- 新女真國書碑に就いて
山下泰藏 滿蒙 15—9 昭9
- 旅行の思ひ出と女真字碑文に就いて
鷺淵一 史學研究 6—2 昭3
- 女真文字與屯良弼錢飲碑
鳥田好 滿蒙 15—3 昭9
- 金安撫副使印
白井長助 考古學雜誌 31—2 昭16
- 金經略副使印考
羅福頤 國立中央博物館時報 8 昭15
- 女真字銅印
今西春秋 東洋史研究 3—3 昭13
- 女真の古鏡に就て
三宅長策 朝鮮 4—2 明42
- 滿蒙に残存せる元の二大史蹟
須佐嘉橋 滿蒙 17, 3, 9—11 昭10
- フルン・ブイル地方の考古學的遺跡
三上次男 蒙古學 1 昭12
- 「成吉思汗城の發掘」(海拉爾北小河子)
東京朝日より 歴史教育 11—5 昭11
- 成吉思汗の古都發掘(國民教化新聞より)
歴史教育 11—5 昭11
- 金代の古鐘
水島 考古界 6—5
- 金承安の古鏡
高橋 考古界 8—2
- 成吉思汗皇帝聖旨碑
羽田亨 歴史と地理 34—4 5 昭9
- 北鎮廟元御香碑考
羅福頤 滿洲史學 1—2 昭12
- 烏丹城附近に元碑を探る
田村實造 蒙古學 1 昭12
- 烏丹城附近の二人元碑(圖版解題)
東洋史研究 1—1 昭10

元張百戸墓碑考

岩間徳九 滿蒙 11-11 大14

元の開元路退没台鈔印の出土 就いて

稻葉岩吉 青丘學叢 3 昭13

奴兒干永寧寺二碑補考

内藤虎次郎 續史叢錄 昭14

奴兒干永寧寺碑女真國書圖釋

羅福頤 滿洲學報 5 昭13

奴兒干永寧寺碑補考

羅福頤 滿洲學報 5 昭13

阿什哈達磨崖

杉村勇造 滿洲史學 1-2 昭12

迷鎮山娘娘廟碑記考

植野武雄 亞東 11-13 昭14

遼陽喇嘛墳碑記

鷺淵一 滿洲碑記考 昭18

昌圖附近の明代邊牆

横地得三 藝文 12-13 昭14

明代遼東邊牆

渡邊三三 撫順史話 昭15

烽火臺と路臺

島田好 滿蒙 3-40-42 昭13

金州望海埭に於ける倭寇遺蹟の研究

杉本吉五郎 滿蒙 11-17 大14-15

撫順城郭考

田中國彦 滿洲建築雜誌 16-3 昭14

撫順城（明清）

渡邊三三 撫順史話 昭15

遼陽の城垣につきて

黒田源次 滿洲史學 11-1 昭14

遼陽新城實測報告書

吉村孝義 滿洲古蹟古物名勝天然記念物保存協會誌 3 昭17

蓋平城撤去

滿洲古蹟古物名勝天然記念物保存協會誌 4 昭18

倭寇と望海埭城

島田貞彦 滿洲の城 昭17

初夏の復海城

古川賢一郎 旅行雜誌 11-7 昭10

奉天城

愛廉王 歴史地理 17-1 明44

消える奉天城

靑十匹雄 觀光東亞 8-13 昭16

清東京城城門（遼陽）

史學雜誌 17-13 明39

蘇子河流域に於ける高句麗と女眞の遺蹟

高橋匡四郎 建國大學研究院研究期報 2 昭15

女眞の遺蹟を探る

井坂錦江 バルメン 2-1 昭15

興京二夜

渡邊三三 滿蒙 17-3 昭14

滿洲に於ける清朝初期の滿洲字碑（目錄）

佐藤文比古 滿洲史學 1-1 昭12

黃寺の碑記

鷺淵一 滿洲碑記考 昭18

滿洲聖人遼海の碑

山下泰藏 滿蒙 11-7 昭13

奉天圖書叢刊 9 昭19

海東金石苑を中心とする清鮮文化交流の研究

藤原隣 東方學報(東京) 昭17.5

遼海巴克斯の墓碑

鷺淵一 滿洲碑記考 昭18

薩爾滸山戰碑考

島田好 滿蒙 11—6 昭19

奉天分館藏遼陽馬氏四世墓誌考

羅福頤 國立中央博物館時報 5 昭1

塔察篇古の後裔覺羅氏の碑

高橋匡四郎 滿洲史學 2—3 昭14

奉天博物館展覽

藤誌銘 三宅宗悅 國立中央博物館時報 4

奉天鐵西總軍屯より石碑發掘

河瀬 滿洲史學 2—3 昭1

陶器

滿洲の古陶

小村俊夫 陶磁 12—4 明16

熱河錦州兩省發見陶器考

森修 考古學雜誌 27—3 昭12

遼代の素焼土器に就いて

駒井和愛 東洋史會要紀 1 昭11

林東所見

齋藤菊太郎 陶磁 12—1 昭16

沙鍋窩見物記

小山富士夫 陶磁 12—1 昭16

熱河錦州兩省發見陶器考

森修 考古學雜誌 27—3 昭12

撫順高句麗城址の陶片

小村俊夫 奉天圖書館叢刊 14 昭9

滿蒙 15—3 昭9

撫順大官屯の古窯址

杉村勇造 滿洲史學 1—2 昭12

撫順出土定瓷考

小村俊夫 滿蒙 16—9 昭4

燕州城及缸官屯の古窯址

小村俊夫 滿蒙 11—1 昭5

洮南於近(近)ける高麗古城の陶片について

小村俊夫 東洋 12—3 昭4

滿洲國出土の青銅鍍蓋に就いて

島田真彦 考古學 8—1 昭12

所謂大名城出土契丹國字磚

佐藤文比古 滿洲史學 1—1 昭12

遼開泰七年住銘石棺に伴出の青釉瓶に就て

三宅宗悅 陶磁 12—1 昭16

遼代の瓦當文について興安西省發見古瓦の研究

小林行雄 寶雲 31—7 昭18

金上京址の陶片其の他

小村俊夫 滿蒙 10—9 昭10

古瓦と古甃の研究

八木獎三郎 滿蒙地理歴史 3 昭8

滿洲古瓦に就いて

村田治郎 夢 18 昭13

滿洲出土古瓦管見

島田真彦 夢 1 昭14

金陵所見

保坂三郎 史學 19—1 昭15

百襲刀と宿鐵刀

小川琢治 ドルメン 1—10 昭9

撫順縣大石頭鑄製鐵爐 址に就て
渡邊三三 滿洲史學 2—2 昭14

對 外 關 係

滿蒙鮮と支那本部との關係
稻葉岩吉 滿蒙 5—1, 2 大13

滿鮮關係史雜考
稻葉岩吉 滿蒙 14—1, 5, 6 昭10

支那及び滿洲朝鮮と日本との關係
稻葉岩吉 滿蒙 5—3, 6, 7 大13

日鮮支三國交通略志
八木英三郎 東亞 1—3 昭3

日滿交通略説
内藤虎次郎 叢書講演集 昭10

日滿交歡佳話
瀧川政次郎 滿蒙 17—1 昭11

日本渤海交通史實紹裘考
中山久四郎 史潮 4—3 昭9

渤海國の復現と日本との關係
淺海正三 歴史教育 1—4 昭10

日本朝廷と渤海國との交渉に就て
所見を述ぶ
中村元次郎 歴史地理 2—1 大28

渤海來貢の真相
烏山喜一 日本諸學振興委員會研究報告 4 昭13

毛皮より見たる古代日滿兩國の親善
中山久四郎 外交時報 7—4 昭10

北宋の對契丹防備と茶の利用
松 等 滿鮮地理歴史研究報告 5

遼金交渉史
隈本繁吉 史學雜誌 9—3, 4, 5, 6, 7, 8, 9 昭11

宋と遼西夏との關係
宮崎市定 世界文化史大系 宋元時代 昭10

金初に於ける麗金關係
三上次男 歴史學研究 1—1 昭14

金の外敵に對する政策
烏山喜一 東亞研究 7—1, 2 大13

黄河河道を繞る金宋の交渉
外山軍治 大黃 4(大野編) 昭1

劉豫の齊國を中心として觀たる金
宋交渉
外 軍治 滿蒙史論叢 1 昭13

元、高麗關係の一陶一藩 王に就いて一
九龜金作 青丘學叢 18 昭19

朝鮮孝宗朝に於ける兩次の滿洲出兵
稻葉岩吉 青丘學叢 15—16 昭9

明末清初の鮮滿關係上に於ける日本
の地位
浦廉一 史林 19—2, 3 昭9

藩館考
田川孝三 小田先生頌壽記念朝鮮論集 昭9

藩獄問題に就いて上
田川孝三 青丘學叢 17 昭9

清初に於ける清鮮關係と三田渡の
碑文
鷺淵一 史林 13—1, 2, 3, 4 昭3

露清關係の研究
 下田禮佐 小川博士還曆紀念
 史學地理學論叢 昭5

康熙帝と北方政策
 彌吉光長 觀光東亞 9—9 昭17

張誠と尼布楚條約
 柿沼介 滿蒙 16—12 昭10

滿洲西北境に於ける露支交渉
 増田忠雄 滿鐵調査月報 20—12 昭15

露國の關東州占領略史—關東州に於ける露國權の確立
 ベロツツ著 滿蒙 18—8 19—1 昭12.1.1

露國黑龍江地方侵略史
 煙山專太郎 外交時報 27 28, 29, 31 明5

露西亞の西北利亞併吞史概述
 島田好 書香 104 昭13

露清關係の第一期
 石田幹之助 外交時報 20—1, 2, 3, 4 大3

滿洲に於ける露西亞勢力の變遷
 長島高才 滿蒙 20—6, 8 昭14

日(滿)露交渉史研究年表並に文獻
 古月庵本薦一 國立哈爾濱學院論叢 昭18

旅大租借地問題の再検討
 岸田英治 外交時報 818 昭13

滿洲に絡む日露の史的彙録
 矢野仁一 外交時報 836 昭13

韓滿境界歴史
 小藤文次郎 地理 歴史 6—12 明37

支那側露西亞側史料より見たる清季外交史上の二三の事實について
 矢野仁一 東方學報(京都) 8 昭1

所謂「江東六十四屯」の問題について
 和田清 東西交渉史論下卷 昭13

十九世紀末の露支紛争
 矢野仁一 外交時報 55—4 昭5

愛理條約北京條約の研究
 矢野仁一 東亞經濟研究 25—5 昭16

三國干涉から露國の旅大租借地
 矢野仁一 外交時報 38—4 大12

日清戦争後の露佛獨三國干涉の真相所謂カツニ密約及び露國の真相に就て
 矢野仁一 外交時報 32—6 7 大10

露清交渉小記
 森槐南 外交時報 5 明51

清露秘密條約及滿洲鐵道旅順口大連灣
 有賀長雄 外交時報 3 明51

近世支那朝鮮を繞る日露關係
 野原四郎 平凡社世界歴史大系 9 昭

北滿に於ける外國勢力の消長
 三田了一 滿蒙 9—8 昭3

露國の朝鮮入兵一件
 有賀長雄 外交時報 32 明33

第二の露清條約
 有賀長雄 外交時報 38 明34

露清國境貿易と最惠國條款
 稻垣太郎 時報51 昭5

東部蒙古に於ける露國の勢力
 吉原四郎 外交時報 74 明37

露國極東政策の主眼
 2 島外清三郎 交時三報11—10 明41

- 北滿洲の露國關係
大庭景秋 外交時報 12—1 明42
- 長春會議と露西亞の外交能力
稻田周之助 外交時報 36—9 大11
- 露支協定成立と兩國の新關係
米内山庸夫 外交時報 32—35 大13
- 露支交渉の経緯とその將來
神田正雄 東洋 27—1 大13
- 北滿洲と露支關係
井上義孝 外交時報 45—11 昭2
- 北滿に於ける赤露の政治的勢力
支那時報調査部 支那時報 9—1 昭3
- 露支葛藤と滿洲問題
植田捷雄 外交時報 32—1 昭4
- 露支關係と列國の態度
坂本義孝 外交時報 51—1 昭4
- 露支國交の恢復
新田亮 滿鐵支那月誌 10—1, 2, 9 昭3
- 三國干涉前後の獨逸極東政策
鹿島守之助 外交時報 45—1 昭2
- 三國干涉と支那の外國援助要求
矢野仁一 外交時報 98—1, 8 昭8
- 史談三國干涉
畑山專太郎 外交時報 62—2 昭7
- 旅順威海衛に關する清英露交渉
有賀長雄 外交時報 5 明31
- 旅大に關する英露の交渉
佐藤宏 外交時報 13 明32
- 英獨協商と滿洲問題の眞實關係
有賀長雄 外交時報 37 明34
- 滿洲問題の局面一變せんぞす
有賀長雄 外交時報 44 明34
- 滿洲問題の再發と李鴻章の卒去
有賀長雄 外交時報 46 明34
- 露國將校の日露戰機談
有賀長雄 外交時報 49 明35
- 張家口外に於ける露國の勢力
戸永寛人 外交時報 59 明35
- 英國排露論者の滿洲旅行談
牧野英一 外交時報 59 明35
- 滿洲問題
宮本平九郎 外交時報 6—4 明33
- 滿韓交換論を評す
戸永寛人 外交時報 6—7 明36
- 滿洲撤兵と滿洲開放
有賀長雄 外交時報 6—3 明33
- 滿洲に關する對露外交批評
有賀長雄 外交時報 6—9 明36
- 北韓に於ける露國の舉動
宮本平九郎 外交時報 6—10 明36
- 所謂滿韓交換の眞相及批評
有賀長雄 外交時報 6—11 明36
- 露國經濟と滿洲問題
渡邊千春 外交時報 6—11 明36
- 日露開戦と佛國の地位
宮本平九郎 外交時報 6—11 明36
- 日露開戦と米國の地位
原田豐次郎 外交時報 6—11 明36
- 日露開戦と英國の地位
松宮春一郎 外交時報 6—11 明36

日露開戦と露國社會狀況

櫻山專太郎 外交時報 6—21 明36

滿洲問題に關する露國新聞の忠實の論議

櫻山專太郎 外交時報 4—1 明36

日露問題の焦點

牧野英一 外交時報 7—1 明36

日露交渉顛末批評

有賀長雄 外交時報 7—3 明37

日露開戦

有賀長雄 外交時報 7—3 明37

戰略上に於ける日露の優劣

原田豐太郎 外交時報 7—4 明37

日露戰爭の意義

渡邊千春 外交時報 7—4 明37

露國に對する合衆國の態度

日本魁一 外交時報 7—4 明37

日露交渉に關する往復文書を読む

戸水寛人 外交時報 7—5 明37

露佛同盟と日露戰爭

立作太郎 外交時報 7—8 明37

日露戰爭と國際法

有賀長雄 外交時報 7—10 明37

滿洲の占領

松原一雄 外交時報 7—10 明37

日露戰爭と明治三十七年の歐洲外交界

立作太郎 外交時報 7—3 明38

奉天會戰と媾和説

末廣重雄 外交時報 8—6 明38

日露新協約と清國の民黨

青柳篤恒 外交時報 12—10 明39

新日露協約に就いて

有賀長雄 外交時報 16—6 大正8

小村ローゼン協約の内容

有賀長雄 外交時報 6—21 明37

對西伯利亞鐵道策

佐藤宏 外交時報 16—17 明32

滿洲鐵道處分の先例

有賀長雄 外交時報 8—4 明38

滿洲鐵道中立問題と清國

青柳篤恒 外交時報 13—2 明33

吉敦鐵道と東滿問題

山口昇 支那 17—4, 7, 10 大正昭
18—1, 2, 3

旅順口開城規約

篠田治策 小田先生頌壽紀念朝鮮論集 昭

近世支那朝鮮を繞る日露關係

世界歴史大系東洋近世史 2 昭

滿洲に於ける拳匪の叛亂

丹羽新一郎 收書月報 67 昭14

滿洲に於ける拳匪の叛亂

園田一龜 滿蒙 15—4, 5, 6, 7 昭
泰 圖書雜誌刊 17 昭9

義和拳匪亂と露西亞の滿洲占領について

矢野仁一 東亞經濟研究 18—1 昭9

滿洲東部國境の界牌

淺海正三 歴史教育 12—12 昭13

滿洲東部國境の諸問題

增田忠雄 滿鐵調査月報 18—3 14
(註史學雜誌 59—8, (昭14)市古氏評此論文)

滿ソ國境問題の展望

本多弘一 滿蒙 16—10

昭10

露國船舶松花江航行の由來

軍司義男 滿蒙 18—9

昭12

松花江の航行權

矢野仁一 外交時報 24—3, 4

大5

北滿に於ける民國の活動

清水泰次 外交時報 31—5

大9

滿洲に於ける國際鐵道戰

上田恭輔 外交時報 48—10

昭3

滿洲鐵道問題

大井卯次郎 外交時報 57—1

昭6

南京政權の滿洲進出と滿蒙鐵道政策の新脅威

武田文彬 東亞 2—10

昭6

東清鐵道の經濟的趣旨

畑山專太郎 外交時報 7—4

明37

大連會議と東支鐵道

村田懋麿 外交時報 34—10, 11

大10

大連會議

中尾龍夫 外交時報 35—4

大11

東支鐵道の國際關係と其將來

外交時報社調査部 外交時報 38—2, 3, 4

大12

東支鐵道問題の歸結

細谷清 外交時報 38—12

大12

東支鐵道と北滿洲の移民

井上義孝 東洋 29—1

大15

東支鐵道の政治的地位を論ず

井上義孝 外交時報 29—6, 7, 8

大15

支那に於ける露人の事業

支那時報調査部 支那時報 6—5

昭2

東支鐵道を挟んで

稻原勝治 東亞 2—10

昭4

東支鐵道とソヴェット聯邦

大竹博吉 東亞 3—4

昭5

東支鐵道を中心とする露支紛争

林暢夫 外交時報 53—6

昭5

東支鐵道の現状

滿鐵調査部 滿鐵調査月報 11—11

昭6

東支鐵道

松本忠雄 支那 23—8, 10, 12

昭7

東支鐵道賣却問題と東支鐵道關係最近外交史

英修造 東亞 6—6, 7, 8, 9, 10

昭7

東鐵問題對策に関する考察

齋藤清 外交時報 66—6

昭8

東支鐵道紛争問題の展望

千原楠藏 支那 24—6, 7, 8

昭8

東清東支鐵道時代の回顧

軍司義男 滿蒙 15—11, 12

昭9

東支鐵道を中心とする露支關係の過去及現在

和田豐八 支那研究 11, 12, 13

沿革的に見たる東支鐵道紛争

佐藤真次郎 東亞 2—10

昭4

東支鐵道をめぐる露支關係

王瀨弘 歴史學研究 1—1

昭8

滿蒙の鐵道問題と日本利權の推移

吉市長夫 滿蒙 9—5

昭3

不戰條約と滿蒙自衛權

信夫澤平 外交時報 51—1

昭5

滿洲に於ける日本の權益の内容

支那時報調査部 支那時報 8—3, 4, 5 昭3

滿蒙に於ける日本の特殊權益に關する資料

支那時報調査部 支那時報 15—4 昭5

ツアーリと滿洲問題

江口朴郎 歴史學研究 5—2
(滿洲史研究)

我が滿蒙權益と四國借款團

岸田英治 外交時報 64—3 昭7

滿蒙諸鐵道の現状

西山榮久 東洋 37—7 昭3

滿蒙邊疆地帶論

蠟山政道 外交時報 61—2 昭7

間島について

幣原垣 歴史地理 12—5, 6 明41

滿韓に起れる國際問題

蛭川新 外交時報 83 明37

間島國境問題

幣原垣 東洋協會調査部
學術報告 1 明42

間島協約締結の由來と其改訂の機運

篠田治策 外交時報 62—1 昭7

間島地方の史的考察

百瀬弘 東亞 7—7 昭9

間島問題の真相

有賀長雄 外交時報 12—1 明42

間島處分の一案

有賀長雄 外交時報 12—3 明42

滿洲に於ける米國の勢力

綿引美佐雄 東洋 34—7 昭6

滿蒙に對する日米の相異點

清澤冽 外交時報 48—1 昭3

滿蒙は支那本來の領土でない

矢野仁一 外交時報 64—1 昭7

歷史上滿洲の支那主權の無根據を論ず

矢野仁一 外交時報 64—2 昭7

滿蒙に於ける日本の正當な地位

矢野仁 外交時報 60—1 昭6

滿洲に於ける日本の地位

松井等 東亞 3—2 昭5

歴史を無視したリトニ報告

清水泰次 外交時報 64—3 昭7

滿蒙藏は支那本來の領土に非る論

矢野仁一 外交時報 35—1 大11

國際委員會設置交渉進展

外交時報 811 昭13

東部滿蘇國境紛争事件

古城胤秀 滿蒙 13—9 昭13

滿蘇國境東南部に關する文獻

田口稔 滿蒙 14—9 昭13

滿洲最近世史上に於ける國際關係の推移

出石誠彦 史苑 11—2

ノモンハン事件の顛末

宮本基 改造 20—13 昭13

日滿蘇衝突事件解決の共同コンミユンケ

外務省情報部 國際情報 昭14, 19

地 質

濱北沿線地質
地質調査所報告 昭12-12

滿洲の地質學
遠藤隆次 論叢 康7、8

熱河の地質及岩石
佐藤捨三 第一次滿蒙學術調查研究團報告 昭12

遼東の地勢地質に關する所見
神保壽 地學雜誌 10-113, 114 昭11

遼東半島古領地の地層並に大成岩の類別
神保壽 地學雜誌 9-103 昭10

遼東半島の地質一斑
小川琢治 地學雜誌 17-115 昭18

盛京省南部地質及地層
上藤之助 小川琢治 地學雜誌 11-208 昭10, 11, 12, 13

安奉線南半沿線の地質
松下進 滿洲技術協會誌 7-48 昭5

關東州西雲河口に附近の地質 特にその構造と地形とに就いて
大谷壽雄 旅順 科大學院誌 51 昭8

錦州省北票より熱河承德に至る地形及地質に就いて
遠藤隆次 森田義人 研究叢書 7 昭11

南滿洲に發達せる志武利亞紀及び奧陶紀に就いて
(豫報) 遠藤隆次 地理學評論 4-5 昭3

滿洲の黒龍江地帯
アムネルト 東亞 7-1 昭9

南滿洲復州金家城子並に遼陽附近産カンブリ小紀化石概報
早坂一郎 大12

關東州大和尚山に於ける震旦系珧岩層と片麻岩との關係に就いて
松下進 小川博士還曆紀念地學論叢 昭5

滿鮮の朝鮮系及び震旦系層序の三型式と秦嶺京坨線の意義に就いて
小林貞一 地質學雜誌 37-447 昭5

鐵鑛を含む南滿震旦系の層序に就いて
齋藤林次 地質調査所報告 92 昭13

滿洲のジュラ系概説
森田義人 滿洲業務資料 1-4-6 昭12

南滿北鮮に發達する奧陶紀層に就いて
小林貞一 地質學雜誌 45, 457, 458 昭5

滿洲渤海區域に發達する地形上のニ特徴と上部カムブリア紀屬及び崗山統の和區分に就いて
遠藤隆次 地質學雜誌 501 昭13

滿洲化石物語
遠藤隆次 滿蒙 9-1 昭3

熱河省生代植物化石に就いて
松澤勲 第一次滿蒙學術調查研究團報告 昭12

松花江の地質
齋藤林次 滿洲の技術 昭15, 12

錦州省内に於て發見されたる古期中世代志龍 (Zhenyuania) の足跡に就いて
鹿島時夫 滿洲 國國立中央博物館論叢 3 昭17

吉林省舒蘭炭田及び奉天省撫順炭田化石植物調査報告

遠藤誠道 滿洲帝國國立中央博物館論叢 3 昭17

南滿復興炭田に於ける石炭系と二疊系との境界

野田光雄 滿洲帝國國立中央博物館論叢 3 昭17

熱河山岳地帯産中世代爬虫類化石に就て

遠藤隆次 藤間時夫 滿洲帝國國立中央博物館論叢 3 昭17

熱河及び間島中世層産レプトレピス科魚類化石

齋藤知夫 第一次滿蒙學術調查研究團報告 昭12

熱錦兩省の魚の化石

島田好 滿蒙 16—6 昭10

撫順炭田古第三紀植物化石研究豫報

遠藤誠道 地學雜誌 38—453 大15

滿洲地質學の父アーネルト

田口稔 滿蒙 18—2 昭13

アーネルト氏とその滿洲地誌への寄與

田口稔 滿洲地理點描 昭14

氣 象

滿洲の氣候區

入江久夫 地球 18—4 昭7

滿洲各地の風車利用に關する基礎的調査

長川敬 大陸科學院彙報 康4

滿洲雨の地理的分布と最大量とに就いて

村越信夫 氣象集誌 11—6 昭8

農耕上より觀たる齊齊哈爾地方の氣象概觀

石川吉胤 滿蒙 18—10 昭12

北滿洲の氣象と豊凶

石川吉胤 滿蒙 19—17 昭13

齊齊哈爾地方の霜と雪

石川吉胤 滿蒙 18—5 昭12

自然地理

滿洲地理區

入江久夫 滿蒙地理歴史 1 昭7

滿洲國の地形區

秋岡武次郎 地理學評論 11—6 昭10

關東州北部の地形學的研究

研究彙報 4 昭10

遼東半島の海岸地形について

花月重次 大塚地理學會論文集 1 昭

遼東半島の海岸

花月重次 地理教育 18—4 昭8

關東州北部の地理學的研究

今村善郷 土田定久郎 研究彙報 4 昭10

熱河の地理區

多田文男 地理學評論 10—1 昭9

關東州北部の地形學的研究

今村善郷 滿鐵教育だより 3 昭9

滿洲熱河方面の侵蝕面

地理學評論 19—6 昭

熱河の村と家

多田文男 地理教育 19—3 昭3

山頂の高度と起伏量との關係並に
より見たる山地の傾斜度 就て

多田文男 地理學評論 19—11 昭9

準平原の地形計測的一考察—遼東
準平原に就いて

河田四郎 地理學評論 6—3 昭5

遼東半島に發達する所謂低位位置準
平原とその諸性質によつて

花重次 地理學評論 4—10 昭3

遼東半島準平原の平坦度

福山正英 地理學評論 8—1 昭7

關東州旅大山地の河岸段丘に就い
て

松下進 地球 19—6 昭6

遼東半島に於ける地殻運動

東木正七 地理學評論 4—3 昭3

關東州大和尚山の構造に就て

松下進 地球 18—4 昭7

老鐵山附近の自然地理研究

福田收治 滿蒙 19—19 昭4

〔滿洲〕地理的特徴

村上源藏 世界地理風俗大系 1

滿洲の自然界

新帶國太郎 滿蒙の知識 1—1 昭3

滿洲の地形

新帶國太郎 日本地理大系 滿洲及南洋篇 昭7

熱河の地理

多田文男 第一次滿蒙學術調查研究團報告書 昭2

蒙古高原と滿洲平野の一部との地形
的相以

多田文男 地理學評論 16—6 昭15

奉天北部新開河附近の地理

宮周藏 滿蒙地理歴史 3 昭3

東部滿州地形所屬地理

花重次 地理 1—3 昭13

滿蒙交界地方の地形について

多田文男 地理學評論 1—5 大14

遼東半島の海岸

花重次 地理教育 18—4 昭3

旅順口方面の風土

志賀重昂 地學誌 17.198—199 明38

遼東半島地形

大塚洋之助 地學雜誌 18—207 明39

長白山附近の地勢及松花江

本川琢治 水源附完顔城址考 史學研究會 明32
講演集 2

長白山脈と興安嶺山脈

小笠原健 滿洲礦業學會誌 康8.2

南北滿洲の山勢と分水嶺に就て

新帶國太郎 地理教育 8—4 昭3

遼河上流地方の地理的特色

新帶國太郎 地理教育 18—4 昭3

內蒙古及奉天附近の砂丘

新帶國太郎 地學誌 32—375, 376 大9

東部蒙古タブスノール湖底に於け
る砂丘の觀察

新帶國太郎 地理教育 13—1, 2 昭5

東部滿洲の火山地形

花重次 地理學評論 15—12 昭14

滿洲の火山に就て

田中秀作 地球 1—3 大13

南滿洲の地震に就て

新帶國太郎 地球 5—1 昭2

滿洲の地震古記録年表
 田中 昭 昭8

南滿洲に於ける地殻運動に就いて
 新帶國太郎 地理學評論 1—1 昭1

遼東半島に於ける地殻運動
 東木 七 地理學評論 4—3

興城温泉地質調査
 新帶國太郎 地質調査報告 昭13—14

滿洲國の土壤に就て
 突永一枝 農業の滿洲 昭16 8—9

アルカリ地帯調査
 滿洲評論 15—16 昭13

龍江省甘南縣に於けるステップ土壤に就いて
 荒川左千代 滿洲農學會誌 康9, 10

同江撫遠低地の利用に就いて
 蘇聯事情 5—6 昭7

滿洲と水
 紫藤貞一郎 滿洲技術協會誌 12—78 昭10

滿洲の水と滿洲の水に對する認識の今昔
 清水本之助 滿洲技術協會誌 12—81 昭11

鴨綠江と遼河との比較
 福地信世 地學誌 18, 206—207—2 9—211—212—214 明29

大連灣海水の觀察
 新帶國太郎 地球 7—5 昭2

滿洲の景域
 齋藤勝祝 研究要報 12 昭13

風景形態に於ける滿洲とエスパニヤとの相似性
 田口稔 滿洲地理點描 昭14

長山列島の自然史
 小林勝生 東亞 8—7 昭3

滿洲國の動物調査研究略史
 北川政夫 遼瀋支那 昭11—7

滿洲國植物調査研究史
 北川政夫 大陸科學院彙報 1—4

滿蒙の野性羊類
 森島三 滿蒙 12—1 昭5

滿洲の松
 野光太郎 旅行滿洲 4—12 昭2

滿洲のスミレ類
 小林勝 滿蒙 10—5 昭10

滿蒙の松
 佐藤潤平 松崎先生還歴祝賀記念論文集 昭12

熱河省昆蟲類
 古川晴男 第一次滿蒙學術調查研究團報告 昭12

熱河省産蜘蛛類
 齋藤三郎 第二次滿蒙學術調查研究團報告 昭12

熱河の植物
 小林勝 滿蒙 10—9 昭1

長白山麓白色地帯を探る
 根元武雄 滿蒙 21—10 昭15

滿洲の鹿
 米良晃 旅行滿洲 5—1 昭12

滿洲の虎
 米良晃 旅行滿洲 5—1 昭13

鏡泊湖及び牡丹江の淡水魚
 滿鐵調査月報 17—8 昭10

人 文 地 理

- 滿洲地誌**
 小田内通致 滿蒙事情地誌 昭7
- 滿洲の地域性**
 小田内通致 東亞論叢 昭15
- 滿洲の人文地理**
 田中秀作 日本地理大系 滿洲及南洋篇 昭5
- 地理學者の滿洲風土記**
 田口稔 滿蒙 19—2 昭14
- わが國上の地位**
 宮川善造 建國大學研究所研究期果 昭10
- 在滿邦人の地理的分布**
 田口稔 滿洲地理點描 昭14
- 滿洲の居住形態に關する一考察**
 入江久夫 研究 昭14
- 黑河盆地に於ける**
 増田忠雄 滿洲史學 1—3 昭14
- 滿蒙住居考**
 野孝文 鮮と建築 19—5 昭8
- 遼東半島南部に於ける漢民族移住の地理考察**
 傅士俊 大塚地理學會論文集 2上 昭8
- 滿蒙聚落の消長**
 山田久太郎 佐佐木彦一郎地理學評論 1—1 昭3
- 北滿に於ける漢人の分布と其の將來**
 是枝滿彦 滿洲地理歴史 2 昭7
- 滿洲開拓地理的過程**
 田中啓爾 地理教育 19—1 昭7
- 滿洲國曠野開拓の革命**
 地理教育 19—4,5 昭8
- 北滿佳木斯附近の特別移民**
 小寺謙吉 地理學評論 19—9 昭11
- 滿蒙の開拓地域**
 入江久雄 地理論叢 8 昭11
- 民族及び聚落處誌**
 福田收作 滿洲事情 昭9
- 滿洲に於ける熱河省の地位に就て**
 田中秀作 彦根高商論叢 13 昭8
- 奉天義縣内の瞥見**
 田中稔 滿蒙 21—9 昭14
- 北滿洲東部の督察**
 河田喜代助 デルタ 2—3 昭13
- 東北部滿洲覺書**
 田口稔 滿洲地理點描 昭14
- 東部京綏線の特質**
 田口稔 滿洲地理點描 昭14
- 包居住民族とその移動分布**
 藤井定 滿洲建築雜誌 23—2 昭18
- 滿洲に於ける漢民族の移民地域**
 光畑岡藏 研究 報 4 昭10
- 滿蒙聚落の植民地理的意義**
 田中秀作 地理學評論 13—6 昭19
- 南滿洲に於ける主要都市背後地研究**
 高岡清 滿鐵教育 10—6 昭10
- 滿洲國都市の分布**
 赤内信蒙 地理學評論 15—6 昭14
- 滿洲都市生活の物質**
 小田内通致 地理教育 19—4 昭7

滿洲に於ける都市の形體
 喜多 俊雄 大塚地理學會論文表 5 昭11

滿洲の都市とその景相
 小田内通敏 東洋 31-1-3 昭3

滿洲研究の方面村落から都市へ
 小田内通 村落と地理

滿蒙聚落の消長
 佐佐 彦 郎 地理學評論 11-4 昭2

滿洲の地方商業と都市
 入江久夫 滿洲教育 1-1-6 昭10

滿洲の聚落
 内田寛 地理教育 16-4-3 昭7

中部滿洲に於ける漢人聚落の發展
 地理教育増刊聚落地理學論文集 5 昭11

奉天附近の地下水と聚落の發達
 松下眞二 滿 歴史地理 2 昭7

遼東半島南部に於ける聚落景觀
 研究紀要(族順師範學校) 1 昭13

南滿洲に於ける聚落の分布
 辻 太郎 吉 泰男 地理學 4-1-10 昭11

關東州計畫と滿洲國國土計畫
 菅文忠治郎 都市問題 昭15-3

滿洲に於ける工業立地と國土計畫
 才暮秀雄 新京商工月報 康7-2

産業立地より觀たる滿洲國の地域性
 別枝篤彦 東洋 44-7 昭16

滿洲に於ける工業立地の諸問題
 酒 和夫 滿洲評論 昭15-2

滿洲國の植物分布と農林業
 農業の滿洲 昭16-7

滿洲東部國境の地域的考察
 増田忠雄 研究要報 11 昭12

滿蘇國境の軍に就て
 田口稔 滿洲地理點描 昭14

滿露國境
 秋岡八次郎 滿洲地理學評論 9-6 昭3

日滿ノ三國國境也誌
 新羅 郎 改定 昭13-9

滿洲國の國境及び省界
 内田寛 地理教育 11-1 昭3

露滿國境を説く
 田中香苗 邊疆支那 昭13-9

滿ノ國境
 今西錦司 立命館大學論叢刊 昭18)

地 方 志

滿洲の歴史
 八木獎三郎 1. 本溪湖 2. 陳相屯と遼山關
 3. 鳳凰と海龍 4. 九連城石柱子 湯市
 城 5. 海城西木炭 6. 奉天都城 鐵嶺と
 法庫門 7. 開原と四豊 鞍 8. 11
 9. 12. 列島 13. 八面城と明鞍邊牆 14.
 石碑嶺と公主嶺 既 15-17 18-19 14

南滿洲の名勝名蹟
 八木獎三郎 讀書雜誌 9-10 大11

奉天史話
 園田一逸 奉天圖書叢刊 15 昭9

子が見たる奉天城
 深澤通吉 歴史地理 8-2 明39

奉天と遼陽
 瀨淵一 觀光東亞 9-1(又滿洲の城) 昭17

奉天城秘話
 新西晉 觀光東亞 9-1 又滿洲の城) 昭16

奉天

吉村由太郎 地理學教材研究 5 大13

奉天附屬地都市に發展景域

越智喜市 研究叢報 1) 昭12

奉天(地理教材としての地形圖)

藤田元春 地景 14-3 昭5

開原懷古

松中等 歴史地理 11-1 明41

遼陽の一日

鷲淵一 史學研究 11-1,2 昭14

遼陽舊蹟叢話

佐藤則之 滿蒙 21-10 昭15

營口附屬地沿革史

錦織琢 滿鐵調査月報 12-6,7,8 昭7

鐵嶺の郷土史的考察

山田鶴 滿蒙地理歴史 2 昭7

營口開港前後

今東吾 滿鐵資料彙報 6-7,8 昭16

都市鞍山の地理

村上次男 滿洲史學 1-2 昭13

鐵都鞍山

森壽美衛 上田長市 地理學 5-1-3 昭14

旅順

山本澄江 觀光東亞 昭13-4

青泥窪よりダーリニイ 大連史

田口稔 滿洲地理點描 昭14

旅順史序説

板倉操平 旅順師範學校研究紀要 昭13

旅順島帥黃龍とその遺蹟

島田好 滿蒙 12-11 昭6

この頃の關東州

中村廣喜 滿蒙 18-10 昭12

露國の關東州占領略史

滿蒙 18-3 昭12

金州

山城香甫 觀光東亞 昭13,4

旅大日歸りの旅

嘯風生 滿蒙 14-8 昭8

旅順市の都市形態

牛山喜 旅順師範學校研究紀要 昭13

營巫闔山

藤平田文吉 亞東 6-8 昭4

北鎮と營巫闔山

八木英三郎 亞東 6-8 昭4

錦西縣の古蹟

三浦浩 滿蒙 19-7 昭13

義縣の古蹟

三浦浩 滿蒙 21,8 昭13

彰武黒山盤山臺安各縣

三浦浩 滿蒙 19-12 昭13

阜新縣の古蹟

三浦浩 滿蒙 19-11 昭13

錦縣の古蹟

三浦浩 滿蒙 19-5 昭13

北鎮縣の古蹟

三浦浩 滿蒙 20-1 昭14

朝陽縣の古蹟

三浦浩 滿蒙 19-10 昭13

- 興城縣の古蹟
三浦浩 滿蒙 19—8 昭13
- 綏中縣の古蹟
三浦浩 滿蒙 19—9 昭13
- 通化
山田健二 旅行滿洲 4—12 昭12
- 輯安
中川惠三 觀光東亞 5—4 昭13
- 熱河史話
島田好 滿蒙 11—4 昭8
- 秘境熱河座談會
觀光東亞 5—5 昭13
- 憧れの熱河へ
藏田周忠 觀光東亞 5—3 昭13
- 熱河の古蹟と傳説を拾ふ
三浦浩 滿蒙 21—5, 7, 8, 9 昭15
- 熱河省承德の今昔(一)
藤田重雄 歴史教育 14—9 昭14
- 梅河口
山田健二 旅行滿洲 4—12 昭12
- 吉林の船廠
長島宣隆 收書月報 64 昭16
- 烏拉行紀
爾吉光良 北方園 1 昭20
- 雙城堡
江島壽雄 北方園 2 昭20
- 朝鮮國境の史的考察
稻葉岩吉 朝鮮史學 3, 4, 5, 6, 7 大15
- 長白山陰草王の黄金國
小藤文次郎 東洋學藝雜誌 28—362, 363 昭44
- 烏拉考
藤山一雄 國立中央博物館時報 19, 20, 21 昭18
- 國都建設の情況
滿洲建築雜誌 17—10 昭12
- 長白山史料斷片
村山曠造 收書月報 68 昭16
- 支那支那に現にれた白頭山
太田喜久雄 山岳 34—1 昭4
- 豆滿江流域史
石本惠吉 東洋 36—10, 11 昭7
- 間島地方の史的考察
百瀬弘 東洋 7—8 昭9
- 三姓雜記—土城並に滿文檔案の調査報告—
山本守 滿蒙 18—2 昭12
- 一昔マへのハルビン印象
北川冬彦 邊疆支那 昭9—9
- 哈爾濱市史抄
野口村一博 滿鐵資料彙報 6—6, 7 昭16
- 哈爾濱四十年
觀光東亞 5—5 昭13
- 長春領事館開設當時を語る
八木元八 滿蒙 15—7 昭9
- 東清東支鐵道時代の回顧
上松太郎 藤根壽吉 上田泰輔 大原章
一 田中信良 山本彦治 三貝 昭9
- 哈爾濱草分時代の回顧
軍司義男 滿蒙 15—7 昭9
- 哈爾濱と滿洲里
星野彦松 地理教材研究 14 大13

哈爾濱建設史話

軍司義男 觀光東亞 5—6 昭12

白系露人に哈爾濱建設 當時の秘話をきく
月刊滿洲 11—1 昭13—6

哈爾濱搖籃記

古澤幸吉 觀光東亞 5—5 昭13

四半世紀前の北滿

古澤幸吉 滿蒙 15—8 昭)

北滿洲發達史

軍司義男 滿蒙 14—7 昭9

松花江の文化

山本守 滿洲の技術 昭15, 12

呼倫貝爾の史的考察

西山榮久 東洋 36—10, 11 明7

ソ滿國境の今昔閑話

中保典作 東洋 42—11 昭13

邊疆異聞抄

衛藤利夫 奉天圖書館叢刊 7 昭9

四十年前の極東露領に語る

鈴木定次郎 滿蒙 15—7 昭9

ホロンバイル草原

米内原庸夫 蒙古風土記 昭13

ホロンバイル大草原

米内原庸夫 滿蒙 18—9 昭12

ホロンバイル縦断記(蒙古の横顔)

蒼鷹 調査月報 52號

三河地方

平川一男 月刊滿洲 11—11 昭13

ハロン・アルシヤン行

米内原庸夫 同仁 3—6

嶺南蒙古記

米内原庸夫 蒙古風土記 昭13

蒙古草原を行く再び蒙古草原を行く
く三度び草原を行く
米内原庸夫 蒙古風土記 昭13

大興安嶺を行く(鄂春嶺)

米内原庸夫 蒙古風土記 昭13

外蒙及西伯利亞發展の根柢地としての呼倫貝爾

中上義孝 東洋 昭2, 6

西部賓綏線紀行

田口稔 滿洲地理點描 昭11

愛川村の臨地觀察

田口稔 滿洲地理 描 昭14

北滿洲半圓形の近景地域

田口稔 滿洲地理點描 昭14

拉賓線の觀察

田口稔 滿洲地理點描 昭14

洮昂線風土記

長谷川龍太郎 滿蒙 3—1

北滿洲三角線の山景地域

田口稔 滿蒙 16—10 昭10

拉賓線の觀察

田口稔 滿蒙 17—1 昭11

遊記

内閣文庫本東韃地方紀行と館本東韃紀行

龜井高孝 書香 110 昭13

東韃紀行について

赤羽繁一 東洋文化 175 昭14

- 韃靼漂流記に就ての研究
 額田一龜 滿蒙 12—10, 11, 13—1
 奉天圖書館叢刊 2 昭3, 7
 昭7
- 再び韃靼漂流記に就て
 岡田一龜 滿蒙 14—2 昭3
 奉天圖書館叢刊 5 昭3
- 三百年前滿洲に來た日本人の話
 衛藤利夫 (韃靼漂流記) 韃靼 昭11
- 韃靼漂流記について
 島田好 清香 1 昭4
- 岡宮林藏と東韃地方
 島尾重藏 黑龍江と北樺太 昭18
- 日露戦前滿洲踏破三大旅行
 細谷清 東洋 34—5, 6 昭10
- 岡宮林藏先生の生涯と事蹟
 小川塚治 地學雜誌 189 明37
- 岡宮林藏の樺太探險と近藤守重高橋景保兩氏の卓見
 小川塚治 地學雜誌 202 明38
- 北支滿鮮旅行談一採訪資料を中心として
 瀧登一 史學雜誌 46—2 昭10
- 熱河赤峰の旅日記
 鷺淵一 歴史と地理 20—2, 3 昭2
 22—2 昭3
- 庚申鮮滿旅行日誌
 喜田貞吉 民族と歴史 6—1 大1⁰
- 鮮滿見聞録より
 田所市太 民族と歴史 6—1 大10
- 奉天の二日
 橋川正 民族と歴史 6—1 大10
- 興京記行
 瀧川政次郎 清香 16—10 昭18
- 薩穆雅行
 黒田源次 滿洲史學 1—3 昭10
- 滿洲旅行談
 和田青 史學雜誌 44—1 昭3
- 界藩山行
 鷺淵一 紀元二千六百年紀念史學論文集 昭16
- 遼西旅行談
 松中等 東洋時報 138 明43
- 東蒙古旅行報告
 桑原義藏 歴史地理 17—1, 2, 4, 18—12, 3, 4, 5 明44
- 北朝鮮及間島旅行談
 谷中清一 地學雜誌 315 大4
- 蒙古旅行談
 岩波六郎 地學雜誌 28—333, 334 大5
- 帝王都市「熱河」(スウモン、デインの探險記より)
 古鷹亮三郎 支那 24—3 昭3
- 滿洲旅行記
 リヒトフオーフェン著 米村正一譯 滿鐵調査月報 15—11, 12
- 一九三四年に於けるバルガ探險記
 ゴエボノソフ著 太田四三二譯 ドルメン 4—1
- 赤峰より東途中持王府へ
 山谷三郎 旅行滿洲 5—2 昭13
- 黒龍江流域探險略史
 清香 104 昭13
- 洮南白音太來視察旅行
 松原梅吉 滿蒙 大13
- 長白山學術調査團の記
 遠藤隆久 國立中央博物館時報 18 昭18
- 白頭山探險記
 和田雄治 歴史地理 23—1 大3

黒龍江湖航記

坪谷水哉 太陽 明45—10

蓋平から樺太へ

衛藤利夫 本邦圖書叢刊 6 昭5

人口 勞工

建州三衛の戸口について

旗田樹 池内博士還暦記念東洋史論叢 昭16

滿洲國の人口

石田能次郎 地理學年論 17—1 昭16

滿洲國民の性別構成

伊藤博 國大學研究院研究期成 昭16

滿洲鐵道の發達と人口に就ての一考察

高久篤 調査時報 1—3 昭4

滿洲に於ける支那人口と支那の文化に就いて

矢野仁一 東洋經濟研究 1—1 昭7

滿洲諸都市の民族構成

木内信藏 地理學年論 昭16

黒龍江沿線十縣の人口と住民

成田精雄 滿鐵調査月報 14—3 昭9

滿洲に於ける移動人口と勞働力としての苦力

小山榮三 人口問題研究 2 昭11, 6, 7

北滿に於ける漢人の分布と其の將來

是枝滿輝 滿蒙地理歴史 3 昭8

沿綏線附近に於ける内地人の發展

重本鏡一 研究文報 10 昭12

人口問題より見た滿蒙の農墾移民

村上義孝 東洋 昭16

極東の領及び間島に於ける鮮人

瀧地侃 邊疆支那 10—1 昭10

遼北縣の住民

滿鐵調査月報 14—3 昭9

綏遠線の住民

成田精雄 滿鐵調査月報 14—3 昭9

滿洲の苦力

經濟調査會 鐵調査月報 13—1, 7 昭8

滿洲農村の苦力

内海義夫 農政 昭17, 8

大連埠頭當備華工の生活調査

長古川銀一 滿蒙 2—12 大13

大連を中心として見た滿洲 出稼苦力概況

滿鐵調査課 調査時報 6—2 大15

滿洲に於ける勞働問題に關する一研究

川合正勝 滿蒙 2—11 昭4

滿洲に於ける勞働者運動の趨勢

中澤博則 滿蒙 2—1 昭2

滿洲に於ける支那勞働者

武居細一 滿蒙 1—10, 11, 12 昭3

滿洲に於ける支那人勞働者

小泉吉雄 滿蒙 15—4 昭9

苦力組織の變遷について

大中信夫 滿洲技術協會誌 昭11—3

滿洲に於ける山東苦力と河北苦力

大中信夫 滿洲技術協會誌 昭11—3

滿洲に於ける勞働運動特殊に勞働爭議

大岡達夫 東亞 7—1 昭3

滿洲の典型的な衣料生産部門に於ける労働事情

並木孝三 滿鐵調査月報 17—7 昭12

地 圖

滿文地圖に就いての要約

ワルター・ラックス著 衛藤利夫譯 滿洲學報 昭8

皇輿全覽圖について

黒田源次 滿洲史學 1—1

再び皇輿全覽圖について

黒田源次 滿洲史學 1—1

滿文字の地圖と職貢圖

島居龍藏 學燈 10—1 (故宮金鑾殿の地圖)

盛京路程圖

黒田源次 一乾隆四十三年に於ける盛京三陵の進路について 滿洲史學 2—4 昭14

中華民國及滿洲國疆域圖の製作過程に就て

太田喜久雄 東方學報京 6 昭14

盛京吉林黒龍江等處標註戰蹟輿圖(評)

島田好 香 76 民12

交 通

滿洲國の交通と地理的影響

中野竹次郎 地理教育 22—5 昭10

滿洲交通事情

山口十朋 滿鮮記事集 昭11

滿洲國の海運に就いて

古川哲太郎 海運 昭15.1

滿洲國の道路

滿洲交通 庚7.8.10

滿洲の大豆と遼河の水運

田口稔 滿洲地滿點描 6 昭14

北滿洲の交通産業

滿蒙 14—9 昭8

ウスリーを渡る

引田哲一郎 邊疆支那 1—3 昭9

黒龍江を渡る

S.H.生 科學知識 17—10 昭12

千九百年頃の遼河

田口稔 滿蒙 19—4 昭13

松花江河運に関する調査

滿鐵調査月報 12—1 昭7

鴨綠江の水運

滿鐵調査月報 12—11 昭7

鐵道敷設以前に於ける滿洲の交通及び經濟地理的状態

クラフセン 東亞經濟研究 18—3 昭9

北滿鐵道敷設の経緯

中山四郎 邊疆支那 10—3 昭9

東清と東支鐵道二代の回顧

滿蒙 15—11 昭9

東支鐵道の沿革

河相達夫 地理教育 11—2,3 昭4

鴨綠江を語る

住吉治 亞東 6—11 昭4

早瀬を下りて(鴨綠江)

藤平田文吉 亞東 6—11 昭4

松花江河運に関する調査

小田 夫 滿鐵調査月報 12—1 昭7

北滿に於ける河川交通

滿鐵調査部 滿鐵調査月報 13—6 昭8

呼倫貝爾旅行談
入江久夫 滿鐵教育だより 6 昭19

制 度

支那兵制史概説
山崎清一 原史學研究 4—1 昭19

遼東屬國の性質に就て
津田左右吉 史學雜誌 25—19 大3

前漢昭帝の四郡廢合と後漢書の記
池内宏 加藤博士還曆紀念東洋史集説 昭16

日遼官制の比較
瀧川政次郎 皇國大學研究院期報 昭16

渤海國官制補説
鳥山喜一 服部先生古稀祝賀紀念論文集 昭12

遼の制度の二重體系
津田左右吉 滿鮮地理歷史研究報告 5 大7

契丹の政治機構
神尾式春 東方文化雜考 昭18

遼の皇族帳に就て
鳥田正郎 歷史學研究 11—7 昭16

遼代の國舅帳について
橋口兼夫 史學雜誌 50—2 3 昭14

遼の部族制度に就て
鳥田正郎 歷史學研究 9—8 昭17

契丹の國軍編成及戰術
松井亨 滿鮮地理歷史研究報告 4 大7

遼の投下州に對する二三の臆測
鳥田正郎 歷史學研究 9—9 昭14

遼の樞密院に就いて
若城久一郎 滿蒙史論叢 昭14

遼代に於ける徒民政策と都市州縣
制の成立
滿蒙史論叢 3

遼律の復舊
鳥田正郎 滿鐵調査月報 22—8 昭18

上都御史臺に就いて
鳥田正郎 蒙古 6 昭17、6

遼代に於ける誣人と刑法に關する
一考察
若城久一郎 滿蒙史論叢 1 昭16

契丹放偷攷
鳥田正郎 社會經濟史學 1—7 昭18

遼金時代の所謂亂軍に就いて
羽内亨 史學雜誌 26—7 大4

遼金時代の亂軍に就いて
箭内互 藝文 6—9 大4

再び遼金時代の亂軍に就いて
箭内互 史學雜誌 26—10 大4

再び遼金時代の亂軍に就いて
を讀む
羽田亨 史學雜誌 27—1 大5

再び羽田學士に答ふ(亂軍)
箭内互 史學雜誌 27—7 大5

釋迦と塞と赭羯と亂軍
藤田豐八 史林 2—1 大6

亂軍に就ての疑
鳥山喜一 史學雜誌 27—8 大5

問題の二語(亂と汨)
藤田豐八 史學雜誌 27—9 大5

金の建國以前に於ける完顏氏の君
長の稱號について
池内宏 東洋學報 21—1 昭7

女真人發展と金初の官制
三上次男 歴史學研究 4—3 昭10

金初の官制「勃極烈」に就て
三上次男 史學雜誌 40—7 昭10

金初の勃極烈に就いて
三上次男 史學雜誌 47—8 昭11

金初の字童に就て
三上次男 稻葉博士還歴紀念滿鮮史論叢 昭13

金初の部統河及軍帥司
三上次男 滿州史學 2—3 昭14

金初の世襲高戸に就いて
三上次男 東洋學報 24—4 昭12

猛安謀克と金の國勢
鳥山喜一 京城法文學會第二部論叢 1 昭4

猛安謀克制の歴史的變遷
三上次男 史學雜誌 43—5 昭11

金代中期に於ける猛安謀克戸
三上次男 史學雜誌 48—9, 10 昭10

女真人の發展と金初の官制
三上次男 歴史學研究 4—3 昭10

金史に見入たる土語の官稱の四五
に就きて
鳥山喜一 史學雜誌 20—9 大7

金朝行臺尙書省考
前田公亮 台北「大文政學部」
史學科研究年報 1 昭10

金史世紀のいはゆる大師と國相に
就て
鳥山喜一 清史學叢 6 昭6

金の兵制に関する研究
箭内互 滿鮮地理歴史研究報告 2 大5

金朝初期の路制に就いて
三上次男 北亞細亞學報 2 昭18

金代刑法考
金泰和律と唐律との比較 仁井田陞
東洋史研究 新1—1, 2 昭19

三萬衛につきての考
池内宏 史學雜誌 20—5 大4

建州左衛の設立年代に就いて
齋淵一 歴史と地理 27—1 昭5

漢軍(烏真超哈)に就いて
浦原一 桑原博士還歴紀念東洋史論叢 昭6

寧古塔貝勒に就いて
戸田茂喜 東洋史研究 2—2 昭11

滿洲に於ける珠軒の制
山本守 滿蒙 18—11 昭12 遼東の珠 昭19

齊齊哈爾八旗の沿革
根順太郎 蒙古研究 昭16 康2, 12

熱河蒙旗の歴史的考案
直塚正氣 東洋 3—12 昭15

奉天と清代の法律學
瀧川政次郎 收書月報 88 昭18

支那地方行政制度の研究
鳥場敏太郎 支那研究 15 昭13

清朝の木蘭行圍就て
浦原一 山下先生還歴紀念 東洋史論文集 昭13

清代滿洲の圍場
川久保梯郎 史學雜誌 50—3, 1, 11 昭14

舊滿洲に於ける鄉村統治の形態
山本義三 滿鐵調査月報 21—11 昭15

事變前に於ける東北四省行政機構
濱岡福松 滿鐵調査月報 12—1 昭7

滿洲國地方制度の確立
 福島三好 地友會雜誌 3—3 昭12

滿洲に於ける特殊自治制度
 裴雲鶴 滿蒙 20—9 昭14

保甲行政組織と運營狀況
 善生永助 滿鐵調査月報 17—11 昭12

瀋陽縣に於ける地方自治の現状
 滿鐵調査月報 14—8 昭9

吉林省永吉縣の保甲行政組織と
 の運營狀況
 滿鐵調査月報 18—1 2 昭13

阿城縣の保甲行政組織と其運營狀
 態
 善生永助 滿鐵調査月報 17—11 12 昭12

蒙旗に於ける地方制度に就て
 中一生 滿洲行政 6—4 昭14

清朝に於ける滿洲駐防の特殊性に
 關する一考察
 周藤吉之 東方學報(東京) 11—1 6 昭15

滿洲八旗の成立過程に關する一考
 察
 旗田龜 昭15

明末女直と八旗的統制に關する素
 描
 中 八郎 歷史學研究 5—2 (滿洲史研究) 昭14

清初八旗制の成立に就いて
 鷲淵一 史學雜誌 50—7 昭14

清初の八固山額眞に就いて
 鷲淵一 清初八旗研究の一齣—
 山下先生還曆紀念東洋史論文集 昭13

熱河蒙旗の歴史的考察
 直塚正氣 東洋 41—12 昭15

齊齊哈爾八旗の沿革
 長順太郎 蒙古研究 昭1—12

清初擺牙喇考
 鷲淵一 稻葉博士還曆紀念滿鮮史論叢 昭13

赫哲族に於けるハラについて
 布村一夫 書香 15—6 昭18

八旗滿洲上ルの研究
 安郭健夫 東亞人文學報 1—4 2—3 昭17

清初のミンニゼク牛系について
 戸田茂喜 史學雜誌 52—7 昭16

牛系の組織
 戸田茂喜 史學研究 昭14

シジュンヤンフに對する—私幸
 戸田茂喜 書香 16—10 昭18

清代滿洲に於ける珠軒の制
 山本守 滿蒙 18—11 昭12

ジュセンの一考察
 鷲淵一、戸田茂喜 東洋史研究 5—1 昭15

清初に於けるニカンニイルゲンの
 生と其の意義
 戸田茂喜 東洋史研究 6—4 昭16

清初の自身に就いて
 鷲淵一 東洋史研究 1—6 昭11
 史學雜誌 47—4 昭11

イルゲン考
 布村一夫 滿洲民族學會會報 2—2 昭19

蒙古に於ける封建制度
 エヌエヌマズミン 善隣協會調査月報
 昭1—1 2

蒙古の身分制度に就いて
 昭豐阿 蒙古研究 2—3 昭15

熱河蒙旗
 中村秀雄 東洋 昭16

支那の制度より見たる蒙古
經濟資料 15—7, 6 昭4

コズロフのハラホトに就いて
須佐嘉橋 歴史教育 2—12 昭2

チヨゴラの慣行(大集會)
田村頼太郎 滿洲民族學會會報 2—1 昭19

宗 教

滿蒙の宗教に就いて
赤松智城 宗教研究 71 昭14

滿洲に於ける宗教
坂下歸去來 東洋時報 151, 152 明44

滿華宗教の現状に關する印象
宮川尙志 支那佛教史學 6—3 昭18

契丹佛教の社會史的考察
田村造實 太谷學報 18—1 昭12

遼代佛教に關する研究の發展
野上俊靜 支那佛教史學 1—7 昭12

遼代社口に於ける佛教
野上俊靜 史學研究 1—3 昭9

契丹の佛教
常盤天定 宗教界 10—3 大3

遼金佛教の中心
脇谷俊謙 六條學報 125 大3

遼金時代の佛教
脇谷俊一 六條學報 126 明45

金帝室と佛教
野上俊靜 太谷學報 15—1 昭9

「金代の佛教」に關する研究に就
て
野上俊靜 支那佛教史學 昭14

金の財政策と宗教教團
野上俊靜 東洋史研究 4—6 昭14

多倫諾爾の喇嘛廟
滿鐵調査月報 188 昭12

滿洲國喇嘛教の現状
東洋 昭15, 18

喇嘛となりて
シオスバナド 武井武夫譯 蒙古 2—3 昭13

ジヨト、ボラル(喇嘛之一法會)
嘉吉設了 滿洲民族學會會報 2—12 昭19

北京冀東熱河二週間日記
中野義三 宗教研究 96 昭13

喇嘛大學瑞應寺に就いて
三浦浩 滿蒙 20—1 昭15

金元時代に於ける道教の概説
窪徳忠 北亞細亞學報 2 昭18

道觀と道士
三宅俊郎 滿洲民族學會會報 2—7 昭19

太清宮志
五ノ嵐賢隆 滿蒙 16—4—8 昭14

道院 紅萬字會の研究
大 彦一 建國大學研究院期報 3 昭17

關羽祠廟の由來並に變遷
井上江智彦 史林 1—1, 2 昭16

滿洲國回教概観
回教事情 1—1 昭13

滿洲國に於ける回教
細谷清 東洋 11—1 昭5

滿洲の回教
村田浩郎 遼瀋支那 昭10—6

滿洲遼墓と景教との關係に就
いて
鳥居清藏 史學雜誌 47—9 昭11

- 羅馬カトリック滿洲教區の開祖
 エロール神父
 大井二郎 滿洲史學 2—2 昭13
- はるびんの復活祭
 西島武郎 旅行滿洲 昭12、5
- クリスチ—滿洲五十年
 増田忠雄 滿蒙 昭18、1
- にゆるちゆあん斷想
 千田三 收書月報 昭15
- 牛莊に於ける聖バーンスの死
 衛藤利夫 東亞 1—5 昭13
- 安東縣に於ける丁抹ミツシヨシ
 稻葉好延 滿蒙 11—11 昭15
- 北滿東滿の基督教
 島尾重藏 滿蒙の探査 昭3
- 哈爾濱猶太教會堂
 竹林愛作 觀光東亞 5—7 昭13
- 北アジアの原始宗教
 秋葉隆 アジア問題講座 9
- 滿洲に於ける宗教思想管見
 一主祭神を中心として
 船越巧 滿蒙 18—7 昭12
- 朝鮮及び滿洲に於ける宗教及び風俗に就いて上
 田中義能 東亞の光 17—6 大16
- 北東亞細亞民族の宗教思想
 西村眞次 東洋 2 大11
- 契丹人の信仰
 松井等 滿鮮地理歴史研究報告 8 大10
- 青牛白馬祭儀考
 神尾武彦 東方文化雜考 昭18
- 遼の金面縛肢小考
 北川房次郎 書香 16—10 昭18
- 民間信仰
- 吉林市宗教概況
 岩崎繼生 ドルメン 2—8 9
- 民間信仰雜記—滿洲の土俗—
 小村胖生 滿蒙 15—1 昭19
- 李仙の神下ろし
 村田治郎 滿蒙 15—1 昭19
- 滿洲の信仰
 辻忠治 旅行滿洲 4—12 昭12
- 民族資料を以て見た滿洲の神佛
 辻忠治 滿蒙 13—7、8 昭7
- 滿洲に於ける民間信仰の神統に就いて
 瀧澤俊亮 滿洲史學 1—1 昭12
- 滿洲に於ける民間信仰
 瀧澤俊亮 滿蒙 17—11 昭11
- 關帝信仰に關する—資料
 NK生 滿洲民衆學會會報 2—2 昭19
- 滿洲の娘祭りに用ゆる呪物に就いて
 胖生 八景學雜誌 60—6 昭9
- 娘祭と人形
 可斐巴八郎 觀光東亞 5—5 昭13
- 五月の廟祭
 赤羽末吉 滿洲行政 5—5 1—5
- 滿洲國のレ娘祭りつに就いて
 奥村義信 社會學 8—1 昭9
- 滿洲支那に於ける動物信仰
 瀧澤俊亮 滿蒙 22—4、5、6 昭1

滿洲路傍祠

ジョン、マツキンタイヤ-收書月報 55

昭15

滿洲の民間信仰路傍祠

瀧澤俊亮 收書月報 51

昭15

滿洲支那の雨乞

瀧澤俊亮 滿蒙 24-8

昭18

ハロシアルシヤンの聖蛇

木場一夫 國立中央博物館時報 7

昭15

印 宿 考

彌吉光長 滿洲民族學會會報 2-2

昭19

祛 病 符

仲小路文雄 滿蒙 17-1

昭11

滿洲のベスト流行とその迷信

廣木彦吉 滿蒙 15-2

昭9

北方ツングウス族のトーテム制について

樋口一男 研究選取 19

昭13

極東民族の石神崇拜について

寺岡康 滿蒙 19-12

昭13

Lシヤンシンのモドイミルオブゲン(部落神木信仰)

山村順太郎 滿洲民族學會會報 1-1

昭18

シベリヤの蒙古及び歐露の異民族間に於けるシヤーマン教

ミハイロフスキー著 高橋勝之譯
東亞論叢 3

昭15

清廷薩滿教の祭神に就て

芥上江智登 東洋史研究 8-1

昭18

薩 滿 教

坂入巖 東洋 昭1-3

興安嶺附近に於ける薩滿教の遺風

鳥居龍藏 人類學雜誌 289 明14

現存せる滿洲民族の信仰薩滿教に就いて

瀧澤俊亮 滿蒙 18-4,5 昭12

滿洲と朝鮮の薩滿教に就て

秋葉隆 滿蒙 14-1 昭18

薩滿教に就て

瀧澤俊亮 滿蒙 18-2 昭12

薩滿教私観

坂入巖 滿蒙 12-7 昭6

薩滿教私観

増田章 善隣協會調査月報 73 昭13

オロチヨンのシヤマニズム

秋葉隆(大興安 東北部オオチヨン族 查)
民族學研究 2-4 昭11

滿洲シヤマン見學メモ

秋葉隆 ドルメン 4-5 昭10

東京城のシヤーマン就て

三上久男 ドルメン 2-11 昭9

西比利亞土民の神

布施知足 善隣協會調査月報 71-72 昭13

滿蒙民族の祭天

村田治郎 滿蒙 15-13 昭9

太陽を拜む

村田治郎 滿蒙 15-12 昭9

白色を讃へよ

村田治郎 滿蒙 15-2 昭9

完顔世祖の崇天に就いて

小川啓人 東洋史研究 2-6 昭13

長白山の崇拜

村田治郎 滿蒙 15-6 昭9

慣習 (ホホ祭包) 甲斐巳八郎

滿洲建築雜誌 22—2 昭18

語言・文字・文學

滿蒙言語の系統

石濱純太郎 岩波講座・東洋思想第5 昭10

東亞諸民族の言葉と言語

神尾式義 東方文化雜考 昭18

滿蒙地方の言語に就て

麻部四郎 滿洲國語 6 昭15

朝鮮語とウラル・アルタイ語との比較

白鳥庫吉 東洋學報 4—6, 6—2 大・大5

東語と韓滿蒙語

中島利一郎 武藏野 2—1 大3

國語と外國語との比較研究

白鳥庫吉 史學雜誌 16—^{2, 3, 5, 6}_{8, 9, 12} 明38

アルタイ諸民族とその言語

ラムステッド (翻譯) 民族 1—4 大15

北部アジアの言語研究

小倉進平 學燈 40—9

東部西伯利亞に於ける民族語問題

エヌエヌボツベ 植東ソ聯事簡 3 昭11

朝鮮語譯院日滿蒙語學書斷簡解説

村田 亞文 9—8 大3

遼・金・西夏・元・清・五朝の製字

小平綾方 東洋文化 154

女真語の新研究

渡部謙太郎 亞細亞研究 12 1

契丹女真西夏文字考

白鳥庫吉 史學雜誌 9—11, 12 明31

契丹文字の新資料

羽田亨 史林 10—1 大14

遼金文字僅存録

羅福頤 國立中央博物館時報 13 昭16

契丹の文字

田村實造 觀光東亞 昭15—4

契丹大字考

山路廣明 浮田和民博士記念史學論文集 昭18

契丹小字と故太師銘石記之研究

李文信 滿洲國國立中央史博物館論叢 昭17

金代中期の國語問題

三上次男 史學雜誌 47—6 昭11

女真語研究の新資料

石田幹之助 桑原博士還京紀念東洋史論叢 昭9

ジュルシカ (Jurchen)

石田幹之助 池内博士還京紀念東洋史論叢 昭10

所謂内種本「華夷譯語」の鍵鈕館譯語

北亞細亞學報 2 昭18

靜嘉堂本女真語語訳略

日本守 香 16—10 昭18

吾妻鏡に見えたる女真文學の性質について

和田清 史學雜誌 40—7 昭19

女真館來文通解

渡部謙太郎 亞細亞研究 11 昭10

滿洲語のはなし

今西龍 青邱說叢 2 昭9

回回館譯語語釋 (解題之項)

田坂興道 東洋學報 31—1 昭18

固有滿洲語研究史の一側面

布村一夫 書光

昭18、9

滿洲語史

ザハロフ 布村一夫譯 滿洲調査月報 23—2

昭18

滿洲語文典について

イザハロフ 書香 16—10

18

滿洲語

鷺淵一 アジア問題講座 8

昭14

滿文輯根

高橋一二 收り月報 54

昭15

滿洲民族とその言語

渡邊齋太郎 滿蒙 8—9

昭3

滿洲語今昔譚

神尾式春 東方文化雜考

昭18

高橋景保の滿洲語學

新村出 藝文 大1 東方言語史叢考5—6 昭3

高橋景保書き入れ増訂清文鑑(卷頭寫真解説)

今西春樹 洋史研究 2—1

滿洲語文典

小島武男 日本文化 四載 9—10

本邦滿洲語學史料斷片

昭和4以前滿洲語學 簡明目錄
新村出 東方言語史叢刊

昭2

滿洲に於ける滿人と其言語及書籍

渡邊齋太郎 海外視察録 第6卷

大15

滿洲語綴字全書

亞細亞研究 9

昭5

長崎唐通事の滿洲語學

新村出 藝文 8—11
又東方言語史叢考

大6

昭2

滿洲語學史補遺

新村出 藝文 5—7 大1 東方言語史叢考 昭2

滿洲土語集一・二・三

藤江在史 支那語研究 1—3

昭14

清文鑑和解の滿語纂編解説

羽田亨 洋史研究 1—6

11

滿洲語(Nishan)の意義

山本守 史林 29—3

滿洲語虚子の研究

山本守 滿蒙 18—1

五體清文鑑

羽田亨 藝文 1—8

大2

滿洲語及び通古斯語に於ける動詞轉化の接尾語について

出村良一 洋學報 12—1、2、3

昭5

滿洲語及びツングース語に於ける母音めについて

出村良一 日本研究 3

滿洲の言語と文字の變遷

山本守 遼東の

滿洲語の語域

田口稔 滿洲地理點描

昭14

滿洲語と漢字音の關係

渡邊齋太郎 亞細亞研究 2

大14

滿和辭典(濱田耕作者)評

史林 29—1 洋史研究 2—3 昭14

マリヤク族に於ける外來語及び外來文化について

高橋盛孝 洋學叢編

昭5

索倫語雜考

神尾式春 東方文化雜考

昭18

オロツ、辭典セルケーレオヒト —
キワチ

小林傳三郎 日本研究 1 昭7

ツングース諸方言の研究の初めの
資料

ザエ、コトヴィチ 書香 15—4 昭8

滿洲 에스ペラント運動史概観

田中真定 滿洲 10—2 昭7

日本に遺存せる遼文學と其の影響

廣福 藏或珠集 住生淨土傳と金澤文庫藏漢
家野聚生傳に就いて
塚本善隆 東方學 京都 7 昭11,12

滿洲に因り支那劇の舌

石原嘉徳 月刊滿洲 13—4 昭13

清朝一族と中國劇

村上知行 滿蒙 15—1 昭7

滿洲語と漢語を混用したる歌本
と吃旁蟹

金九經と滿蒙 15—9 又本+圖書館叢刊
第21冊 昭14

滿洲文學の回顧

大内隆雄 滿洲行政 4—8 昭12

滿洲季語雜談

今枝野夫 滿蒙

美 術

滿洲古美術史略

村田次郎 16—3 昭10

滿洲古美術游記

樋川毅一郎 中央美術(復興) 10 昭11

熱河の風物

川島利一郎 アトリエ 12—1 昭16

滿蒙の佛教美術

逸見梅榮 宗教研究 71 昭14

滿蒙の佛教美術

逸見梅榮 觀光季報 1—1 昭16

兩山靈光寺所見——遼代佛教台座
に就いて

島田二郎 考古學 雜誌 33—3 昭7

遼金塔の密教と其の曼荼羅 的性格

神尾式存 滿蒙 10—1 昭15

喇嘛教供養具に見られる所用人寶
就いて

上原之郎 國立中央博物館時報 17 昭17

獸形圖様ある鈎ついで

島居龍藏 人類學 雜誌 27—1 大正11

滿洲國內に現存する彫版

長谷川榮作 中央美術 6 昭7

滿鮮の繪高麗と支那の經州窯

八木柴三郎 亞東 14—1 昭7

建築 一般建築

遼東の建築

塚本靖 建築 雜誌 215 昭12

遼東の建築

春洋子 建築 雜誌 19—224 明38

新滿洲國建築史

伊藤清造 (新滿洲國遼海 考古記事)
滿蒙 1—5—9 昭7

新滿洲國建築史

伊藤清造 滿蒙 13—5—14—1 昭7, 8

滿洲建築史概要

村田次郎 滿洲建築雜誌 8—1 昭3

滿洲佛教建築史概説

村田次郎 滿洲建築雜誌 11—1 昭6

滿洲建築大觀

村田治郎 滿洲建築 誌 13—9 昭8

東洋建築史系論

村田治郎 滿洲建築雜誌 13—14 昭8

滿洲建築の特質

高尊義 觀光東亞 9—3 昭17

滿洲古建築の展望

村田治郎 建築と社會 16—11 昭8

日本建築と滿洲的建築

白石博三 建築世界 33—11, 12 昭15

滿洲の古建築と古墳

關野貞 支那の建築と藝術 13 昭13

建築上より見たる北支と滿洲との文化交渉

伊東忠太 朝鮮と建築 10—3 昭12

古代日本建築と滿洲及朝鮮

今井次郎 滿洲建築雜誌 3—1 大正

滿洲國の建築

久留弘文 建築雜誌 559 昭7

滿洲國の建築

長谷川榮作 アトリュ 10—11 昭5

滿洲國の建築を語る

田邊泰 中央美術(復興) 3 昭8

古建築細部輯

滿洲建築雜誌 15—1—11 昭10

遼代の建築

村田治郎 史林 24—1 昭14

滿洲に於ける清時代の文化的遺跡

關野貞 東方學報と京 6 昭11

滿洲の現代建築の基調

岡大路 滿洲技術協會誌 11—11 昭11

近代滿洲建築史に關する座談會

(於大連露華學院講堂)
滿洲建築雜誌 1—2 昭11

滿北支點描

今井兼次 建築世界 33—1 昭14

滿洲旅行談

佐野利器 滿洲建築雜誌 21—342 昭10

最近中華民國及滿洲國視察の所感

古宇田實 建築雜誌 59—616 昭11

熱河の古建築

村田治郎 滿洲建築雜誌 14—5 昭9

秘境熱河の史的考察

篠原徳夫 滿洲建築雜誌 16—8 昭11

熱河の遺蹟

伊東忠太 建築雜誌 51—625 昭12

熱河避暑山莊及郊外の八大廟

星武雄 滿蒙 1—1 大正

熱河の雜宮と喇嘛寺

關野貞 中央美術(復興) 9 昭9

熱河畫行

藤田周忠 世界 32—5, 6 昭13

熱河の建築

三室山人 滿洲建築雜誌 1—5 昭3

熱河解説(關野貞、竹島卓一)評

史學雜誌 49—22 昭13

承德と喀喇沁王府

天野利武 觀光東亞 9—4 昭17

熱河の壁

藏田周忠 國々建築 14—9 昭13

熱河の土

藏田周忠 隨屋辰 昭15

宮殿 陵廟

- 奉天宮殿建築の研究
伊藤清造 支那研究論叢 1 昭17
- 奉天宮殿建築史考
村田治郎 滿洲學報 2 昭8
- 奉天宮殿建築概況
村田治郎 滿洲建築雜誌 14—2 昭17—8 昭17
- 奉天建築の奇觀(宮殿)
三橋四郎 建築世界 5—1—1 明14
- 奉天大内宮門建築研究報告
伊藤清造 滿洲建築雜誌 5—2—1 大14
- 奉天に建れる清初の宮殿建築
伊藤清造 建築世界 11—11—2—1 大14—15
- 奉天宮殿内の大政殿と文溯閣
伊藤清造 建築世界 23—1—1 昭17
- 奉天の大宮を探る
三浦浩 滿蒙 10—8 昭17
- 奉天宮殿金鑿殿の建築
伊藤清造 滿蒙 1—1—1 大14
- 奉天宮殿飛龍閣内の清太宗皇帝鹿角椅子
史學雜誌 17—1 明17
- 奉天宮殿崇政殿・同内殿寶座同殿前石階 奉天宮殿大政殿
關野貞 世界美術全集 22 昭17
- 奉天文溯閣
關野貞 世界美術全集 25 昭17
- 奉天の文溯閣
大熊喜郎 建築雜誌 11—2—4 明17
- 奉天の文溯閣
大熊喜郎 建築世界 4—1 明17
- 遼陽の官署址と寺觀
黒田源次 滿洲古蹟古物名勝自然紀念物保存協會誌 9 昭17
- 熱河の離宮
桑原芝藏 藝文 1—5 明17
- 熱河雜宮回顧
春藤垂 月刊滿洲 昭17—1
- 熱河の避暑山荘と行宮
岡大路 滿洲建築雜誌 6—17 昭17
- 奉天天壇の歴史
村田治郎 滿蒙 16—8 昭17
- 天を祭る建築
村田治郎 滿洲建築雜誌 14—3 昭17
- 奉天福陵の歴史
村田治郎 滿洲建築雜誌 15—8 昭17
- 奉天の東陵と北陵
竹島幸一 清園 17 昭18
- 奉天の陵(隨筆)
坂本綱一 觀光東亞 8—5 昭17
- 清太祖福陵隆恩殿(名建築解説)
竹島幸一 東洋建築 1—3 昭17
- 清太祖福陵(東石坊隆恩殿石碑明樓碑等)
關野貞 世界美術全集 22
- 續奉天土産—福陵參拜記
京古月生 東史地理 8—3 明17
- 奉天昭陵内明樓復原概要
山口正 滿洲建築雜誌 20—1—10 昭17

- 清太宗昭陵(石坊石華表隆恩殿とその基壇大虹門門楣牆壁)
關野貞 世界美術全集 23 昭5
- 石獸(奉天昭陵)
大熊喜邦 建築工藝叢誌 1—4 明45
- 北陵を訪ふ人の爲めに
伊藤清造 滿蒙 6—12 大14
- 北陵見物記
青島生 ドルメン 2—4 昭8
- 支那の帝陵(北陵)
伊藤清造 支那の建築 昭1
- 奉天北陵小記
村田治郎 滿洲建築雜誌 20—10 昭15
- 永陵
渡邊三三 撫順史話 昭15
- 滿洲の佛寺建築
伊東忠太 東洋協會調查部學術報告 1明4
- 滿洲の社寺廟觀
滿蒙 12—3 昭1
- 滿洲に於ける清初の喇嘛教建築
田村治郎 滿洲建築雜誌 10—1 昭5
同補 同 11—7 昭5
- 喇嘛美術斷想—塔寺裝飾
村田治郎 亞東 6—19 昭4
- 吉林の宗教建築
大塚正雄 建築世界 35—4 9 昭16
- 承德附近の喇嘛及喇嘛廟
石田順次 滿蒙 15—1 昭9
- 熱河の喇嘛廟
竹島直一 東洋建築 1—5 昭12
- 熱河八大寺に於ける大發見
土項外子 現代佛教 110 昭9
- 喇嘛廟雜感(承德)
濱谷軍治 觀光東亞 9—8 昭17
- 喇嘛廟會(飯房札記)
菊竹實藏 亞東 4—2 昭2
- 葛根廟紀行
坂本政一 滿洲建築雜誌 20—10 昭18
- 義縣奉國寺小記
村田治郎 滿洲建築雜誌 14—1 昭9
- 開原石塔寺とその塔
村田治郎 滿蒙 10—11 昭4
- 北鎮廟略記
村田治郎 滿洲建築雜誌 15—3 昭10
- 北鎮廟の建築
東方學 6 昭11
- 廟建築史の研究並補訂
田治郎 滿洲建築雜誌 9—12, 10—2, 11—7 昭4, 5, 6
- 州の孔子廟建築
田治郎 滿洲學報 1 昭7
- 錦州省北鎮縣の東嶽廟
村田治郎 東洋建築 1—5 昭12
- 遼西義縣の石窟寺記行
瀋田耕作 寶島 昭8
又支那の建築と彫刻 昭
- 滿洲義縣萬佛洞
關野貞 國華 43—510 昭8
又支那の建築と藝術 昭12
- 滿洲赤峰の考古學的調査
瀋田耕作 史學雜誌 47—2 (含石窟寺) 昭17

塔之建築

滿洲の佛塔

伊東忠夫 歴史地理 7—13 昭8
建築雜誌 21—22 昭10

滿洲の佛塔

村田治郎 滿洲建築雜誌 11—19 昭5

滿洲の佛塔概説

村田治郎 建築學研究 11 昭17

滿洲の諸佛塔

八木契三郎 滿蒙 10—3 昭4

訪塔

矢田敬應 住宅 10—1 昭15

滿洲に於ける遼金時代の佛塔

田中秀作 滿蒙 4—1 大12

遼中京城址の佛塔

竹島卓 國學 1—5 昭16

遼代佛塔彫説

村田治郎 建築學會論文集 25 昭17
同種概建築 雜誌 35—36 昭17

滿洲國朝陽の遼代碑文ミ佛塔

村田治郎 建築學會論文集 27 昭17
同種概建築 雜誌 37—38 昭17

遼靈藏寺佛塔碑文並に舍利函彫刻

郷謙嶺 史學雜誌 20—11 明45

錦縣の大廣濟寺ミ佛塔

村田治郎 滿洲建築雜誌 22—9 昭17

東蒙古に在する金剛界曼荼羅の佛塔

鳥居龍藏 中央美術復興 1 昭5

北鎮縣崇興寺の雙塔

村田治郎 南滿洲工業專門學校建築叢刊 14 昭9
滿洲建築雜誌 1—5 昭10

北鎮の雙塔について

吉田孝義 滿洲建築雜誌 22—9 昭17

義縣嘉福寺の佛塔

村田治郎 滿洲建築雜誌 13—10 昭5

鐵嶺龍首山及び圓通寺白塔の銅牌に就いて

五十嵐賢隆 滿洲 17—4 昭11

梯子崖の高塔

寺古界 4—1

遼陽市外の佛塔

寺古界 4—1

遼陽の白塔

稲垣智清 建築 4 大11

遼陽の白塔に就いて

佐藤則之 滿蒙 21—3 昭15

鐵嶺圓通寺ミ白塔

村田治郎 滿蒙 11—2 昭5

撫順塔ミ石經幢(遼金)

渡邊三三 撫順史話 昭15

錦州省興城縣の白塔に就いて

園田一鶴 考古學雜誌 11—12 昭15

析木城の金銀塔

田中秀作 讀書會雜誌 1—5 大11

烏拉圓通佛塔埋藏調査報告

吉田孝義 滿洲古蹟古物名勝天然紀念保存協會誌 2 昭17

滿洲藤滿教の建築

村田治郎 滿洲建築雜誌 13—1 昭6

回教寺建築

滿洲に於ける回教寺建築史の研究

村田治郎 滿洲建築雜誌 10—7 昭9
同種滿洲建築雜誌 11—7 昭6

- 清真寺（支那に於ける回教寺院）
伊東忠太 歴史地理 8—12 明30
- 回教寺院（スケッチ）
伊藤順三 亞東 7—12 昭5
- 奉天に於ける回教の寺院
木下木工郎 支那南北記 大15
- 南清真寺（奉天）
伊東忠太 世界美術全集 23 昭4
- 奉天の回教寺
村田治郎 滿洲建築雜誌 8—7,8 昭3
- 本溪湖火連寨の回教寺
村田治郎 滿洲建築雜誌 8—2 昭3
- 遼陽清真寺
村田治郎 滿洲建築雜誌 8—6 昭3
- 營口の回教寺
村田治郎 滿洲建築雜誌 8—6 昭3
- 熊岳城蓋平海城の回教寺
村田治郎 滿洲建築雜誌 8—2 昭3
- 鐵嶺清真寺
村田治郎 滿洲建築雜誌 8—12 昭3
- 吉林の回教寺
村田治郎 滿洲建築雜誌 7—10 昭2
- 安東鳳凰城の回教寺
村田治郎 滿洲建築雜誌 7—11 昭2
- 開原長春の清真寺
村田治郎 滿洲建築雜誌 9—2 昭4
- 住宅建築**
- 滿洲の民家
村田治郎 建築と社會 14—5 昭4
- 滿洲民族と民家
三室杏東 滿蒙 15—1 昭9
- カマボマ屋根の民家史
村田治郎 滿蒙 10—10 昭4
- 滿洲民家斷想
田口稔 東亞 1—1,2,4,8 昭3
- 清國建築談（民家）
三橋四郎 建築雜誌 15—1,5 明31
- 民族と民家（滿洲の土俗）
三室杏東 滿蒙 11—1 昭9
- ハルビンに残るロシア建築
矢崎高儀 觀光東亞 7—7,8 昭15
- 寒地に於ける露人の住宅
大泉一 滿洲建築雜誌 8—3,7 昭3
- 滿洲の丹戸（スケッチ）
伊藤順三 亞東 8—5 昭3
- 滿洲の倉庫
村田治郎 滿蒙 12—5 昭6
- 滿洲あなぐら考
今西春秋 紀元二千六百年紀念史學論文集 昭6
- 建築史上より見たる蒙古包
竹島卓一 考古學 昭16—1
- 蒙古包
滿蒙 15—1 昭9
- 蒙古包の研究
善隣協會調査月報 昭10—8
- 果して幕を換した家か
村田治郎 ドルメン 11—1 昭9
- 蒙古包概説
矢崎高儀 滿洲建築雜誌 23—2 昭15

蒙古包の構造・寸法・組立

山田榮治郎 滿洲建築雜誌 22—2 昭18

穹廡について

村田治郎 滿洲 10—6 昭14

オンドル考

奥田義信 亞東 4—2, 3, 4, 5 昭14

の起原のこゝなど

昭14

洲の劇場

大熊喜邦 建築雜誌 10—233 昭19

旅順の劇場

三橋四郎 昭17

滿洲に於ける建築裝飾に就て

大江新太郎 建築雜誌 265, 266, 267 昭14

瓦(俗事談)

小田島平吉 建築知識 4—3 昭15

吉林の花瓦(見瓦)圖案について

大塚正雄 建築世界 36—11 昭17

滿洲の門(スケッチ)

伊藤順三 亞東 7—8, 9, 11 昭15

滿洲で見る門

村田治郎 滿洲建築雜誌 12—1 昭17

滿洲最古の石造拱橋

園田一龜 北方圖 2 昭20

建築家傳記

建築家になつた尉遲敬徳の傳説

村田治郎 ドルメン 2—4 昭8

滿洲に於ける薛仁貴の傳説

村田治郎 學 1—3 昭1

張浩とその事蹟

伊藤清造 滿洲 11 昭18

關野先生と滿洲との關係

島田貞彦 夢殿 14 昭19

關野先生と滿洲—特に高句麗壁畫古墳

濱田青陵 夢殿 14 昭19

關野先生と滿洲古建築學

村田治郎 夢殿 14 昭19

追悼關鐸先生

村田治郎 滿洲建築雜誌 昭19

故關真氏

岡大路 滿洲建築雜誌 16— 昭1

故伊藤清造先生の子ども

田中國益 滿洲建築雜誌 1—0 昭6

追悼伊藤清造先生—爾伊藤氏著作年表

村田治郎 滿洲建築雜誌 15—3 昭3

經濟研究

遼宋の交通と遼國內に於ける經濟的發達

村田實造 滿蒙史論叢 2 昭14

滿洲經濟研究の—出發點

關千廣 滿洲評論 6—3 昭19

滿洲經濟の發達

天野元之助 滿鐵調査月報 12—7 昭7

滿洲經濟把握のために

野口村一雄 東亞問題 3—3 昭16

滿支經濟關係の一考察

石田十郎 滿鐵調査月報 12—11 昭1

- 北滿洲經濟發達小史
佐倉毅一 滿蒙 14—7 昭5
- 清代に於ける滿支の經濟的融合
野原四郎 歴史學研究 5—2 (滿洲史研究) 昭10
- 滿洲の産業及貿易に就て
今川貞臣 歴史地理 6—4,5,6,7,8,9 明37
- 滿洲の經濟發達と對支展望
日笠方太郎 文那 20—10 昭14
- 滿洲に於けるソ聯の經濟活動と列國
小泉吉雄 滿蒙 11—8 昭5
-
- 地方經濟情形**
-
- 滿洲國の地域的發展と其の經濟區
田中秀作 彥根高商論集 11 昭7
- 滿蒙の經濟區に就て
田中秀作 地理教育 12—5,6 昭5
- 滿洲の經濟事情に就て
秋水月三 滿鮮記事集 昭11
- 鮮滿及バルガ地方聞見録
西山榮久 東亞經濟研究 15—1 昭4
- 東邊見聞
谷村一水 滿洲評論 15—15 昭12
- 撫順縣事情
滿鐵調査月報 13—2 昭8
- 新民縣事情
滿鐵調査月報 15—10 昭8
- 西安縣事情
滿鐵調査月報 15—12 昭8
- 黑山縣事情
滿鐵調査月報 15—10 昭8
- 奉山沿線事情
滿鐵調査月報 13—10 昭8
- 經濟上より見たる奉山鐵道
滿洲調査月報 15—2 昭7
- 瀋海沿線調査
滿鐵調査月報 13—11 昭8
- 瀋海沿線と奉天との關係
滿鐵調査月報 13—12 昭8
- 瀋海沿線調査撫順縣清原縣海龍縣
滿鐵調査月報 13—11 昭8
- 東邊道經濟事情概況
滿鐵調査月報 13—5 昭5
- 四平街背後地事情
滿鐵調査月報 13—1 昭8
- 雙山縣の經濟事情
滿鐵調査月報 14—1 昭9
- 吉林省各縣事情
滿鐵調査月報 14—8 昭9
- 東豐縣事情
滿鐵調査月報 13—12 昭8
- 海龍縣事情
滿鐵調査月報 13—11 昭8
- 清原縣事情
滿鐵調査月報 13—11 昭8
- 伊通縣調査報告
佐瀬六郎 滿鐵調査月報 17—1 昭12
- 吉林省三姓勃利地方經濟事情
滿鐵調査月報 15—4 昭10
- 豐寧縣事情
滿鐵調査月報 15—1 昭10

- 農安事情
 滿鐵調査月報 14—1 昭9
- 樺甸地方經濟事情
 滿鐵調査月報 14—3 昭9
- 拉濱線の經濟價值
 滿鐵調査月報 14—3 昭9
- 北鐵西部線沿線商工事情
 滿鐵調査月報 14—4 昭9
- 敦化縣概況
 滿鐵調査月報 14—5 昭8
- 圖佳南部線の經濟地理的研究
 今江勇也 研究要録 10 昭11
- 京圖新線を衝く
 金丸精哉 滿鐵 14—2 昭8
- 京圖鐵道全通後に於ける商品輸入
 經路の變化
 滿鐵調査月報 14—6 昭9
- 北道を突く圖寧新線
 金丸精哉 滿鐵 15—10 昭9
- 經濟地理學上より見たる吉敦鐵道
 沿線
 今江勇也 地理教育 11—5,6 昭7
- 吉敦鐵道沿線の經濟地理
 今江勇也 滿鐵地理歴史 1 昭5
- 京圖線の全通と東北朝鮮の三港
 地理學 4—1,2,4,5 昭10
- 又羅津港及敦圖鐵道並その沿線の
 經濟地理について
 研究叢報 1 昭9
- 吉敦沿線事情
 滿鐵調査月報 14—9 昭8
- 閩島省經濟界の現勢
 嘉村龍太郎 滿鐵 15—11 昭11
- 朝鮮側鴨綠江上流地方一般狀況
 滿鐵調査月報 13—9 昭8
- 汪清縣狀況
 滿鐵調査月報 14—8 昭9
- 羅子溝概況
 滿鐵調査月報 13—7 昭8
- 琿春縣狀況
 滿鐵調査月報 14—8 昭9
- 周島ソヴェート區域全貌
 北嶋學 東洋 昭9
- 密境安圖縣の全貌
 嘉村龍太郎 滿鐵 16—8 昭10
- 滿蘇接壤地帯の經濟地理
 伊藤弘 地理學 5—7,8 昭11
- 北滿の人地理的研究
 伊藤郷平 地學雜誌 59,541 昭9
- 北滿經濟の概観
 青木大觀 地方行政 昭9
- 北滿中心論
 小島精一 中央公論 昭9,11 昭9
- 海克線及其附近の地誌並に經濟事情
 地理教育 21—1 昭9
- 北滿洲平野の瞥見
 上治寅太郎 地球 22—4 昭9
- 哈爾濱を中心としたる交通及産業
 佐惣次 滿鮮記事 昭11
- 北安鎮經濟事情
 滿鐵調査月報 14—5 昭9
- 龍鎮縣況
 滿鐵調査月報 14—7 昭9

滿洲國新設の興安省について
西山榮久 東亞經濟研究 17—2

昭8

三河地方經濟概況

滿鐵調查月報 1—3

昭10

額爾克納左翼旗(三河)事情

滿鐵調查月報 14—5

昭9

興安西省の貿易

善隣協會調查月報 43

昭10

科爾沁右翼前旗

滿鐵調查月報 13—8

昭8

王爺廟經濟概況

滿鐵調查月報 17—10

昭10

喜禮嘎爾旗一般狀況

滿鐵調查月報 14—10

昭9

索倫の經濟狀態

滿鐵調查月報 14—8

昭9

興安北省三河地方經濟概況

滿鐵調查月報 13—3

昭10

洮南地方の現状

山田龍三 滿蒙

大正

圍場縣事情

滿鐵調查月報

昭9

鄭家屯經濟狀態

滿鐵調查月報 13—8

昭8

東翁牛特旗事情

滿鐵調查月報 14—9

昭9

西翁牛特旗事情

滿鐵調查月報 14—10

昭9

郭爾羅斯前旗概況

滿鐵調查月報

昭8

齊北線地方特産情況

滿鐵特産月報

昭12

齊克鐵路とその背後地

滿鐵調查月報 13—3

昭8

東察國境事情

滿蒙 16—19

昭10

北滿洲沿烏蘇里地方概況

滿鐵調查月報 13—10

昭8

望奎縣一般情勢

滿鐵調查月報

昭8

濱綏線沿線に於ける物資流動の概

理的考察

石井勇三郎 研究要報 10—3

昭12

濱綏線圖佳線北鮮地方の地理的研

究

石井勇三郎 研究要報 10

昭12

依蘭地方の概況

滿鐵調查月報 10—1

昭11

富錦の現状

滿鐵調查月報 12—1

昭8

撫遠縣狀況

滿鐵調查月報 13—3

昭8

虎林縣概況

2縣事情 3—3

昭9

饒河縣事情

2縣事情 5—3

昭9

綏芬河事情

蘇村龍太郎 滿蒙 15—3

昭9

濱綏線經濟風土記

衣原龍雄 滿蒙 14—11

昭10

蘇密非茂裝地帶各縣事情

滿鐵調查月報 14—3

昭9

官準綏附近の林業

地學紀元 37—42

大正

北滿洲の農林

門野貞造 滿蒙 13—7, 9, 8

昭8

林業の滿洲

三浦伊八郎 農業と經濟 2—4

昭10

和龍縣土山子廟窟金鑛調査報
内野敏夫 地質調査報告 92 昭13

蒙古會金鑛及興安各省鑛產地概況
滿鐵調査月報 15—4 昭10

安東柞蠶製絲業界の現況
滿鐵調査月報 17—3 昭12

滿洲産蓖麻子油に就て
滿鐵調査月報 13—12 昭7

滿洲に於ける建築用煉瓦工業
滿鐵調査月報 13—1 昭7

滿洲に於ける板硝子工業と其の趨勢
原田健次郎 滿鐵調査月報 15—1 昭9

滿洲に於ける陶磁器工業と其の給
滿鐵調査月報 14—7 昭5

滿洲工業原料畜産資源調査
甲斐重良 滿鐵調査月報 16—1 昭11

吉林に於ける木炭
滿鐵調査月報 13—1 昭8

ダライノール水系の漁業
別府良夫 滿鉄 21—1 昭15

滿蘇國境興凱湖と其の水産
辻田時美 東亞研究所報 18 昭17

東蒙古の天然草達
鈴木達治 地質學雜誌 24—280 大6

土地、土地制度

滿洲土地制度理解に關する一關鍵
大海謙三郎 滿鐵調査月報 昭17,4

滿洲土地制度の沿革
山縣千樹 農業と經濟 4—11, 12 昭12

清朝時代土地制度の研究
張士選 產業部月報 2—10 昭5

滿洲に於ける土地制度の沿革及び沿革的土地に發生せる小作關係の發展

築紫二郎 滿洲評論 昭14—4,5

滿洲土地法論拾遺
板倉眞五 地友會雜誌 1—1, 2, 3—1—2—4, 2—2, 4 昭11

愛吾廬滿洲地政雜俎
大海謙三郎 土地制度調査會資料 1

浮田地とその整理—滿洲に於ける地田の研究
清水金二郎 東亞人文學報 2—1 昭18

奉天省の土地制度と地稅制度
關傳統 滿鐵調査月報 12—6—9 昭7

滿洲國に於ける土地制度
山邊省平 滿洲公論 昭15,2

滿洲或文法上に於ける私有林公有林の意義に就て
野崎繁 滿鐵調査月報 1—1 昭8

滿洲に於ける私的土地所有の發展
廣田豪佐 滿鐵調査月報 21—3 昭16

清末以後に於ける土地運動の若干事例
佐藤武夫 滿鐵調査月報 昭16—4

滿洲農村土地態樣
田中一男 地友會雜誌 4—3 昭14

北滿洲に於ける土地配分
鈴木小兵衛 滿鐵調査月報 18—3 昭13

公 有 地

公田に於ける權利慣行
末石久人 地政 5—2

邱奉縣に於ける學田に就て
宮岡尊 地友會 誌 2—3, 6 昭12

寺廟財産管理制度の研究
五十嵐賢隆 滿洲行政 6—9 昭15

現代寺廟田考
小倉隆 滿蒙 12—7 昭12

蚕場の権利實態調査
相良政行 地政 1—2 昭15

蚕場に就て
相良政行 地友會雜誌 3—1 昭13

滿洲に於ける入會地に就て
保藤亨 地友會雜誌 4—2 昭14

旗 地

清初の旗地
柴三九男 史學雜誌 46—7 昭10

清初旗地に關する滿文老檔の記事
鷲淵 史林 22—1—2 昭13

清代の土地所有關係
—滿洲土地經濟史よりの考察—
柴三九男 歷史學研究 2—5 昭9

清初の土地制度をめぐる諸問題
柴三九男 史學雜誌 4—7 昭14

清朝に於ける旗地の構成
周藤吉之 社會經濟史學 11—11 昭15

清朝初期に於ける旗地の發展過程
周藤吉之 史學雜誌 52—4 昭15

清皇族莊園所有權に就て
大海瀧三郎 寶篋藏存 11 大11

皇莊の意義とその内容
清水泰次 東亞經濟研究 25—1 昭16

清朝初期に於ける授充と其起源
周藤吉三 特に没充旗地を中心として
東方學報(東京) 12—2—3 昭18

清朝中期に於ける旗地の小作關係
周藤吉三 戶部地畝冊の紹介を中心として
東方學報(東京) 12—1 昭16

清代中葉に於ける滿洲封禁の歴史
的意義
柴三九男 史學 26 昭16

清代滿蒙に於ける封禁について
柴三九男 史學雜誌 46—7 昭12

前清宗室の所領地禁賣
稻葉岩吉 外交時報 22—9 大4

清朝時代の牛祿地と漢人移民
村岡重夫 滿洲行政 5—5 昭13

官莊に於ける生産關係とその崩壞
上
田中久夫 滿洲評論 19—18 昭15

蒙 地

蒙地の話
竹田茂昭 蒙古研究 2—4 15

興安南省に於ける蒙地の考察
井平俊太郎 內務資料月報 1—6 昭12

哲里木盟蒙地の基礎を覗く興安省
實態調査より
井平俊太郎 蒙古研究 1—3 昭14

近代に於ける蒙古遊牧民の土地所
有關係
柴三九男 史觀 8 昭10

熱河蒙地に於ける蒙漢兩民族土地
權利の一考察
及川三男 法律時報 11—6 昭11

文献上より見たる清朝時代より民
國時代に於ける蒙地に對する各種取
締令と禁令
及川三男 滿洲學報 2 昭8

昭烏達盟蒙地開放沿革史
坂本登 地友會雜誌 4—5—7 昭14

蒙古土地の私賣禁止令
調査時報 6—7 大15

熱錦蒙地の處理に就て
及川三男 地友會雜誌 2—2 昭12

興安屯墾公署開放地の實態に就て
川平俊太郎 蒙古研究 2—1 昭15

蒙旗の土地制度に就て(嶺北)
内務資料月報 2—4 昭13

再び蒙地問題について
大上末廣 滿洲評論 12—3,4 昭12

熱錦八旗外倉地の研究
吳椿齡 蒙古研究 1—4 昭13

蒙古に於ける土地所有權
福島三好 地友會雜誌 2—3 昭12

錦州地方に於ける舊土地情況に就て
小田切政孝 拓植政雄 地友會雜誌 1—1,2 昭13

阿魯科爾沁旗に於ける土地に關する諸慣行及び權利關係
石川茂昭 蒙古研究 2—1 昭15

奈曼旗に於ける土地に關する權利の諸様相
竹村茂昭 蒙古研究 2—2 昭15

錦熱蒙地奉土解説
蒙古研究 4 昭14

商 地

南滿洲に於ける土地 商租法律的意義
高橋幸郎 東亞經濟研究 2—1 大7

滿蒙土地商租問題
久坂猛 外交時報 42—11 大12

滿洲國に於ける外國人の不動產權
雙川喜文 法曹雜誌 2—7—10 昭10

奉天商埠地に於ける土地權利に就て
岡部善修 滿蒙 16—9 昭11

土 地 習 慣

鮮滿史に於ける土地 附合に關する慣習
瀧川政次郎 地友會雜誌 1—2,2—2 昭11,12

全滿物權舊慣
本多義雄譯 地友會雜誌 1—3 昭11

吉林土地舊慣
岡田衛 地友會雜誌 1—2,3 昭11,12

吉林省に於ける特殊物權に關する舊慣調査
滿鐵調査月報 15—12 昭10

營口縣に於ける土地親 族相續慣行調査
山崎薰 宗野全吾 地友會雜誌 3—6 昭13

舊黑龍江省に於ける物權の慣習
地籍整理局 地友會雜誌 2—2 昭12

關東州に於ける家産相續の慣習について
天野敏三郎 地友會雜誌 2—2 昭12

龍江縣に於ける土地慣行
嘉田滿雄 西村好 地友會雜誌 4—3,4 昭14

遼陽縣に於ける民事慣習
嘉田滿雄 法曹雜誌 4—3,5,7,12 昭13

郭後旗に於ける土法不賣衆
川平俊三郎 蒙古研究 1—1 昭14

滿洲に於ける特殊慣行に就て
天海鏡三郎 法律時報 11—6 昭14

支那に於ける契約類集
定彦 滿鐵調査月報 12—1 昭15

滿洲に於ける賣契に就いて
清水金二郎 地政 5—4 昭16

滿洲國に於ける従來の土地賣買手續
保聯亨 地友會雜誌 2—2,4 昭12

吉林省に於ける地券の解説
伊藤太 地友會雜誌 2—4, 4—5 昭12

業主權に就て
杉本吉五郎 地友會雜誌 1—2, 2—1 昭11, 12

紅契と白契
瀧川政次郎 法曹雜誌 4—1 昭12

ソングウス族の土地所有關係
柴三九男 歴史學研究 5—2 昭10

屯 墾

滿洲開拓史年表
小森丈夫 産業部月報 2—1, 5 昭14

明代の遼東經營
清水泰次 東亞 8—1 昭10

明代滿洲屯田考
清水泰次 地友會雜誌 2—2 昭12

屯田制度に就て
高本廣一 滿洲行政 4—1, 2 昭12

歴代屯田考と興安屯墾軍
瀧川政次郎 地政 5—1 昭15

明末に於ける鴨綠江方面の開拓
和田清 史學雜誌 2—1, 7—12 昭12

清朝時代に於ける黒龍江省の開発
北山康夫 歴史學研究 8—1 昭18

清代滿洲移民政策の變遷
伊東篤吉 歴史と生活 4—2 昭16

滿洲に於ける京旗に屯墾に就て
有高巖 史潮 1—2 昭9

明末清初に於ける鴨綠江方面の開拓
和田清 史學雜誌 30—6, 10, 11, 12 大8

黒龍江省呼蘭平野の開発に就きて
有高巖 内藤博士還曆祝賀支那學論叢 大10

清末に於ける吉林省 西北部の開発
川久保悌郎 歴史學研究 5—2 (滿洲史研究) 昭15

清代に於ける黒龍江省の開發について
北山康夫 書香 16—19 昭18

滿洲北邊地方開拓史の一節
佐久間勝森 實業部月報 4—1 昭14

墾務沿革
姜元昌 長瀨義一譯 産業部月報 2—2, 7 昭11

清末に於ける北滿洲海倫 拜泉地方の土地開發
柴三九男 史観 4 昭8

呼蘭地方の植民地的發達
柴三九男 史観 9 昭9

滿洲植民の效果一殊に黒龍江將軍特許地の土地開放について
柴三九男 史観 12 昭12

黒龍江省清丈緣起
姜元昌 長瀨義一譯 産業部月報 4—2 昭15

黒龍江省の開墾
龜瀨龍長 資料保存 9 大4

舊熱河蒙地の開墾資料二則
天海謙三郎 滿鐵資料彙報 昭18、

清朝時代の半縁地と漢人移民
岡重夫 滿洲行政 5—4 昭13

地制上より觀たる滿洲の開発
天海謙三郎 支那 21—9 昭7

清代北滿の屯墾
米倉二郎 支那人文學報 1—3 昭16

滿洲開拓の發展に關する覺書
 天澤不二郎 建國大學研究院研究期報 1
 昭16

漢人の蒙地開墾に就いて
 矢野仁一 史林 9—5,4
 大15

ロマノフカ村開拓過程
 小一雄 觀光東亞 19—1
 昭18

移 民

滿洲移民小史
 阿部矢二 高商論叢(同志社) 18
 昭14

清朝の滿洲支配と支那人移住
 矢野仁一 支那 17—6
 大15

南方勢力の滿州侵入により起つた諸象
 井付董雄 東亞 4—10
 昭6

漢人の北滿發展
 外國の新聞と雜誌 167
 昭7

滿蒙開拓者として漢族商人
 田中秀作 地理論叢 8
 昭11

支那人の滿洲移住
 何廉 支那 23—3,5
 昭7

山東省より滿洲への移住
 地學雜誌 49—171
 昭3

支那人の滿洲移住に就て
 濱野末太郎 東亞 4—11
 昭6

歷史上より見たる滿洲移民
 有高巖講 史潮 9—2
 昭14

滿洲移植民考
 中村如峰 滿蒙 11—12, 12—2
 昭5,6

滿洲移民の組織化傾向に就て
 中山四郎 東亞經濟研究 14—1
 昭5

滿蒙移住漢民の數的考察
 滿蒙事情編輯部 滿蒙事情 10—8
 昭5

滿洲に對する支那の植民
 ヤング(翻譯) 東洋 32—1,2,5
 昭4

滿洲に於ける支那勞動移民
 ヤング(翻譯) 調査時報 7—8
 昭

清代滿洲流人考
 有高巖 三澤博士古稀祝賀紀念論文集 昭4

漢民族の滿洲移民と在滿朝鮮人 壓迫問題
 寺島一夫 新興科學の旗の下に 2—9
 昭1

在滿朝鮮人問題と民族爭鬭
 柏田忠一 外交時報 48—6
 昭3

北滿の開拓と漢民族
 高岡熊雄 外交時報 96—1
 昭15

露領在任朝鮮人問題
 大庭景秋 外交時報 18—3
 大2

間島及琿春地方の韓鮮農民
 林吉男 支那 1—9
 昭5

韓人露領移住由來
 大庭景秋 外交時報 15—12
 昭12

露人最初の滿洲開拓者
 イツシケグイチ 北窓 1—2
 昭14

大陸政策の先覺者後藤新平伯を語る
 市川正義 滿鐵調査月報 5—2,3
 昭15

滿洲集團移民の現況と諸問題
 河田副郎 經濟學雜誌 3—4
 昭13

滿洲に於ける我植民問題
山本美越乃 國民經濟誌 7—6 明43

北滿に於ける植民地經濟
エウ・メルシアー 亞細亞 7—4 昭7

滿洲開拓の發展に關する覺書
天澤不二郎 建國大學研究院期報 1 昭1

呼倫貝爾地方の邦人自由移民農業
阿部太郎 農業の滿洲 9—7 昭12

京圖沿線に於ける邦人自由農業移民
滿鐵調査月報 16—1 昭11

東京城寧安地方の鮮人移動並に鮮農の生活狀況
伊賀清男 研究要報 10 昭12

農業經濟

滿洲農業の生産規模
鈴木小兵衛 東亞 7—13 昭9

滿洲に於ける農業恐慌
渡邊雄二 滿鐵調査月報 12—3 昭7

滿洲農村の一描寫
牧健二 歴史と地理 33—3 昭9

滿洲國農業生産政策の吟味
大上未廣 東亞人文學報 1—1 昭16

農作物より見たる滿洲農業の經濟的發展
鈴木小兵衛 東亞 7—4 昭9

東三省の農業恐慌と農民
黃善生(翻譯) 滿鐵調査月報 12—4 昭7

南滿に於ける大農經營
石田精一 滿鐵調査月報 昭16.10

滿洲農業の現段階
川俣浩太郎 中央公論 昭17.4

聯盟報告に現れたる滿洲農業問題の斷面的檢討
滿鐵調査月報 12—11 昭7

滿洲農村に於ける階級構成論
グエーアバーリン 滿鐵調査月報 15—1—12, 16, 1 昭10.1

滿洲の農業
田中秀作 地求 52—2 大13

滿洲の農業地域
入江久夫 滿鐵教育たより 3 昭9

滿洲農業と商品取引資本
鈴木小兵衛 東亞 8—34 昭10

南滿洲 來農業
農事試驗場 滿鐵農業試驗所彙報 5 大7

南滿洲在來農具
滿鐵農事試驗場 滿鐵農事試驗場彙報 5 大7

滿洲に於ける農業事情
ベルナール 滿洲評論 昭17.5—6

滿洲の農業
南藤次郎 東洋時報 145 明43

滿洲農業所見
室戸健造 中央公論 昭17.9

農村生活を語る
龍巻 地友會雜誌 昭5

滿洲農業に於ける南滿型北滿型に對する覺書
小泉吉雄 滿洲評論 7—6 昭10

中部滿洲に於ける農民分化

鈴木小兵衛 滿鐵調査月報 15—20 昭10

資料より見たる滿洲各地の農民分化
南滿各地部落に於ける

鈴木小兵衛 滿鐵調査月報 15—17 昭10

滿洲の農業

中本保三 滿洲技術協會誌 13—16 昭9

南滿の耕地と人口

増田忠雄 滿鐵教育たより 33 昭12

滿蒙の土壤と農業

突永一枝 農業の滿洲 4—11 昭7

土壤より見たるアルカリ地 帯概要

池田實 農業の滿洲 11—17 昭14

密山哈爾濱間の土地事情 飛行觀察

井上實 實業半月刊 1—1 昭10

滿蒙の開拓地域

入江久夫 地理論壇 5 昭14

滿洲の氣候と農業

村越信夫 滿洲農學會誌 廉11

農産物を通じて見たる都市 背後地
園

入江久夫 滿鐵教育たより 31 昭12

カナダと滿洲農業比較

内野來助 滿鐵調査月報 17—20 昭10

農耕上より見たる齊齊哈爾 地方の
氣を概観

石川吉胤 滿蒙 18—20 昭12

熱河省に於ける農産特に食糧資源
に就て

安部淺吉 滿洲醫科大學創立二十五周年紀念論文集 昭11

滿洲水田概説

滿鐵調査課 調査時報 5—12 大14

南滿に於ける水稻の生産事情

横山敏男 農業の滿洲 昭18、19

滿洲水田概況

滿鐵調査月報 16—17 昭12

滿洲水田の將來

荻原昌彦 農業の滿洲 4—11 昭7

北滿の水田事業

滿鐵協會 滿蒙 8—11 昭9

北滿の糧作と水田

北滿經調 滿鐵調査月報 18—19 昭11

滿洲既耕地の生産力の推移

荒川佐子代 興農 昭16—17

滿洲既耕地の生産力と肥料

拓植利久 農業の滿洲 12—124 昭15

中滿地方に於ける水田經營の收支

滿鐵調査月報 18—19 昭12

粟大豆高粱の收支及生産費

滿鐵調査月報 14—1 昭9

滿洲の大豆高粱粟作の經營成果

水友繁雄 農業と經濟 3—4 昭13

敦化額穆地方に於ける水稻作

澤島真之助 農業の滿洲 1—1 昭9

間島の耕地生産力並に人口支持力

中谷忠治 滿鐵調査月報 16—17 昭11

齊克線泰安背後地に於ける大豆作

に代る穀類作出現に關する考察

鹿田有雄 滿鐵調査月報 14—16 昭9

滿洲に於ける蔬菜の高給

熊澤三郎 農業と經濟 5—1 昭13

都市近郊地帯の蔬菜栽培 哈爾濱の卷

佐藤武夫 滿鐵調査月報 18—19 昭15

所謂中滿型農村の一例

一海龍縣興農 興龍屯實態調査報告—
土岐八郎 樋口爾郎 地友會經濟 一昭15

南滿一農村の最近の動向

古田士劍中等 滿鐵調査月報 23—9 昭15

遼陽縣に於ける農村の一考察

山下肇 滿蒙 8—2 昭15

海城縣に於ける農村行政組織と其の運営現態

野間清 山本純忠 滿鐵調査月報 17—1 昭15

錦州省錦縣に於ける農村行政組織と其の運営現態

和田喜一郎 横地聖富 滿鐵調査月報 17—1 昭15

東部内蒙古未開地帯に於ける農業事情

岡川榮盛 農産の滿洲 1—1 昭15

東部内蒙古の農業經營に關て

野村謙己 資料寄存 12 大

北滿農村の實態

滿洲評論 昭15

北滿に於ける農業

石田精一譯 滿鐵調査月報 18—10 昭15

北滿の農業、農村、移民

稻葉泰三 農業と經濟 4—8 昭15

北滿増産金庫地帯に於ける滿蒙農家の營農形態の分析と其設定

滿鐵調査月報 17—8 昭15

北滿の農業形態について

經濟學雜誌 昭15

北滿農業の特質

桑田敏郎 滿洲評論 12—25 昭15

北滿農家の收支

山口ヤシノ 滿鐵調査月報 19—2 昭15

北滿農業經營事例

北滿經濟調査會 滿鐵調査月報 18—3 昭15

黑龍江省の農業經濟

滿鐵チナハル事務局 滿鐵調査月報 14—6 昭9

治賚克鐵道地方の農業事情

田尾末三郎 農業の滿洲 1—1 昭9

黑龍江省の農業經濟

滿鐵調査月報 13—9 昭9

龍鎮縣農業事情

滿鐵調査月報 15—9 昭8

農村駐在調査報告

吉林省長嶺縣水村論 林屯魏家窪手
第二滿洲調査室第一班 滿鐵調査月報 17—12 昭15

大泉眼部落調査報告

公主嶺經濟調査會 滿鐵調査月報 15—11、12 昭8

双城縣に於ける農民から聴取 調査覺書

野間清 滿鐵調査月報 23—1 昭15

邦人移民農家の農業經濟

滿鐵調査月報 13—9 昭15

間島に於ける農業機構

滿鐵調査月報 15—11 昭10

琿春地方農況

李學文 滿鐵調査月報 13—1 昭8

間庫地方農況

滿鐵調査月報 13—1 昭8

寧安縣農業事情

滿鐵調查月報 14—7 昭9

敦化地方に於ける邦人の農業經營

滿鐵調查月報 15—4 昭9

北滿三河地方に於ける自系露人農家の生活

石松哲雄 東洋 41 昭13

敦化縣に於ける滿人の農家經濟調査

滿鐵調查月報 13—10 昭9

閩島地方に於ける鮮農經濟事情

野中時雄 近藤三雄 滿鐵調查月報 11—9 昭13

在滿鮮農の社會的諸條件

廣瀨進 滿鐵調查月報 16—3, 昭11

農村の年中行事

海野彌雄 滿鐵調查月報 23—12 昭18

蒙地と漢人農民

村岡重夫 蒙古研究 2—1 昭10

農村雜話と熱河

滿洲評論 11—7 昭13

北滿農村に於ける負担重度

松生龍男 滿洲評論 15—7 昭13

滿洲に於ける小作様式と其の性質

天野元之助 滿鐵調查月報 12—11 昭7

滿洲各地に於ける小作 慣行及小作料

滿鐵經濟調査會 滿鐵調查月報 16—10 昭10

滿洲農家經濟收支に現はれたる小作の諸問題

愛月壽矢 滿鐵調查月報 10—32 昭13

北滿農村勞働事情

吉川忠雄 滿鐵調查月報 18—10 昭13

滿洲の地代研究とその立場

大上末廣 東亞問題 昭13, 9

滿洲の土地形態と地代形態

大上末廣 滿鐵調查月報 12—3, 4, 5 昭13

北滿に於ける小作關係の變遷と現

佐藤武夫 帝國農會報 昭15, 8

錦熱蒙地に於ける租子と敵捐に就て

赤池義男 地友會雜誌 2—3, 4 昭13

滿洲に於ける金納小作形態の本質

相良典夫 滿鐵調查月報 21—2 昭13

郭爾羅斯前旗に於ける小作關係

井不俊太郎 蒙古研究 2—3 昭15

蒙地に於ける鋤耨の一例に就て

山本純愚 滿鐵調查月報 16—3 昭11

喀喇沁十旗に於ける當租の慣行に就て

原喜 地友會雜誌 2—1, 2—1 昭13, 14

阿魯科爾沁旗に於ける「ムラタケ」慣行

村岡重夫 蒙古研究 2—2 產業部月報 4—2 昭15

爛價地考

天海三郎 地友會雜誌 1—1, 2, 昭11

蒙古に行はれる小作制

陶希聖 滿蒙 14—5 大14

熱河官莊旗地勸放地に於ける小作關係に就て

林忠四郎 地友會雜誌 2—2 昭13

閩島省管内に於ける小作 慣行調査

閩島省公署 民政部調査月報 1—3 昭11

物 産

(滿洲の) 産業
 伏見義夫 世界地理風俗大系 1 昭6

滿洲産業の新段階
 鈴木武雄 中央公論 596 昭12

滿洲工業史に関する一考案
 滿洲評論 6—8 昭9

吉林省の産業
 滿鐵調査月報 15—8 昭10

北寧沿線に於ける高粱栽培
 滿鐵調査月報 14—11 昭9

滿洲に於ける粟
 滿鐵調査月報 14—1 昭9

滿洲蘋果の特性
 渡邊柳齋 滿洲技術協定誌 昭9

滿洲及北支に於ける麻事情
 農業 昭10、11

滿洲綿業史
 嵯峨晋 滿洲評論 昭10、10—12

滿洲大豆の發展
 江頭恒治 經濟叢書 51—3 昭1

滿洲特産の大豆に就て
 田中秀作 地理學教材研究 1 大11

滿洲大豆の研究
 滿洲經濟實態研究班 建國大學研究院研究 昭10
 期報 1

豆による滿華親善及び豆の來歴故
 事
 田中幸四郎 叢書月報 88 昭18

世界的商品としての滿洲大豆
 奥田保治 地理教育 9—1 昭9

滿洲油坊史
 富士谷徹 滿洲評論 昭10、1—4

世界的なる滿洲の油房業
 佐佐木道太 地理教育 4—6 大15

四平街油房業の過去及現在
 滿鐵調査月報 12—12 昭7

哈爾濱油房業概況
 滿鐵哈爾濱事務所 滿蒙 4—8 大12

龍江に於ける燒滿業の現状
 滿鐵調査月報 15—10 昭9

貂皮貂裘考
 中丸久四郎 史潮 4—3 昭9

滿洲に於ける落花生
 滿鐵調査月報 14—8 昭9

滿鮮古代の産鐵史料に就て
 稻葉岩吉 東亞經濟研究 1—4 昭9

遼代鑛業考
 島田正郎 社會經濟史學 12—8 昭11

明代女真人の鐵器について
 旗田巍 (東方學報) (東京) 11—1 昭15、16

北滿洲の砂金鑛業に就いて
 針尾慶次 滿蒙 12—5 昭7

砂金とその奴隸たち
 メルツァー (翻譯) 滿蒙 14—5 昭8

滿蒙資源の考察
 土上貞藏 外交時報 62—5 昭7

滿洲地下資源に就て
 新帶國太郎 東洋貿易研究 昭16、12

寶庫東邊道の全貌
 神田寄興志 滿洲行政 4—12 昭12

撫順炭礦の沿革

渡邊三三 撫順史話 昭15

日本内地朝鮮滿洲及支那滿洲に於ける石炭

地學雜誌 25—296 昭12

滿洲に於る石炭

上禮之助 地學雜誌 26—304 大3

穆陵炭一覽

支那礦業時報 70 昭5

無煙炭の生成及性質と日滿支の分布

關新六 日滿支石炭時報 昭10、12

吉林省穆陵炭礦

支那礦業時報 78 昭7

札齊諾爾炭礦の現状

滿鐵調查月報 9—12 昭4

滿洲國の鑛業資源

東洋 41—4 昭10

內蒙古の鑛産

滿鐵調查月報 昭10

熱河省平泉縣下鉛鑛

松田勉三 地質調査所報告 昭15—3

南滿洲に於ける鐵鑛

上禮之助 地學雜誌 25—267 明14

吉林省ベントナイト

尾崎博 地質調査報告 89 昭12

滿洲に於ける新鑛物 ベントナイト

坂本鐵雄 地質調査所報告 89 昭12

浙江省ベントナイト

内野・酒子 地質調査報告 80 昭1

熱河省平泉縣隆化縣下銀 鉛鑛調査報告

松田勉三 地質調査所報告 92 昭13

北滿に於ける石油探索の思出

新帶國太郎 滿蒙 21—12 昭15

洮南肉牛市場

坪清・滿蒙 昭3

齊齊哈爾の牛肉市場

坪清・滿蒙 昭3

金 融

遼代貨幣史論

田中忠夫 東亞經濟研究 4—3 大9

金代貨幣史論

田中忠夫 東洋 23—12 大12

宋金貿易史上に於ける銅錢の問題

曾我部靜雄 文化 4—3 昭12

滿洲經濟開發の飛躍性と金融統制の混化

日笠芳太郎 東亞經濟研究 21—1 昭2

滿洲北支金融聯携

外交時報 81 昭10

奉天に於ける滿洲國間金融機關

有馬 馬 東亞經濟研究 10—2 昭10

奉天錢業公會に就て

南正治 滿鐵調查月報 14—1 昭9

列國の對滿資本輸出に就て

小泉百雄 滿鐵調查月報 12—10 昭7

滿洲各通貨の歴史的研究

南郷生 滿蒙事情 10—5、6 昭5

錦縣城に於ける金融商工機構
 滿鐵調査月報 15—11 昭10

奉天票問題
 西川榮久 東亞經濟研究 10—4 大15

奉天票に就て
 都 文雄 滿蒙 7—4 大15

奉天に於ける專照單問題に就て
 中山四郎 東亞經濟研究 11—1 昭11

吉林官帖の研究
 南原龍音 滿鐵調査月報 11—11,12 昭10

滿洲通貨考
 秦奇泉 經濟 1—3 (R25) 大1

滿洲通貨一般
 朝鮮銀行 朝鮮郵報 17,21,22 大

滿洲の當舗と奉天に於ける其の金融
 滿鐵調査月報 10—12 昭10

北滿に於ける土着資本の動向
 高橋 滿洲評論 14—19 昭15

當舗及押舗及放印子錢的
 滿鐵調査月報 15—1 昭8

滿蒙に於ける庶民金融機關
 關孝雄 東洋 35—7 昭7

滿洲農家金融に關する一考察
 加藤清 滿鐵調査月報 10—12 昭14

滿洲農村の貸借制度
 天野元之助 滿鐵調査月報 13—1 昭8

農村金融の現状と金融機能
 石橋清 滿洲行政 4—2 大12

哈爾濱の背後地濱北線 綏化に於ける特産物金融
 滿鐵調査月報 16—5 昭11

滿洲の農業金融
 田中恭 滿洲行政 2—2 大2

春耕資金貸付廢止について
 滿洲評論 8—17 昭10

農村金融上に於ける當舗の地位
 小倉隆 滿蒙 17—12 昭10

滿洲に於ける農家負債の深度 原因結果
 鈴木小兵衛 滿鐵調査月報 15—7 昭10

北滿農家の負債並に貸借關係
 農事合作社 農事合作社報 2—7—9 昭5

財 政

高麗賦役考覈
 今堀誠二 社會經濟史學 9—3,4,5 昭14

金の財政政策と宗教敎團
 野上俊靜 東洋史研究 4—5 昭14

金代の物力錢に就いて
 小川裕人 東洋史研究 1—6 昭15

明末の遼餉
 清水泰次 東亞經濟研究 22—4 昭14

清國創業時代の財政
 内藤虎次郎 太陽 6—9 明33

奉天省稅制度
 野間清 滿鐵調査月報 12—9 昭7

奉天省の土地制度と地稅制度

謝休 滿鐵調查月報 11—4—4 昭7

奉天に於ける二重課稅問題と其の難點

宮脇賢之助 東亞經濟研究 11—4 昭7

奉天省鹽政の概況

泉土之丞 外交時報 41—7 昭7

滿洲に於ける支那鹽田及其習慣

龜淵龍夫 資料保存 10 大4

滿洲國の一農村に於ける農民の租稅負擔

滿鐵調查月報 11—1—10 昭7

滿洲國財政十年史

三谷道廣 東亞人文學報 2—3 昭18

貿 易

山丹交易に關する考察

竹内進平 國學院雜誌 3—1—14 昭7

末期の山丹交易に就いて

末松保和 東亞經濟研究 11—7 昭7

日滿交通史より見たる福浦港

沼田頼輔 史蹟名勝古蹟紀念物 1—7 昭8

五代時代に於ける契丹と支那との海上貿易—東丹國內に於ける渤海遺民の海上活動

日野開三郎 史學雜誌 22—7—59 昭16

高麗と契丹女真との貿易關係

丸龜金作 原史學研究 1—2 昭11

宋と金國との貿易に就いて

加藤繁 史學雜誌 48—1 昭11

宋金貿易に於ける茶鐵及絹について

加藤繁 東亞經濟叢書 1—1 昭11

明代遼東の馬市

稻葉岩吉 史學雜誌 21—1—3 大2

清代の滿洲に於ける需求の償還に就いて

周藤吉之 東亞論叢 7—1 昭15

康熙乾隆時代に於ける滿洲と支那

木土との通商に就いて

加藤繁 東亞經濟叢書 1—1 昭18

五十餘年貿易地帯の發展

大庭敬秋 外交時報 11—1—13 大4

鎌倉時代に於ける女眞船の來航

秋 宗藏 史學雜誌 46—9 昭11

北滿洲の毛皮取引

ルカーレン(翻譯) 滿蒙 11—11 昭5

北滿及東滿に於ける對外貿易の趨勢

滿鐵調査科 滿鐵調査月報 11—1—11 昭7

最近二十箇年間に於ける南滿洲對外貿易の趨勢

滿鐵調査課 滿鐵調査月報 11—1—11 昭5

北滿の商業地

菅柳篤恒 外交時報 11—3—7,8 大1

大連海關の法的地位

野高清 滿鐵調査月報 12—7 昭7

牛莊營關

伊知重兼孝 臨時彙報 3—9 大12

營口に於ける大屋子

滿鐵調査月報 10—3 昭11

- 最近の營口貿易の趨勢
滿鐵調査月報 11—4 昭8
- 滿洲初期の貿易と地理的環境
中野竹四郎 地理論叢 8 昭11
- 1882年—1893年に於ける牛莊海關報告
滿鐵調査月報 16—6 昭11
- ポグラーニーチヤ經濟史
加藤清一 滿洲時報 181 昭9
- 滿洲糧穀の現勢
塚本信吾 滿洲行政 7—1 康5
- 糧穀に就いて
奥村義信 地友會雜誌 2—3 康3
- 滿洲に於ける商店の構成とこれの分析
小曾森七 滿洲行政 昭10—1
- 營口を中心とする滿洲市場に於ける支那産品名調査
野木政治 研究要報 1 昭9
- 朝貢と撫順馬市
渡邊三三 撫順史話 昭15
- 甘珠爾廟の概況
滿鐵調査月報 15—10 昭10
- 甘珠爾廟並に同廟市に就いて
谷田正時次 著隣協會調査月報 52 昭11
- 原始的な草原の商取引
泉三郎 滿洲行政 2—6 昭10
- 呼倫貝爾の變革版甘珠爾廟祭と定期市を見る
著隣協會調査月報 65 昭11

- 滿洲物價標の行方
戸田茂喜 北方園 3 (滿洲遼陽の物價) 昭20
- 滿洲に於ける阿片類
慶成重雄 滿鐵調査月報 12—12 昭7
-
- 社 會
-
- 社會經濟史論
-
- 滿洲史の一批判
中山耕太郎 皇史科學 2—5 昭9
- 滿洲社會經濟史の諸問題
大上末廣 東亞 7—10, 11 昭9
- 滿洲經濟研究の新生面
鈴木小兵衛 東亞 5—7 昭10
- 滿洲社會經濟史の諸問題
大上廣末 東亞 1—10, 11 昭9
- 滿洲經濟恐慌分析のための出發點として
佐野利 歴史學研究 2—1 昭9
- 構造的變革過程に於ける密山縣の社會的經濟的機構
著忠行 民政部調査月報 1—5, 12 昭11
- 近代に於ける滿洲農業社會の變革過程
大上末廣 歴史學研究 1—2 (滿洲史研究) 昭10
- 滿洲社會史の斷層
稻葉岩吉 東亞 5—8 昭7
- 滿洲に於ける漢民族の地位
稻葉岩吉 東亞 6—8 昭8

高句麗社會の生産様式 國家の形成過程を中心として

金洗鎮 普尊學藝論集 3 昭11

蒙古社會崩壞の歴史的過程

大上末廣 新天地 昭9-5

清朝創業期の社會

旗田巍 歴史學研究 9-3 昭14

清初社會の經濟的基礎

柴三九男 史學雜誌 30-7 昭14

未開放地の社會經濟組織に就て

野副重次 滿洲行政 2-6 昭19

停滞的東部内蒙古社會とその經濟實狀

滿鐵調査月報 14-8 昭9

東部内蒙古社會の崩壞 停滞に就いて

小泉吉雄 滿洲評論 6-5 昭9

察哈爾綏遠蒙民經濟の解剖

賀陽靈 (佐藤慎一郎譯) 内務資料月報 1-1-10 昭13

社 會 組 織

遼の部族制度に就いて

島田正郎 歴史學研究 11-4 昭17

契丹開國傳説の成立と八部組織

秋實實造 東洋史研究 2-2 昭11

遼の部族制度に就て

島田正郎 歴史學研究 1-8 昭17

高麗末期より朝鮮初期に至る奴婢の研究

周藤吉之 歴史學研究 7-1-4 昭14

滿洲族の停滞性

三上次男 東亞論叢 昭11

開初における女真社會の變遷

和田青 史學雜誌 48-9 昭12

滿族入關前の經濟生活

池本琛著 池田孝譯 滿鐵調査月報 17-5 昭12

清朝創業期の社會

旗田巍 歴史學研究 9-3 昭14

明末清初の滿洲族社會

布村一夫 香 154 昭16

明末清初の滿洲に關する一考察

布村一夫 香 15-17 昭18

二道河子舊老城時代の 滿洲族社會

布村一夫 叢書月報 89 昭18

清朝時代に於ける蒙古の社會階級

山下忠彦 蒙古研究 1-1 昭14

ゴリド族の社會構成

ホラテイモア 香 15-3 昭18

家 族 制 度

遼代に於ける契丹人の婚姻に就いて

島田正郎 史學雜誌 52-9 昭17

高句麗王家の上世の世系について

池内宏 東亞學 3 昭15

清朝姓氏考

内藤虎次郎 藝文 3-3,4 明45

清祖姓氏考

今西春秋 香 15-19 昭18

滿文太祖老檔の所謂族譜表に就いて

戸田茂喜 史學雜誌 11-7 昭19

ツングース族の社會組織と婚姻制度

エムア チャブリカ 書香 15—6 昭18

薩滿教と滿洲族の家族制度

大川彦一 民族學研究 7—2 昭16

錫尼克ブリヤート社會に於けるキンシツブタブーに就いて

森三郎 蒙古研究 2—1 昭15

トルコ蒙古ツングース族における

呼稱年長者に關する考察

布村政雄 書香 15—3 昭18

滿洲國婚姻法に關する一考察

吉田公平 滿蒙 22—1 昭16

北滿に於ける大家族分家の一事列

岩佐捨一 滿鐵調査月報 20—12 昭15

北滿農村に於ける家族共同體の形成と解體

廣田泰佐 滿鐵調査月報 23—10, 11 昭15

北滿一農家の家族關係

山本義三 滿鐵調査月報 23—3 昭15

遼陽縣に於ける大家族に就て

嘉村滿雄 滿洲行政 48 昭12

聚落都邑

遼代の邑會に就て

野上俊靜 大谷學報 29—1 昭14

滿洲高築小考

池内宏 市三博士古稀紀念東洋史論叢 昭13

吾都里族の部落構成

旗田巍 歴史學研究 5—2 (滿洲史研究) 昭10

兀良哈族の同姓部落
旗田巍 歴史學研究 4—6 昭10蒙古村落瞥見
片倉藤太郎 社會經濟史學 4—8 昭9

索倫縣ブリヤート族に於ける結合性を遊牧蒙古人の集團的紐帶への考察として

森三郎 蒙古研究 1—4 昭12

邊境農村の發生的考査

橋樑 滿蒙 7—9 大15

南滿の村落構成

石田精一 滿鐵調査月報 昭16, 9

農村階級構成の變遷に關する一試論

平野蒼・興農 2—1 昭16

滿洲農村に於ける部落結合の要素

鈴木小兵衛 滿洲評論 16—20, 23 昭14

間島に於ける集團部落

森三郎 滿蒙 19—7 昭1

滿洲の都市と其の景相

小田内通敏 東洋 31—4, 5, 6 昭9

貸りかゝつた町の一特相

田口稔 東亞 2—3 昭4

滿洲農村の一描寫

牧健二 歴史と地理 33—1 昭9

吉林附近ノ聚落ニ住居セル滿洲旗人及ビ漢民族ニ就テ

傳士俊 烏拉 2 昭13

通遼の祭禮聚落に就て

増川忠雄 滿鐵教育たより 37 昭12

關東州境地帯の社會事情

中村泰晃 滿鐵 12—11 昭7

舊滿洲に於ける鄉村統治の形態

山本義三 滿鐵調査月報 21—22 昭15

會 館

蓋平の會館新考

富商行雄 書香 82 昭11

奉天に於ける會館に就て

枝村榮 滿鐵調査月報 13—19 昭8

奉天錢業公會に就いて

南平正治 滿鐵調査月報 14—1 昭9

匪 賊

滿洲國の治安と匪賊の由來

稻葉岩吉 東亞經濟研究 20—3 昭11

滿洲に於ける馬匪と匪賊

平貞藏 東亞 昭8,7

滿洲社會と匪賊

岩崎繼生 ドルメン 3,5 昭9

滿洲の馬匪とその組織

田中正 滿蒙 15—2 昭8

滿洲馬匪と匪賊

金丸精成 滿蒙 14—1 昭8

東三省に於ける馬賊

長白樵人 滿蒙 9—2,3,4 昭8

滿洲の匪賊と不換紙幣

森修 ドルメン 2—5 昭9

社 會 政 策

金朝に於ける改俗令の發布について

三上次男 歴史學雜誌 3—7 昭16

金朝漢人の改俗問題について

三上次男 東亞學 7 昭19

遼の徙民政策に就いての一私見

島田正郎 史學雜誌 53—2 昭17

金の窮民保護政策

島田喜一 東亞研究 1—7,8 大1

慣 習

支那に契約類集

憲真 滿鐵調査月報 13—5 昭15

全滿物權舊慣

本多義雄著 地友會雜誌 1—6 昭11

滿洲に於ける特殊慣行に就て

天海謙三郎 法律時報 11—6 昭10
(榜青、關價、之佃權慣習)

舊黑龍江省に於ける物權の習慣

・地籍整理局 地友會雜誌 2—2 昭12

關東州に於ける家産相續の慣習について

天海謙三郎 地友會雜誌 2—2 昭14

營口縣に於ける土地親族相續慣行調査

山崎晃 宇野全書 地友會雜誌 3—6 昭13

滿洲における押和錢慣行

清水金二郎 東亞人文學報 1

遼陽縣に於ける民事慣習

齋村滿雄 法曹雜誌 5—5,6,7,12 昭13

吉林省に於ける特殊物權に関する舊慣習

滿鐵調査月報 13—12 昭10

吉林土地舊慣

歐亞街 地友會雜誌 1-2,3 昭11,12

同族間に於ける不立賣契の慣習

天海藤三郎 滿鐵調査月報 18-6 昭12

東部内蒙古地帯に於ける家畜預託の慣行に就て

大渡政能 滿鐵調査月報 21

阿魯科爾泌旗のスルグ慣行(預託家畜之慣習)

村岡重久 蒙古研究 2 昭14

蒙古に於ける財産相続の慣習

山平守 遼東の珠 昭19

ツングース族の土地所有關係

柴三九男 歴史學研究 7-2 昭19

ツングース族慣習法

ウエクヤアノフスキ 書香 15-11,12 昭18

索倫旗内ブリヤート民族の社會慣習に就て

松山一男 蒙古研究 2-2 昭15

遊牧地に於ける諸慣行

井平俊太郎 蒙古研究 2-1 昭15

小份錢

村岡重夫 滿洲民族學會會報 1 昭18

蒙古に於ける牧畜慣行

山根順太郎 滿洲民族學會會報 2 昭18

民 族

自然人類學

東亞に於ける人種學上の諸論文

鳥居龍藏 世界 62 明42

滿洲國人阿片中毒患者の體質人類學的研究

眞岡龜四郎等 人類學雜誌 52-11,12 昭12

奉天支那人頭蓋骨の研究

難波光重 吉見恒雄 人類學雜誌 52-1

撫順郊外にて得たる頭蓋骨の人類學的研究

島五郎 人類學雜誌 48-8 昭8

ツングース人男子全身骨幣の一例に就て

石澤命達 關政則 人類學雜誌46-1,5 昭6

滿洲族人の體質の人類學的研究

鈴木誠 平野伍吉 人類學雜誌 昭17,6

蒙古族及び通古斯族の體質人類學的研究

今川豊、島五郎 人類學雜誌 53-4 昭13

滿蒙人(蒙古族通古斯族)指紋の研究

佐藤武雄、牧野久吉 人類學雜誌51-11 昭11

旅順牧羊城屯牧羊城址東方丘陵より出土せし鐵庖丁を伴出せる人類大腿骨に就て

關政則 人類學雜誌46-11 昭6

民族史論

東洋に於ける民族の形成
中山耕太郎 歴史科學 1—1 昭9

北方民族とその史的方面 並に文化形態
齋淵一 史學研究 19—2 昭14

支那北方民族の文化形態と史的方面
齋淵一 アジア文化 昭14

北方民族と支那民族
秋眞實造 世界文化史大系 宋元時代

支那の北部に據つた古民族の種類に就いて
白鳥庫吉 史學雜誌 11—1 明32

滿洲民族
三上次男 アジア問題講座 8 昭14

滿洲國の地域に興亡せる民族の種類に就いて
白鳥庫吉 東方學報東京 6 昭11

滿蒙民族の史的考察
有高嶽 邊疆支那 昭9—9

東胡民族考
白鳥庫吉 史學雜誌 21—4, 7, 9, 22—1, 5, 11, 12 43, 44, 23—2, 3, 1, 11, 12 24, 45 大2

滿洲各民族の消長
水野梅曉 支那 昭17, 9

滿蒙民の今昔
中川四郎 東亞經濟研究 17—1 昭8

滿洲民族の所謂「還元性」とその發展に就いて

小川裕人 滿蒙史論叢 2 昭14

滿洲最古の文化民族
八木獎三郎 調査時報 3—11, 4—1, 2 昭42

滿洲の古人種
清野源次 ドルメン 2—1 昭5

渤海灣を周る古代民族
八木獎三郎 滿蒙 9—6, 7, 8, 10 昭3

文献上より測り觀たる 南滿洲最古の住民
鳥居龍藏 人類學雜誌 37—1 昭5

滿洲民族に關する兩方面の觀察
稻葉岩吉 東亞經濟研究 14—2 昭5

有史以前の滿洲民族
鳥居龍藏 中央公論 24—7 明42

北滿古今の諸民族
八木獎三郎 滿蒙 9—8, 9 昭3

滿洲民族の過去
白鳥庫吉 東洋時報 132 明42

滿洲民族の興亡
山下梅溪 尙古 52 大2

人種學より見たる皇清職貢圖
鳥居龍藏 歴史と地理 13—4 大14

近代東部滿洲民族考¹
島田好 滿洲學報 5

新羅東北境に於ける黑水 靺鞨 達姑等の諸族に就いて
三上次男 史學雜誌 56—7 昭14

北樺太及黒龍江下流の民族について

鳥居龍藏 人文學雜誌 37—4 大11

我國の舊籍に表れたる黒龍江下流域の民族

島田好 香 104 昭13

支那の記載に現はれたる黒龍江下流域の土人

和田清 東亞學 1 昭14

支那の記載に表はれたる黒龍江下流域の土人

和田清 史學雜誌 48—7

唐時代の樺太島に就いて

白鳥庫吉 歴—地理 9—5,6 1—2,3,4 明40,41

ツングース民族研究の結論

シュミット(翻譯) 史學雜誌 21—3 明43

現今の滿蒙民族

鳥居龍藏 滿蒙の探査 昭7

滿蒙の二民族に就て

鳥居龍藏 東洋 7 大11

二十五年前の蒙古と今日の蒙古

鳥居龍藏 滿蒙を再び探る 昭7

各 民 族

靺鞨人考

那珂通世 那珂通世遺稿 大4

肅慎考

白鳥庫吉 歴史地理 17—1 明44

肅慎考

池内宏 滿鮮地理歴史研究報告 13 昭7

夫餘考

池内宏 滿鮮地理歴史研究報告 13 大5

達盧古考

津田左右吉 滿鮮地理歴史研究報告 2 大4

勿吉考

津田左右吉 滿鮮地理研究報告 1 大4

勿吉考

池内宏 滿鮮地理歴史研究報告 15 昭12

室韋考

津田左右吉 滿鮮地理歴史研究報告 1 大4

室韋考

白鳥庫吉 史學雜誌 20—2,4,5,8, 大8

室韋と呼倫貝爾と主として遼史を中心として

増田章 蒙古研究 昭14

所謂渤海靺鞨に就て

小川裕人 史林

魏初に於ける契丹物吉聞の諸部族に就て

小川裕人 史林

古代滿洲に於ける挾婁族の分布

寺岡康 滿洲行政 5—2 昭13

挾婁傳之研究

水島鏡太郎 史觀 20 昭14

靺鞨考

池内宏 滿鮮地理歴史研究報告 3 大5

鐵利の住地に就いて

小川裕人 史林 1—2

高句麗五族五部考

今西龍 史林 1—3 大10

高句麗の五族及五部

池内宏 東洋學報 10—1 大15

契丹開國傳説の成立と八部組織

秋眞實造 東洋史研究 1—2 昭11

五代の世に於ける契丹

松本 滿鮮地理歴史研究報告 大5

遼代烏古敵烈考

津田左右吉 滿鮮地理歴史研究報告 2 昭5

奚 鬻 白鬻民族考

島田好 滿洲學報 4 昭11

遼代に於ける奚に就て
島田正郎 北亞細亞學報 3 昭20

汪古部族考
櫻井益雄 東方學報 東京 6 昭11

汪古部の解釋
小野川秀美 東洋史研究 2-4 昭12

生女眞勃興過程に關する考察
小川裕人 滿蒙論叢 1 昭13

韃靼考
箭内互 滿鮮地理歴史研究報告 5 大7

オランカイ及び刀伊の名義に就いて
白鳥庫吉 歴史地理 11-1 明14

三十部女眞に就いて
小川裕人 東洋學報 24-1 昭12

東韃紀行の山丹に就いて
池内博士 還曆記念 東洋史論叢 昭15

滿洲人の今昔
服部宇之吉 支那研究 大15

ゴルド族の名稱分類に於けるゴルド族の位置および彼等の起源
イロハチン 支那 15-1 昭18

ゴルドの民族名について
島田好 支那 17-1 昭18

民族調査實態

滿洲調査復命書
島居龍藏 史學雜誌 17-234 明30

滿洲に於ける人類學的觀察談
島居龍藏 人類學雜誌 237, 238

在滿諸民族の民族性格の研究 第一報告
矢信三郎 延慶大學研究院報 4 昭17

シラムレン及興安地方旅行談
島居龍藏 地學雜誌 33-245 明42

北滿東部シベリヤ調査略報
島居龍藏 黑龍江と北樺太 昭18

黑龍江とその調査
島居龍藏 黑龍江と北樺太 18

北樺太及黑龍江下流の民族
島居龍藏 黑龍江と北樺太 昭18

東部蒙古旅行記
島居まみ子 東京人類學雜誌 明42-4

續東部蒙古旅行記
島居まみ子 東京人類學雜誌 27-5明44

蒙古日記
島居まみ子 世界 102, 103, 104 大1

大興安嶺東南部オロチオン族踏査報告
泉靖一 民族學研究 3-1 昭12

大興安嶺東北部オロチオン族踏査報告
秋葉隆 京城帝國大學創立十週年紀念論文集哲學部 昭11

興安北省内に於けるオロチオン民族概況
滿鐵調査月報 14-7 昭9

トケブ吉岡君オロチオン踏査記
——オロチオン民俗斷片——
秋葉隆 滿蒙 17-7, 9 昭1

大興安嶺にオロチオン族を訪ねて
米内由庸夫 善隣協會調査月報 15-7昭11

興安東省内に於ける鄂倫春民族の分布及生活並に風俗習慣
滿鐵調査月報 15-7 昭10

鄂倫春人に接して
堀内竹太郎 滿蒙 1—21 昭4

赫哲族踏査報告
堀内五十雄 正木正 人類學雜誌 37—9 昭17

赫哲族踏査報告
赤松智城 泉清一 民族學研究 3—3 昭15

北滿のツングース族
小山榮三 ドルメン 2—4 昭3

滿洲旗人の部落を訪ねて
高原恒治 滿鐵調査月報

黒龍江ウルミ及ツングースカ居住
ゴルドに就て
アルベルトリブスキ 人類學雜誌 37—9 大12

興安嶺に於けるヤクート民族概況
滿鐵調査月報 14—9 昭9

大興安嶺北部の所謂ヤクート族
服部四郎 民族學研究 3—2 昭14

ヤクート族を訪ねて
毛利松平 民族學研究 4—2 昭13

ゴルド族に關する調査及研究の小
史
イアコバチン 書香 18—4 昭18

シベリヤの滿洲族
エスパトカノフ 書香 15—4 昭18

西部ツングース族について
アエフアニシモフ 書香 16—2 昭19

蒙古人の地方型及びこれと接觸せ
る達呼爾並びに索倫人
今村豊鈴木誠 平野伍吉 人類學雜誌 37—4 昭15

草原民族(呼倫貝爾蒙古人)
米内原康夫 蒙古風俗誌 昭19

オロツユ族
鳥居龍藏 明治聖徳學會紀要 大1

滿洲國興安西省蒙古人に於ける定
住と文化の變遷
ワルダハイシセ 民族學研究 8—1 昭17

バルガ蒙古人の風韻
三上孝男 日本評論 11—7 昭11

西比利亞に於けるブリヤド人の居
住と其土俗
鈴江萬太郎 人類學雜誌 27—10 大11

ブリヤド蒙古史の諸問題
善隣協會調査月報 61 昭19

サマギル族に就いて
エヌ・ゲ・カルゲル 書香 11—12 昭19

滿洲國內蒙古地帯に於ける民族分
布に就いて
日根順太郎 蒙古研究 2—3 昭15

バルガ即ち呼倫貝爾に於ける諸種
族の分布及び産業
西山榮久 地理教育 1—15, 11—1, 昭14

滿洲の村落にあらはれた民族的交
渉
小田内通敏 史評 28—5 大14

黒龍江を下つた二人の佛蘭西羅馬
カトリック僧の話
衛藤利夫 到達筆記 昭13

松花江下游的赫哲族の凌訛評評
江上波夫 人類學雜誌 3—1 昭14

風俗 民俗學

滿洲土俗見聞録片
辻忠治 滿蒙 13—9 明7

滿洲土俗學の概念
八木装三郎 東亞 6—11 昭8

北支アジャその文身圖
三上次男 ひのもと 6—5 昭18

契丹と中央亞細亞との服飾の類似に就て
鳥居龍藏 中央亞細亞 2—1 昭18

金初に於ける女眞の生活狀態
鹿野嘉一 小田先生頌壽紀念朝鮮論集 昭9

東陵民間録
廣松健太郎 滿洲民族學會會報 2—1 昭17

滿蒙の風俗と生活
鳥居龍藏 滿蒙を再び探る 昭7

熱河の土俗
佟臣 滿蒙民族學會會報 2—3 昭19

南滿民俗採訪の旅
秋葉隆 滿蒙 18—4 昭12

滿韓風俗の梗概
浦尾惟正 名家談叢 49—2 明20

遼陵壁畫を通じて見たる契丹生活の一面
田村實造 東林 27—1 昭17

三河地方の露入生活様式
如法千久郎 滿蒙 昭9

興安東省内に於ける鄂倫春民族の分布及生活並に風俗習慣

滿鐵調査月報 15—7 昭16

ハルビンに於けるトルコ民族の生活
大久保幸次 東洋 27—12 大14

達呼爾を中心として見たる蒙古風俗誌 2
練克巴圖爾 蒙古研究 1,2 昭14

滿洲の結髮
伊藤頼三 亞東 6—7,8 昭14

皮筏と皮船附金・上京遺址考 補訂
伊田治郎 滿洲 19—7

包内の佛壇と鄂博
澤島英太郎 滿洲建築雜誌 23—4 昭18

支那住宅に關する迷信
伊藤清造 滿蒙 11—8 大15

契丹人の衣食住
松井等 滿鮮地理歴史研究報告 9 大19

亞細亞北族の髮に就いて
大白島庫吉 三雜誌 27—1,3,4 大19

滿 名産味覺くきじ羊すつほん
嘉 旅行滿洲 昭12

新 兩虎の結婚儀式に就いて
立川正吾 滿洲民族學會會報 1 昭18

結婚と生産・誕生
小野野生 滿蒙 滿洲の土俗 15—1 昭9

支那人滿洲國人の葬式
早川正雄 滿蒙 21—12 昭15

關東州に於ける墓地舊慣
中村廣喜 滿蒙 24—8 昭18

俚諺より觀たる滿支民族の社會相
高瀧義 滿蒙 21—5 昭15

滿支俚諺の社會的觀察
森次勳 滿洲評論 15—1 昭13

滿洲の天氣俚諺
村越信夫 滿蒙 8—50 昭2

滿洲街看板のぞ記
月刊滿洲 昭1—9

南北滿洲の招牌
伊藤順三 亞東 昭4—7

滿蒙に於ける支那人向商品と意見との關係
滿蒙 4—2 大15

滿洲人の好むポスター
滿蒙 昭9—1

看板に就て
石鼎生 滿蒙 15—1—滿洲の土俗—昭9

北滿の招牌南滿の招牌滿洲の招牌
伊藤順三 亞東 0—5, 0, 7—1 昭1, 5

滿洲の楯矢に就いて
中由久四郎 北村博士古稀記念東洋史論叢 昭8

北東アジアに於ける楯矢使用の慣習に就いて
三上次男 民俗學研究新 1—3 昭18

遼代の奇獸と貍狸に就いて
島田正郎 蒙古 9—1 昭17

文化史上の虎
紫蘇真一郎 滿蒙 213 昭13

度量衡の制度と慣習
藤下田文吉 滿蒙(滿洲の土俗) 1—1 昭9

東北亞細亞に於ける無言貿易に就て
鳥居龍藏 人類學雜誌 32—8 大5

滿洲阿片考
勒仲平 滿蒙 22—2 昭16

清朝の文獻より觀たる蒙古人の相撲布庫に就いて
天海謙三郎 滿蒙 24—3 昭18

歲時記

年中行事
石鼎生 滿蒙 15—1—滿洲の土俗—昭9

滿洲農家の年中行事
農業の滿洲 昭14, 1

滿洲及華北の行事と風俗
經濟 2, 2 康5

滿洲の歲の市
辻 滿蒙 10, 1 昭10

滿洲及華北の越年風俗
蔡奇泉 經濟 2—1 康5

滿洲の年中行事とそれに因いだ食物
廣木とわ子 滿蒙 10—3 昭10

鮮滿の正月民俗を語る座談會
吳晴等 朝鮮 272 昭13

傳 說

東北亞細亞諸國開闢傳説
內藤虎次郎 民俗と歴史 1—4 大8

滿洲の古話
岡本精一 歴史地理 7—1 昭8

民間傳承と滿洲
 守國一 北窓 1—3 昭14

滿鮮諸族の始祖神話に就いて
 三品 英 史林 26—4, 27—1 昭17

西伯利亞白鳥傳説の一特徴に就いて
 孫晉泰 民族 2—1 大15

遼金民族の古傳と文化
 木柴三郎 滿蒙 16—9

夫餘系説話の展開——清太祖の感生説——
 稻葉岩吉 民族 2—3 昭4

夫餘國の始祖東明王の傳説に就いて
 島島庫吉 服部博士古稀祝賀記念論文集

金室完顔氏の始祖説話について
 三上次男 史學雜誌 52—10 昭16

完顔氏の三祖傳説に就いて
 田坂興道 歴史學研究 8—6 昭15

女真種族の同祖傳説
 内藤虎次郎 民族と歴史 6—1 大15

清朝開國説話の歴史的考察
 稻葉岩吉 青丘學藝 56 昭6

清の始祖と傳説
 小林胖生 滿蒙 12—1 昭6

清朝發祥地傳説
 田邊賴三 滿蒙 7—1 大15

遼西に於ける唐の太宗東征に關する傳説
 三浦浩 滿蒙 20—9 昭14

滿洲神話とその展開
 稻葉岩吉 滿蒙 19—11 昭19

遙箏氏傳説成立に關する史的考察
 小川裕人 滿蒙史論叢 3 昭15

望小山傳説と自然崇拜
 桃弧生 亞東 7—8 昭5

望小山への疑問
 奥村義信 亞東 7—8 昭5

望小山傳説の再説
 林胖生 亞東 7—10, 11 昭5

三度び「望小山傳説と自然崇拜」に就いて
 小林胖生 亞東 8—6, 7 昭6

北方ワシグース(エグゼンキ)の國
 誦傳承
 ア、エフ、エシー、フ 書香 140 昭16

ゴキド民話
 イ、ロ、バーテン 書香 14—6 昭18

蝙蝠に關する蒙古の若干の傳説
 荻尾長一郎 滿洲民族學會會報 2—3 昭19

オロチヨン族の歌謠と説話
 丸山和雄 滿洲民族學會會報 2—1 昭19

滿洲の河川と傳説
 山本守 遼東の珠 昭19

俄情形と寬永王傳説
 山本守 遼東の珠 昭19

- 薩滿の祭儀に就て
小林群生 滿蒙 13—5 昭7
- 蒙古薩滿の行事
赤松智城 京城帝大創始十周年記念論文集
哲學部 昭11
- 薩滿の祭儀に就て
小林群生 滿蒙 13—5 昭7
- 薩滿の巫祭と大仙の巫術
秋葉隆 民族學研究 1—2,3 昭10
- ニオフル氏祭天の際に唱ふる詞 試
譯
矢島直一 滿洲民族學會會報 2 昭18
- 薩滿教の神歌
山本守 滿蒙 13—4 昭12
- 滿洲薩滿教の家祭
秋葉隆 宗教研究新 11—7 昭9
- 滿洲旗人の家祭
赤松智城 民族學研究 1—2 昭11

魂

巫

- 滿蒙巫史
村田治郎 滿蒙 15—11,12 昭9
- 北方民族の間に於ける巫に就て
羽田亨 藝文 7—3 大5
- 達斡爾族巫考海拉爾群を主對象と
して
大間知篤三 建國大學研究月報 41昭19
- 滿洲女巫物語
木谷鳩日樓 滿蒙 15—12 昭9
- ダウル巫の正月
大間知篤三 北方園 2 昭23

祭 具

- 堂子(清宮室シヤマニズム其の一)
村田治郎 滿蒙 16—1 昭19
- 清寧宮と坤寧宮(清宮室シヤマニ
ズム其の二)
村田治郎 滿蒙 16—2 昭19
- 清寧宮の祭器(清宮室シヤマニ
ズム其の三)
村田治郎 滿蒙 16—3 昭19
- 滿洲に於けるシヤマーンの大鼓に
就いて
瀧堂一 人類學雜誌 54—3 昭14
- 滿鮮に於ける竿木崇拜
白鳥庫吉 史學雜誌 47—1 昭11

民俗藝術

- 滿洲游藝集
羽皇生 滿蒙 13—1 昭8
- オ●チヨン族の歌謡と説話
丸山照雄 滿洲民族學會會報 2—1 昭19
- 舞踊の滿蒙
小寺融吉 アジア問題講座 9 昭11
- 滿洲の郷土玩具
旅行滿洲 昭10—5
- 滿洲郷土玩具素描
須知善一 滿蒙 14—3 昭9
- 滿洲土産關東三寶
米良晃 旅行滿洲 17—5 昭12
- 滿洲の玩具
伊藤頌三 滿蒙 15—1 昭9
- 滿洲郷土玩具素描
須知善一 滿蒙 15—1 昭9

滿洲の玩具

伊藤順三 亞東 6—9, 10, 11, 12 昭4

●熱河の絨氈

箭井新作 滿洲民族學會會報 昭18

オロチヨン民具解説——大興安嶺

東北部オロチヨン族踏査報告三

秋葉陸 民族學研究 3—1 昭12

滿洲の燈籠

伊藤順三 亞東 7—4, 5 昭5

滿洲の影繪

伊藤順三 亞東 8—216 昭5

滿洲の馬裝

伊藤順三 亞東 8—5, 6 昭5

滿洲の團扇

伊藤順三 亞東 8—7, 8 昭6

東北研究論文篇目索引

日之部

篇名	頁數	篇名	頁數
一劃		三河地方……………	50
一九三四年に於けるバルカ探險記	51	三河地方經濟概況……………	71
一昔マへのハルビン印象……………	7	三河地方の露天生活様式……………	94
1882年—1895年に於ける牛莊海關報告……………	85	三たび(望小山傳説と自然崇拜)に就いて……………	40
二劃		三國干涉前後の獨逸極東政策……………	38
九連城の古名に就いて……………	15	三國干涉から露國の旅大租借迄……………	37
二十五年前の蒙古と今日の蒙古……………	96	三國干涉と支那の外國援助要求……………	38
二道河子舊老城時代の滿洲族社會……………	86	三國文化考……………	5
二つの歐文滿洲文獻……………	3	三國史記高句麗紀の批判……………	3
人口問題より見たる滿蒙の農業移民……………	52	三國時代の滿洲……………	5
人種學より見たる皇清職貢圖……………	90	三萬衛につきての考……………	55
八面城の探查……………	50	三たび秦邊紀略に就て……………	3
八旗滿洲上ルの研究……………	56	上都副史臺に就いて……………	54
十九世紀末の露支紛争……………	73	丸都及國內城考……………	11
又羅津港及軟岡鐵路並その沿線の經濟地理につきて……………	70	丸都城及國內城の位置につきて……………	27
三劃		丸都城及國內城の位置に就いて……………	11
三十五年前の滿洲に於ける人類學と考古學……………	16	丸都城及び國內城の新解釋……………	11
三十部女眞に就いて……………	12	兀良哈三衛名稱考……………	13
三百來年の滿洲研究……………	4	兀良哈三衛の本據につきて……………	13
三百年前滿洲に來た日本人の語……………	51	兀良哈三衛に關する研究……………	13
三百年前の奉天附近の大會戰……………	10	兀良哈族の同姓部落……………	87
三姓雜記土城並に滿文檔案の調査報告……………	49	千九百年頃の遼河……………	53
		千三百年前の我國防と新城……………	37
		土壤より見たるアルカリ地帯概要……………	78
		大石橋附近に於ける洞窟堆積物に就いて……………	20
		大金國志に見ゆる愛王の亂に就	

いて.....7

大金得勝陀頌碑の研究.....33

大金の得勝陀頌碑に就て.....33

大泉眼部客詞査報告.....79

大連地名考.....14

大連海關の法的地位.....84

大連埠頭營儲華工の生活調査.....52

大連會議.....40

大連會議と東支鐵道.....40

大連圖書館所藏稀觀書解題.....1

大連海邊水の觀察.....45

大連を中心として見た滿洲出稼
苦力概見.....52

大陸政策の先覺者後藤新平伯を
語る.....76

大縣都司の内能につきて.....9

大興.....20

大興安嶺北部の所謂ヤクト族.....98

大興安嶺東北部オロチヨン族踏
査報告.....92

大興安嶺東南部オロチヨン踏査
報告.....92

大興安嶺を行く(鄂春族).....50

大興安嶺にオロチヨン族を訪ね
て.....92

大遼大權根陵郡郡夫人建靜安
寺碑.....31

大營屯城址(漢及漢代前の遺蹟).....25

女真人發展と金初の官制.....55

女真人の發展と金初の官制.....55

女真文字與屯良弼跋飲碑.....33

女真字編印.....33

女真圖書碑考釋.....33

女真族衰亡後に於ける滿洲.....7

女真種族の同源傳説.....46

女真語研究の新資料.....60

女真語の新研究.....60

女真部來文通解.....60

女真の古鏡に就て.....33

女真の遺蹟を探索.....74

小份錢.....89

小村ローレン協約の内容.....39

山中聞見錄校記.....3

山丹交易に關する考察.....84

山東省より滿洲への移民.....6

山城踏破行(照像).....17

山頂の高度と起伏量との關係並
之より見たる山地の刷新度に就
いて.....21

四 訓

不韋條約と滿蒙國術權.....30

中部滿洲に於ける農民分化.....78

中部滿洲に於ける漢人聚落の發
展.....47

中華民國及滿洲國領域圖製作過
程に就て.....31

中滿地方に於ける水田經營の收
支.....38

予が見たる奉天城.....47

五十餘里貿易地帯の撤廢.....84

五月の廟祭.....58

五代時代に於ける契丹と支那と
の海上貿易東丹國內に於ける渤海
遺民の海上活動.....84

五代の世に於ける契丹.....91

五體清文鑑.....61

今同昭和年の滿蒙調査で得た考 29

元代の東蒙古…………… 8

元代の地名開元の沿革…………… 13

元代の開元路に就いて…………… 13

元明時代の滿洲交通路…………… 13

元・明、清帝系の没落…………… 8

元、高麗關係の一勳一藩王に就いて…………… 36

元張百戶墓碑考…………… 34

元の開元路退毀台鈔印の出土就いて…………… 34

内蒙古及奉天附近の砂丘…………… 41

内蒙古の賦産…………… 82

内閣文庫本東鞑地方紀行と館本東鞑紀行…………… 59

内鮮より見たる滿洲の歴史…………… 2

公田に於ける權利慣行…………… 72

公孫氏の帶方郡設置と曹魏の樂浪帶方二郡…………… 11

勿吉考…………… 91

勿吉考…………… 91

天命建元の年次に就いて…………… 9

天命建元の年次に就いて…………… 10

天津北疆博物館に代表され(翻譯)し新石器時代の遺跡…………… 19

天を祭る建築…………… 64

太清宮志…………… 57

太陽を拜む…………… 59

夫餘考…………… 91

夫餘系説話の展開——清太祖の感生説——…………… 96

夫餘國の始祖東明王の傳説に就いて…………… 96

屯田制度に就て…………… 76

支那人滿洲國人の葬式…………… 94

支那人の滿洲移住…………… 78

支那人の滿洲移住に就て…………… 78

支那及び滿洲朝鮮と日本との關係…………… 36

支那文献現れた白頭山…………… 49

支那北方民族の文化形態と史的方向…………… 90

支那古代の長城に就いて…………… 24

支那地方行政制度の研究…………… 55

支那住宅に關する迷信…………… 94

支那兵制史概説…………… 51

支那側露西亞側史料より見たる清季外交史上の二三の事實について…………… 37

支那滿洲學者ザハロフ…………… 15

支那滿蒙關係目錄の目錄…………… 1

支那に於ける契約類集…………… 74

支那に於ける露人の事業…………… 40

支那に契約類集…………… 88

支那の北部に據つた古民族の種類に就いて…………… 90

支那の制度より見たる蒙古…………… 57

支那の城廓と長城に就いて…………… 25

支那の帝陵(北陵)…………… 65

支那の記載に現はれたる黑龍江下流域の土人…………… 91

支那の記載に表はれたる黑龍江下流域の土人…………… 91

文化史上の虎…………… 95

文溯閣四庫全書に就て…………… 2

文献上より見たる清朝時代より

民國時代に在る蒙地に對する各種取締令と禁令……………73

文献上より溯り觀たる南滿洲最古の住民……………90

文献に現れたる萬里長城……………25

日本内地朝鮮滿洲及支那滿洲に於ける石炭……………82

日本建築と滿洲的建築……………63

日本朝廷と渤海國との交渉に就て所見を述ぶ……………36

日本渤海史實芻叢考……………36

日本に遺存せる遼文學と其の影響……………62

日清戰爭後の露佛獨三國干涉の真相所謂カシニ密約及び露國の真相に就て……………37

日渤交通史より見たる福浦港……………84

日渤交歡佳話……………36

日渤官制の比較……………54

日滿交通略説……………26

日滿蘇衝突事件解決の共同コンミュニケ……………41

日滿露交渉史研究年表並に文獻……………37

日滿ノ三國國境地誌……………47

日鮮支三國交通略志……………36

日鮮滿史前前末期の幕制について……………19

日露交渉頗末批評……………39

日露交渉に關する往復文書を読む……………39

日露問題の焦點……………39

日露開戦……………39

日露開戦と米國の地位……………38

日露開戦と佛國の地位……………38

日露開戦と英國の地位……………38

日露開戦と露國社會狀況……………39

日露新協約と清國の民黨……………38

日露戰爭の意義……………39

日露戰爭と國祭法……………39

日露戰爭と明治三十七年の歐洲外交界……………39

日露戰前滿洲踏破三大旅行……………51

木乃伊ものがたり……………14

毛皮より見たる古代日滿兩國の親善……………36

牛柔の組織……………36

牛莊常關……………84

牛莊に於ける聖パンスの死……………38

王爺朝經濟概況……………71

五 劃

世界的商品としての滿洲大豆……………71

世界的なる滿洲の油房業……………81

世軍沒里に就いての疑……………15

回回語譯語語釋(解題之項)……………60

回教寺院(スダツチ)……………67

包内の佛壇と鄂博……………94

包居住民族とその移動分布……………74

北支滿鮮旅行談一採訪資料を中心として……………51

北支滿鮮の旅から……………16

北方民族の間に於ける巫に就て……………97

北方民族の先史學的魅惑……………18

北方民族と支那民族……………30

北方民族とその史的方面並に文化形態……………30

北方ツングース(エウエンキ)……………

の國語傳承……………	56	北滿洲平野の瞥見……………	70
北方ツングウス族のトテム制に ついて……………	59	北滿洲東部の督察……………	46
北安鎮經濟事情……………	70	北滿洲沿烏蘇里地方概況……………	71
北宋の對契丹防備と其の利用……………	7	北滿洲發達史……………	50
北宋の對契丹防備と茶の利用……………	36	北滿洲經濟發達小史……………	69
北京冀東熱河二週間日記……………	57	北滿洲と露支關係……………	38
北東亞細亞民族の宗教思想……………	58	北滿洲に於ける土地配分……………	72
北東アジアその文身國……………	34	北滿洲の毛皮取引……………	84
北東アジアに於ける毒矢使用の 慣習に就いて……………	95	北滿洲の交通産業……………	53
北青城串山城女真字摩崖考釋……………	33	北滿洲の砂金礦業に就いて……………	81
北部アジアの言語研究……………	60	北滿洲の氣象と豊凶……………	43
北陵見物記……………	65	北滿洲の農林……………	71
北陵を訪ふ人の爲めに……………	65	北滿洲の露國關係……………	58
北朝鮮及間島旅行談……………	51	北滿海拉爾附近石器時代墳墓發 見遺物……………	51
北道を突く圖寧新線……………	70	滿經濟の概観……………	70
北寧沿線に於ける高粱栽培……………	81	北滿農村勞働事情……………	80
北滿三河地方に於ける白系露人 農家の生活……………	80	北滿農村に於ける負担重度……………	80
北滿中心論……………	70	北滿農村に於ける家族共同體の 形成と解體……………	87
北滿及東滿に於ける對外貿易の 趨勢……………	84	北滿農村の實態……………	79
北滿古今の諸民族……………	90	北滿農家の收支……………	79
北滿史前文化相……………	18	北滿農家の負債並に貸借關係……………	83
北滿更新期動物古石器時代遺物 之觀察……………	18	北滿一農家の家族關係……………	87
北滿佳木斯附近の特別移民……………	46	北滿農業經營事例……………	79
北滿東部シベリヤ調査略報……………	92	北滿農業の特質……………	79
北滿東滿と基督教……………	58	北滿増産企畫地帯に於ける滿人 農家の營農形態の分析と其設定……………	79
北滿松花江沾附近發見の遺物……………	21	北滿鐵道敷設の經緯……………	53
北滿洲三角線の山景地域……………	50	北滿に於ける植民地經濟……………	77
北滿洲半圓形の近景地域……………	50	北滿に於ける土着資本の動向……………	83
		北滿に於ける大家族分家の一事 例……………	87

北滿に於ける小作關係の變遷と 現状	80
北滿に於ける外國勢力の消長	37
北滿に於ける民國の活動	40
北滿に於ける石油探索の思出	82
北滿に於ける河川交通	53
北滿に於ける赤露の政治的勢力	38
北滿に於ける農業	79
北滿に於ける漢人の分布と其の 將來	32
北滿に於ける漢人の分布と其の 將來	46
北滿ジャライノル遺蹟出土の新 資料	18
北滿の二大古都址（烏山喜一） 評東京城と白縣	29
北滿の人的地理的研究	70
北滿の水田事業	78
北滿の考古學者ルカシキン氏を 語○	17
北滿の商業地	84
北滿の招牌滿洲の招牌滿洲の招 牌	95
北滿の畑作と水田	78
北滿の開拓と漢民族	76
北滿の農業形態について	79
北滿の農業、農村、移民	79
北滿のツングウヌ族	93
北樺太及黑龍江下流の民族につ いて	91
北樺太及黑龍江下流の民族	92
北滿に於ける露國の舉動	38
北鎮廟元御香碑考	33

北鎮廟略記	65
北鎮廟の建築	65
北鎮縣崇興寺の雙塔	66
北鎮縣の古蹟	48
北鎮と醫巫閭山	48
北鎮の雙塔について	66
北鉄西部線沿線商工事情	70
北アジアの原始宗教	58
古代日本建築と滿洲及朝鮮	63
古代滿洲に於ける挹婁族の分布	91
古代の滿洲	5
古瓦と古甌の研究	33
古建築細部輯	63
古城の探查（洮南）	30
古墳を通じて觀たる朝鮮古代文 化の交流	16
古蹟等調査並保存	17
古の滿洲	11
古の滿洲	9
史上より見たる滿洲帝國	11
史談三國干涉	38
四十年前の極東露領を語る	50
四半世前紀の北滿	50
四半世前紀の北滿	8
四平街油房業の過去及現在	81
四平街背後地事情	69
外蒙及西伯利亞發展の根據地と しての呼倫貝爾	50
奴兒干永寧寺二碑補考	34
奴兒干永寧寺碑女眞國書圖釋	34
奴兒干永寧寺碑補考	34
平南朝鮮龍岡郡石衆山のドルヌ ンに就いて	22

未開散地の社會經濟組織に就て	86
末期の山丹交易に就て	8
本邦滿洲語學史料斷片	61
本溪湖火連寨の回教寺	67
札賚諾爾炭礦の現状	32
正統九年の兀良哈征伐について	8
民族及び聚落處誌	46
民族資料として見た滿洲の神佛	58
民族と民家（滿洲の土俗）	67
民間信仰雜記（滿洲の土俗）	58
民間傳承と滿洲	96
永陵	65
玄菟郡の屬縣高顯の遺址	25
瓦（俗事瑣談）	63
甘珠爾廟並に同廟市に就いて	26
甘珠爾廟の概況	25
生女異物興過程に關する考察	95
申中一書啓及び附記	19
白江及び炭硯について	13
白色を讀へよ	59
白系露人に哈爾濱建設當時の秘 話をきく	50
白地址より金代刻銘の磚を發見	33
白鳥博士の滿洲蒙古踏査	17
白鳥博士の憶出	15
白頭山探險記	51
皮筏と皮船附金上京遺址考補訂	94
石碑嶺と鐵嶺	32
石器時代の土器と日鮮滿民族論	21
石器時代の東南蒙古	19
石獸（奉天昭陵）	65
六 劃	
伊通縣調查報告	69

先史時代の南滿洲	17
先史時代の撫順	50
全滿物權舊慣	74
全滿物權舊慣	88
再び北滿朝鮮發見の古鏡	23
再び羽田學士に答ふ（糺軍）	54
再び皇興全權圖について	53
再び旅順城の位置に就て	14
再び秦邊紀略に就て	3
再び高句麗時代の古墳について	2
再び清の太宗の即位事情にう て	9
再び蒙地問題について	74
再び遼金時代の糺軍就に就いて を讀む	54
再び遼金時代の糺軍に就いて	54
再び韃靼源流記に就て	21
列國の對滿資本輸出に就て	82
印寮考	59
各頁稿簿	15
吉林土地舊慣	74
吉林土地舊慣	89
吉林市宗教概況	58
吉林官邸の研究	85
吉林附近ノ聚落ニ住居セル滿洲 旗人及び漢民族ニ就テ	37
吉林省三姓勃利地方經濟事情	69
吉林省永吉縣の保甲行政組織と その運營狀態	76
吉林省各縣事情	69
吉林省舒蘭炭田及び奉天省撫順 炭田化石植物調査報告	43
吉林省寧安縣附近三靈屯の石器	

時代遺跡	20
吉林省穆稜炭礦	89
吉林省願郷屯産化石胡桃	18
吉林省に於ける木炭	72
吉林省に於ける地券の解説	74
吉林省に於ける特殊物權に關する舊習慣	72
吉林省に於ける特殊物權に關する舊慣習	88
吉林省の産業	81
吉林省ベントナイト	51
吉林團山子の遺跡	20
吉林龍潭山遺蹟報告	20
吉林の回教寺	67
吉林の宗教建築	65
吉林の花瓦(鬼瓦)圖案について	68
吉林の船廠	49
吉敦沿線事情	70
吉敦鐵道沿線の經濟地理	70
吉敦鐵道と東滿問題	39
同江撫遠低地の利用に就いて	45
同族間に於ける不買賣契の慣習	89
在滿邦人の地理的分布	45
在滿諸民族の民族性格の研究第一回報告	92
在滿鮮人問題と民族争鬭	76
在滿鮮農の社會的諸條件	80
地制上より觀たの滿洲の開發	75
地理學者の滿洲風土記	46
多倫諾爾の喇嘛廟	57
好未王碑辛卯年について	58
安奉線南半沿線の地質	42

安東柞蠶雙絲業界の現況	72
安東省輯安縣城附近高勾麗の遺跡	26
安東省輯安縣高勾麗古墳調査消息	26
安東都護府考	5
安東都護府を中心として見たる唐の東方政策	6
安東鳳凰城の回教寺	67
安東縣に於ける丁抹ミツション	58
寺廟財產管理制度の研究	73
年中行事	95
早瀬を下りて(鴨綠江)	53
有史以前の滿洲民族	90
有肩石斧	24
池内宏著と通溝ト上	26
池内宏著滿洲國安東省輯安高勾麗遺蹟	26
池内梅原共著と通溝ト卷下	26
池内博士の「元代の地名開元の沿革」を讀む	13
池内學士の鮮初の東北境と女真との關係に就いて	13
池内學士の鮮初の東北境と女真との關係について	9
百草溝附近の林業	71
百襲刀と宿鐵刀	35
羊頭窪(旅順)見塚出土鳥獸骨について	19
老鐵山上の石塚に就いて	22
老鐵山附近の自然地理研究	44
老鐵山發見の遺物	19
老鐵山麓の石斧から關東廳博物	

館の創立まで	17
考古學上の滿洲	19
考古學上より見たる契丹の文化	29
考古學上より見たる熱河省の古文化について	19
考古學より見たる	24
西山靈光寺所見の遼代佛教台座について	62
西比利亞土民の神	59
西比利亞に於けるブリヤト人の居住地と其土俗	93
西安縣事情	61
西伯利亞白鳥傳説の一特徴に就いて	96
西部綏綏線紀行	50
西部ツングス族について	93
西翁牛特旗事情	71
「西游記」圖像を彫刻せる畫像石	32
西樓小記	12
西樓再記	12
西樓續記	12
西遼都城虎思斡兒朶考	12
七 劃	
余の遼聖宗征女直考と和田學士の定安國考とについて	12
佛教史料としての金刻藏經	2
初夏の復海城	34
初夏の獅子窩城子曠へ	20
吾妻鏡に見えたる女眞文學の性質について	60
吾都里族の部落構成	87
宋金貿易史上に於ける銅錢滿問題	82

宋金貿易に於ける茶鐵及絹について	84
宋對契丹の戰略地理	12
宋徽宗欽宗二帝の滿洲遷徙	8
宋と金國との貿易に就いて	84
宋と遼西夏との關係	36
完顏氏の三祖傳説に就いて	9
完顏世祖の崇天に就いて	59
完顏城址考	33
延吉郊外より發見せられたる石器及石棺	20
成吉思汗皇帝聖旨碑	33
成吉思汗城の發掘(海拉爾北小河子)	33
成吉思汗の古都發掘(國民教化新聞より)	33
成吉思汗の滿洲經略に關する二三の研究	8
我國に於ける滿洲近世史研究の動向	10
我國の舊籍に表れたる黑龍江下流域の民族	91
我が國史にあらはれたる渤海國	6
我が滿蒙權益と四國借款團	41
扶餘地方發見の古墳と水門	25
扶餘行	25
扶餘の舊都	25
李仙の神下ろし	58
李成梁と其の一族に就て	10
李朝寶釘に見える建州三衛	10
汪古部族考	92
汪古部の解釋	92
汪清縣狀況	70

沙鍋窰見物記……………	55	定期市を見る……………	85
私と熱河省の研究に就て……………	17	呼蘭地方の植民地的發達……………	75
紮軍に就ての疑……………	54	和龍縣土山子廟嶺金鑛調査報……………	72
豆滿江流域史……………	49	固有滿洲語研究史の一側面……………	61
豆滿江畔は李朝清朝の發祥地……………	14	奈曼旗に於ける土地に關する權	
豆による滿準親善及び豆の來歴		利の諸様相……………	71
故事……………	81	奉山沿線事情……………	69
赤峰四道井子(北)の遺蹟……………	21	奉天……………	48
赤峰先史時代の問題……………	21	奉天大内宮闕建築研究報告……………	64
赤峰金石期文化のふひて口……………	22	奉天分館藏遼陽馬氏四世墓誌考……………	35
赤峰附近發見の完形彩文土器……………	22	奉天天壇の歴史……………	64
赤峯青銅器の一二に就て……………	22	奉天支那人頭蓋骨の研究……………	89
赤峰紅山後……………	21	奉天文瀾閣……………	64
赤峰より東翁中特王府……………	51	奉天北部新開河附近の地理……………	44
邦人移民農家の農業經濟……………	79	奉天北陵小記……………	65
八 劃		奉天古典資料攷……………	2
專變前に於ける東北四省行政機		奉天史話……………	47
構……………	55	奉天市塔灣發見之古墳……………	24
亞細亞北族の辮髮に就いて……………	94	奉天(地理教材としての地形圖	
京圖沿線に於ける邦人自由農業)……………	48
移民……………	77	奉天考古日誌抄(長沼漢墳遼墳)	
京圖新線を衝く……………	70	……………	24
京圖線の全通と東北朝鮮の三港……………	70	奉天附近の地下水と聚落の發達……………	47
京圖鐵道全通後に於ける商品輸		奉天附屬地都市に發展景城……………	48
入經路の變化……………	70	奉天南巒境……………	2
依蘭地方の概況……………	71	奉天建築の奇觀(宮殿)……………	64
凭りかがつを町の一特相……………	87	奉天故宮前の「石經幢」年代考……………	2
呼倫貝爾地方の邦人自由移民農		奉天昭陵内明樓復原概要……………	64
業……………	77	奉天省稅制度……………	83
呼倫貝爾旅行談……………	54	奉天省鹽政の概況……………	84
呼倫貝爾蒙古政治史略……………	10	奉天省の土地制度と地稅制度……………	72
呼倫貝爾の史的考察……………	50	奉天省の土地制度と地稅制度……………	84
呼倫貝爾の豪華版甘珠爾廟祭と		奉天軍閥の勢力消長觀……………	11

奉天城……………	34	の難點……………	84
奉天城秘話……………	47	奉天に於ける回教の寺院……………	67
奉天宮殿内の大政殿と文溯閣……………	64	奉天に於ける專照單問題に就て……………	83
奉天宮殿金鑿殿の建築……………	64	奉天に於ける會館に就て……………	88
奉天宮殿建築史考……………	64	奉天に於ける滿洲國側金融機關……………	82
奉天宮殿建築概況……………	64	奉天に残れる清初の宮殿建築……………	64
奉天宮殿建築の研究……………	64	奉天の二日……………	51
奉天宮殿飛龍閣内の清太宗皇帝 鹿角椅子……………	64	奉天の天壇を探る……………	64
奉天宮殿書庫書目……………	2	奉天の文溯閣……………	64
奉天宮殿崇政殿同内殿寶座同殿 前石階、奉天宮殿大政殿……………	64	奉天の文溯閣……………	64
奉天商埠地に於ける土地權利に 就て……………	74	奉天の回教寺……………	67
奉天票問題……………	83	奉天の古墳發見（長沼漢墳遺墳） ……………	24
奉天票に就て……………	83	奉天の生んだ兩叢刊に就いて（東 北叢刊及奉天書院叢刊）……………	2
奉天訪書談……………	2	奉天の石經幢……………	32
奉天通志……………	3	奉天の東陵と北陵……………	64
奉天通志に就て……………	3	奉天の國權に就て……………	3
奉天博物館展望……………	35	奉天の陵（隨筆）……………	64
奉天會戰と媾和税……………	39	孟森氏に答ふ……………	10
奉天會戰と撫順……………	11	孟森氏の（清太祖告天七大恨之 真本研究）と併せて鴛淵戸田兩 氏合著……………	10
奉天義縣内の瞥見……………	46	官莊に於ける生産關係とその崩 壞上……………	73
奉天圖書館所藏ノヴィクライ （關東版）に就いて……………	3	岩井學士の蒲鮮萬奴國號考を讀 む……………	8
奉天瀋陽の歴史……………	64	庚申鮮滿旅行日誌……………	51
奉天錢業公會に就て……………	82	所謂大名城出土契丹國字磚……………	35
奉天錢業公會に就いて……………	88	所謂中滿型農村の一例……………	72
奉天關係文獻雜話……………	2	所謂兩種本（華夷譯語）の整理 館譯語……………	60
奉天盛西寬軍屯より石碑發掘……………	35	所謂江東六十四屯の問題に	
奉天と清代の法律學……………	55		
奉天と遼陽……………	47		
奉天に於ける二重課税問題と其			

ついで	37	達ノ滿洲蒙古史	56
所謂渤海靺鞨に就て	91	明治初中葉の滿洲 文献	1
所謂滿韓交換の真相及批評	38	明治初中葉の滿洲文献	1
承德附近の喇嘛及喇嘛廟	65	明萬曆初期に於ける遼東女眞の消長	9
承德と喀喇沁王府	63	東三省官制改革と新任總督	11
拉濱線の經濟價值	70	東三省に於ける馬賊	88
拉濱線の觀察	50	東三省の農業恐慌と農民	77
拉濱線の觀察	50	東丹王陵考察記	96
昌圖附近代明代邊牆	34	東丹國人皇王南奔の行迹	1
明代滿洲屯田考	75	東丹國人皇王の一考察	6
明代遼東邊牆	34	東夫餘の位置と高句麗の開國傳説	11
明代遼東の馬市	84	東支鐵道	40
明代遼東の邊牆	13	東支鐵道紛争問題の展望	40
明代の滿洲	8	東支鐵道問題の歸結	40
(明代) 滿洲及び蒙古	9	東支鐵道賣却問題と東支鐵道關係最近外交史	40
明代の蒙古と滿洲	9	東支鐵道と北滿洲の移民	40
明代の遼東經營	9	東支鐵道とソヴェット聯邦	40
明代の遼東經營	75	東支鐵道の沿革	40
明末女眞と八旗的統制に関する素描	56	東支鐵道の政治的地位を論ず	3
明代女眞人の鐵器について	81	東支鐵道の國際關係と其將來	44
明末清初に於ける鴨綠江方面の開拓	75	東支鐵道の現状	40
明末清初の滿洲族社會	86	東支鐵道を中心とする露支關係の過去及現在	40
明末清初の滿洲に關する一考察	86	東支鐵道を中心とする露支紛争	40
明末清初の鮮滿關係上に於ける日本の地位	36	東支鐵道を挟んで	40
明末に於ける鴨綠江方面の開拓	75	東支鐵道をめぐる露支關係	40
明末の遼餉	82	東方民族の文化的關係	4
明初における女眞社會の變遷	86	東北亞細亞諸國開闢傳説	95
明初に滿洲經略	8	東北亞細亞に於ける無言貿易に就て	95
明治以前に於ける滿蒙研究	4		
明治以後に於ける歴史學の發			

- 東北部滿洲覺書……………46
 東亞大陸に於ける洪積世人類の
 足跡……………18
 東亞諸民族の言葉と言語……………60
 東西に於ける人種學上の諸論文89
 東西に於ける新石器時代文化の
 概観……………19
 東京城出土の版立に就いて……………29
 東京城出土の「尾」に就いて……………29
 東京城外光古屯十城址……………28
 東京城再見記（渤海上京龍泉府
 ）……………28
 東京城名義考……………12
 東京城名義考……………28
 東京城（東亞考古學會編）評……………29
 東京城—渤海國上京龍泉府址……………28
 東京城寧安地方の鮮人移動並に
 鮮農の生活狀況……………77
 東京城のシャマン就て……………59
 「東洋史研究」を中心とする
 洲史の沂業……………4
 東洋建築史系統論……………69
 東洋に於ける民族の形成……………90
 東胡民族考……………90
 東眞國の疆域……………13
 東翁牛特旗事情……………71
 東清東支鐵道時代の回顧……………49
 東清東支鐵道時代の回顧……………52
 東清東支鐵道時代の回顧……………49
 東清鐵道の經濟的趣旨……………40
 東部內蒙古未開放地帯に於ける
 農業事情……………79
 東部內蒙古地帯に於ける家畜預
 託の慣行に就て……………89
 東部內蒙古社會の崩壞停滯に就
 いて……………86
 東部內蒙古の農業經營に俾て……………79
 東部西比利亞アムル河の思出……………17
 東部西伯利亞に於ける民族語問
 題……………60
 東部京岡線の特質……………16
 東部滿洲地形所所地理……………14
 東部滿洲の火山地形……………14
 東部滿洲國境紛爭事件……………41
 東部蒙古旅行記……………92
 東部蒙古タブスノル湖底に於け
 る砂丘の觀察……………44
 東部蒙古に於ける露國の勢力……………37
 東部シベリヤの有史以前……………21
 東陵業間録……………91
 東寧國境事情……………71
 東蒙古旅行報告……………51
 東蒙古に存在する金剛界曼荼羅
 の磚塔……………66
 東蒙古の天然草達……………72
 東語と韓滿蒙語……………60
 東豐縣事情……………69
 東邊見聞……………69
 東邊道經濟事情概況……………69
 東鐵問題對策に關する考察……………40
 東韃紀行について……………50
 東韃紀行の山丹に就いて……………92
 松花江下游的赫哲族（凌純聲）
 評……………93
 松花江河運に關する調査……………53
 松花江河運に關する調査……………53

松花江の文化……………	50	近藤守重の滿洲研究……………	4
松花江の地質……………	42	金人考……………	7
松花江の航行權……………	40	金上京址の陶片其の他……………	35
析木城附近の探査(鐵塔)……………	30	金上京遺址追考……………	32
析木城附近の探査(ドルメン)……………	22	金上京遺址追考……………	34
析木城か析木城か……………	13	金上京遺址の問題……………	31
析木城の金銀塔……………	66	金元時代に於ける道教の概説……………	57
林西遼陵石刻出土の記事……………	31	金世宗即位事情の考察特に世宗 と遼陽渤海人との關係について……………	7
林西より……………	21	金代女眞の研究(上次男著) 評……………	8
林東所見……………	35	金代中期に於ける女眞文化の作 興運動……………	8
林東紀行一遼の古蹟を探る……………	29	金代中期に於ける猛安謀克戸……………	55
林業の滿洲……………	71	金代中期の國語問題……………	60
果して幕を摸した家か……………	67	金代北邊考……………	13
治齊克鐵道地方の農業事情……………	79	金代史(滿洲史第6編)……………	7
沿革的に見たる東支鐵道紛争……………	40	金代史概説……………	7
炕の起原のこゝなど……………	68	金代刑法考……………	55
「牧羊城」(東亞考古學叢刊3) (評)……………	25	金代貨幣史論……………	82
牧城驛古墳より發見せる漢代の 漆器及其の他の遺物……………	25	金代の古鐘……………	33
穹廬について……………	68	「金代の佛教」に關する研究に 就て……………	57
虎林縣概説……………	71	金代の物力錢に就いて……………	83
近世支那朝鮮を繞る日露關係……………	37	金史世紀の研究……………	2
近世支那朝鮮を繞る日露關係……………	39	金史世紀の研究……………	8
近世滿洲問題史論……………	11	金史世紀のいはゆる大師と國相 に就て……………	55
近代東部滿洲民族考……………	90	金史に見えたる土語の官稱の四 五に就きて……………	55
近代滿洲建築史に關する座談會……………	32	金末の滿洲……………	8
近代滿洲歴史序……………	9	金正隆大定年間に於ける契丹人 の叛亂……………	8
近代に於ける滿洲農業社會の變 革過程……………	85		
近代に於ける蒙古遊牧民の土地 所有關係……………	73		

金安撫副使印……………	33	寶……………	7
金州……………	48	金經略副使印考……………	38
金州半島の石器及び土器……………	31	金靜庵氏著渤海國志長篇を讀みて……………	6
金州望海峯に於ける倭寇遺蹟の研究……………	34	金藏に關する第二報告……………	3
金初に於ける女眞の生活状態……………	94	金の上京……………	37
金初に於ける麗金關係……………	36	金の上京址一白城……………	33
金初の世襲萬戸に就いて……………	7	金の上京址白城に就いて……………	33
金初の世襲萬戸に就いて……………	55	金の上京址白城にふとち讀む……………	33
金初の幸望に就いて……………	55	金の上京址の出品に就いて……………	38
金初の官制勃極烈に就て……………	55	金の上京會寧府の遺址に就いて……………	33
金初の勃極烈に就いて……………	55	金の上京に就て白鳥博士の講演……………	32
金初の都統司及軍帥司……………	55	金の世宗東巡考……………	8
金宗顔丞尹の墳墓……………	32	金の世宗東巡考……………	13
金初十餘經の發見とその刊行……………	2	金の外族に對する政策……………	8
金承安の古鏡……………	33	金の外敵に對する政策……………	36
金宗宗顔氏の始祖說話について……………	96	金の兵制に關する研究……………	55
金帝室と傳説……………	57	金の東京城考……………	13
金球史に就いて……………	7	金の建國以前完顔氏の君長の稱號……………	7
金國末期に於ける軍糧支給問題と其の展開……………	8	金の建國以前に於ける完顔氏の君長の稱號について……………	56
金國國都の踏査に就いて……………	33	金の昂蘇館路と寧州……………	13
金陵所見……………	35	金の海陵王……………	7
金胡行臺尙書省考……………	55	金の海陵王燕京遷都の一考察……………	7
金朝初期の路制に就いて……………	55	金の海陵王燕京遷都の意義……………	8
金朝漢人の改俗問題について……………	88	金の財政策と宗教教團……………	57
金朝に於ける改俗令の發布について……………	88	金の財政政策と宗教教團……………	83
金熙宗皇統年間に於ける宋との媾和……………	8	金の蒲與略について金の北邊に關する考察……………	13
金熙宗朝に於ける蒙古の侵襲……………	8	金の窮民保護政策……………	88
金熙宗朝に於ける蒙古の侵襲……………	7	長山列島史蹟と傳説……………	20
金熙宗朝に於ける蒙古討伐の事……………		長山列島の自然美……………	45

長白山史料斷片	49
長白山附近の地勢及松花江	44
長白山附近の地勢及び松花江水 源附完顔城址考	27
長白山脈と興安嶺山脈	44
長白山陰草王の黄金國	49
長白山學術調査團	51
長白山麓白色地帯を探る	45
長白山の崇拜	59
長白に關する知識について	14
長安文化と契丹文化	4
長春會議と露西亞の外交能力	38
長春領事館開設當時を語る	49
長城線に關ぐ三千年	4
長崎唐通事の滿洲語學	61
阜新縣の古蹟	48
阿什河と金の上京	32
阿什哈達摩崖	34
阿城縣の保甲行政組織と其運營 狀態	56
阿魯科爾沁旗に於ける土地に關 する諸慣行及び權利關係	74
阿魯科爾沁旗に於けるハラタケ 慣行	80
阿魯科爾沁旗のスルグ慣行(預 託家畜之慣習)	89
阿濟括略の事件に滿文木牌	15
青牛白馬祭儀考	58
青泥窪よりダリニイへ大連史	48
長山列島先史時代の小調査	20

九 劃

係遼籍女直の太灣について	8
俄情形と寬永王傳説	96

俚諺より觀たる滿支民族の社會 相	95
保甲行政組織と運營狀況	56
前奉天省長故王永江の政見とそ の人物上に就て	14
前清宗室の所領地禁賣	73
前漢昭帝の四郡廢合と後漢書の 記事	54
「南山裡」(評)	19
南方勢力の滿洲侵入により起つ た諸象	76
南北朝時代の滿洲	6
南北滿洲の山勢と分水嶺に就て	44
南北滿洲の招牌	95
南京政權の滿洲進出と滿蒙鐵道 政策の新脅威	40
南林子の壁畫古墳	24
南清真寺(奉天)	69
南滿一農村の最近の動向	79
南滿北滿	16
南滿北鮮に發達する奥陶記層に 就いて	42
南滿民俗探訪の旅	94
南滿洲石器時代土器に關する二 三の事實に就て	25
南滿洲在來農具	77
南滿洲在來農業	77
南滿洲老鐵山麓郭家屯附近發見 の銅劍に就て	23
南滿洲牧羊城址發掘報告(第2次 發掘)	25
南滿洲牧羊城址發掘概況	25
南滿洲復州金家城子並に遼陽附	

近産カンブリ小紀化石概報	42
南滿洲發見の漢代青銅器遺物	25
南滿洲漢墓發見の一瓦屋に就いて	25
南滿洲鞍山出土畫像石の調査	31
南滿洲遼陽出土の漢代珽玉	24
南滿洲遼陽附屬地發見の石棺古墳	24
南滿洲遼陽附屬地發見の石棺石墳	24
南滿洲遼陽附近の漢代遺蹟について	24
南滿洲遼陽に於ける古蹟調査	24
南滿洲營城子漢代輓墓の發掘	23
南滿洲關東洲貔子窩より出土せる石器時代人骨	20
南滿洲に於ける土地商租法律的意義	74
南滿洲に於ける主要都市背後地研究	46
南滿洲に於ける地殻運動に就いて	45
南滿洲に於ける考古學的研究	19
南滿洲に於ける見墓に就いて	19
南滿洲に於ける前漢末の遺物	23
南滿洲に於ける聚落の分布	47
南滿洲に於ける鐵鑛	82
南滿洲に發達せる寒武利亞紀及び奧陶紀に就いて	42
南滿洲の名勝舊蹟	47
南滿洲の地震に就て	44
南滿洲の重要なる古墳	19
南滿洲のドルメンと其の方位	22

南滿洲のドルメンに關する一考察	22
南滿研究參考書	1
南滿復興炭田に於ける石炭系と二疊系との境界	43
南滿に於ける大農經營	77
南滿に於ける水稻の生産事情	78
南滿の村落構成	87
南滿の高麗城	27
南滿の耕地と人口	78
南熱河に於ける新石器時代遺物概観	20
南熱河に於ける新石器時代遺物概観	20
南熱河の古文化に就いて	20
南懷仁の滿洲紀行	14
南懷仁の滿洲旅行記	14
南懷仁の滿洲旅行に對する考察	14
南懷仁の滿洲旅行記後記	14
哈爾濱四十年	49
哈爾濱市史抄	49
哈爾濱考古だより	18
哈爾濱油房業概況	61
哈爾濱建設史話	50
哈爾濱草分時代の回顧	49
哈爾濱猶太教會堂	58
哈爾濱搖籃記	50
哈爾濱を中心としたる交通及産業	70
哈爾濱と滿洲里	49
哈爾濱の背後地濱北綿綏化に於ける特産物金融	83
契丹人の衣食住	94

契丹人の信仰	58	室韋考	91
契丹大字考	60	室韋考	91
契丹女真西夏文字考	60	室韋と呼倫貝爾と主として遼史	
契丹小字故太師銘石記之研究	60	を中心として	91
	60	帝王都市熱河スヴモンヘテイン	
契丹文哀冊に就いて	31	の探險記より	51
契丹文字の新資料	60	度量衡の制度と慣習	55
契丹可敦城考附附ト考	12	建州三衛の戸口について	52
		建州左衛の設立年代に就いて	55
契丹佛教の社會史的考察	57	建州左衛の遷住地に就いて	13
契丹放偷放	54	建州西兩女直中心の滿洲時代	10
契丹勃興史	6	建築史上より見たる北支に滿洲と	
契丹時代(滿洲史第五編)	6	の文化交渉	63
契丹畫像石の圖樣	31	建築史上より見たる蒙古包	67
契丹畫像石の圖樣について	32		
契丹畫像石の圖樣に就て	31	建築宗になつた尉遲敬德傳説	68
契丹開國傳説の成立と八部組織	86	後渤海國の建國	6
契丹開國傳説の成立と八部組織	91	故伊藤清黃先生の墓と	60
契丹聖宗の高麗征伐	5	故關澤氏	68
契丹と中央亞細亞との服飾の類		星ヶ浦の命名と滿洲地名考	14
似に就て	94	春耕借金貸付廢止について	83
契丹に於ける大藏經彫造の事實		昭和十五年の歴史學會東洋史	13
を論ず	2	昭烏達盟蒙地開放沿革史	7
契丹に對する北宋の配兵要領	6		
契丹の文字	60	柳條邊牆と金の邊堡	33
契丹の國軍編成及戰術	54	洞溝に於ける高句麗の遺跡と遼	
契丹の佛教	57	東に於ける漢族の遺跡	27
契丹の政治機構	54	洮昂線風土記	50
契丹の陵墓とその陵碑に就いて	30	洮南白音太來視察旅行	51
契丹の廢した遺跡の探查につい		洮南地方の現状	71
て	29	洮南肉牛市場	82
契丹の燕雲十六州領有とその史		洮南於近郊に於ける高麗古城の	
的意義	7	陶片に就て	35

洮南附近の古城址と遼秦河	0	射水考	12
洮南(高句麗城址)の遺物	37	挾婁	91
界藩山行	51	旅大日歸りの旅	43
皇清開國方略に見えたる曲筆	3	旅大租借地問題の再検討	37
皇莊の意義とその内容	37	旅大に關する英露の交渉	33
皇輿全覽圖について	53	旅行の思ひ出と女眞字碑文に就いて	33
看版に就て	69	旅順	43
砂金とその奴隸たち	31	旅順口方面の風土	44
科爾沁右翼前旗	71	旅順口開城規約	39
紅契と白契	75	旅順口の沿革と旅順城の位置	14
苦力組織の變遷について	67	旅順史序説	43
英國排露論者への滿洲旅行談	38	旅順市の都市形態	48
英獨協商と滿洲問題の眞實關係	33	旅順石塚發見土器の種類に就て	22
風景形態に於ける滿洲とエスバニヤの相似性	45	旅順老山麓に於ける漢代墳墓	27
十 一 劃		旅順考古紀行	19
倭寇と望海埒城	34	旅順牧羊城屯牧羊城址東方丘陵より出土せし鐵庖丁を伴出せる人類大腿骨に就て	89
剛沐の斬罪と清太宗實錄とから	10	旅順牧羊城の漢時代城址研究旅行覺書の内	25
原始民族の遺跡を採ふ呼倫貝爾石器時代	51	旅順威海衛に關する清英露交渉	38
原始的な草原の商取引	85	旅順島帥黃龍とその遺蹟	48
育里木盟蒙地の基礎を覗く興安省實態調査より	73	旅順庫繕整理處を訪ふ	15
唐代長安文化と契丹文化	6	旅順張家屯古蹟調査報告補	19
唐末の遼東	5	旅順張家屯の一古墳	19
唐時代の渾太島に就いて	41	旅順發見石器時代遺物	19
唐の高宗の高句麗討滅の役と東列道多谷道海谷道の稱	5	旅順双台子山新石器時代遺跡	19
城津地方に在る古墳と遺物並に女眞族の遺蹟	38	旅順双岔子新石器時代遺跡	19
奚白靺靨民族考	91	旅順と劇場	63
娘孃祭と人形	58	晋代の滿洲	5
		晋代の遼東	5
		桓仁三日の旅	28

- 桓仁縣の高句麗遺蹟……………27
- 浮田地とその整理滿洲に於ける
地田の研究……………72
- 海克線及其附近の地誌並に經濟
事情……………70
- 東海金石苑を中心とせる清鮮文
化交流の研究……………35
- 海城縣に於ける農村行政組織と
其の運營現態……………79
- 海龍縣事情……………69
- 消える奉天城……………34
- 烏丹城附近の二人元碑（圖版解
題）……………33
- 烏丹城附近の元碑を探る……………33
- 烏拉考……………49
- 烏拉行紀……………49
- 烏拉國とその人々……………9
- 烏拉冒通樓修理調査報告……………66
- 祛病符……………59
- 秘境熱河座談會……………49
- 秘境熱河の史的考察……………63
- 秦長城東部の位置につきて……………11
- 秦長城東端王險城考……………11
- 秦漢の北長城東部（萬里長城研
究第2）……………24
- 秦邊紀略の嘎爾旦傳……………3
- 索倫旗内ブリヤト民族の社會慣
習に就て……………89
- 索倫語雜考……………61
- 索倫縣ブリヤト族に於ける結合
性を遊牧蒙古人の集團的紐帶へ
の考察として……………87
- 索倫の經濟狀態……………71
- 草原民族（呼倫貝爾蒙古人）…93
- 蚕場に就て……………73
- 蚕場の權利實態調査……………73
- 迷鎮山娘娘廟碑記考……………34
- 追悼伊藤清造學兄附伊藤氏著作
年表……………68
- 追悼關鐸先生……………68
- 高句麗丸都の遺蹟……………27
- 高句麗五族五部考……………91
- 高句麗王家の上世の世系につい
て……………86
- 高句麗古碑……………28
- 高句麗古碑考……………28
- 高句麗古墳の壁畫に就て……………26
- 高句麗好太王碑考……………28
- 高句麗牟頭婁の墓と墨書の墓誌2
高句麗考……………5
- 高句麗社會の生産様式國家の形
成過程を中心として……………86
- 高句麗城址……………27
- 高句麗城址と鳳凰山上の遺跡柳條
邊壙と高麗門附近の遺址……………27
- 高句麗時代の古墳について（壁
畫）……………25
- 高句麗滅亡後の遺民の叛亂及び
唐と新羅との關係……………5
- 高句麗疆域沿革考……………5
- 高句麗の五族及び五部……………91
- 高句麗の平壤及び長安城に就い
て……………11
- 高句麗の平壤城及長安城に就い
て……………27
- 高句麗の安市城の位置に就て……………27

高句麗の安市城の位置に就て	27
高句麗の南北朝と南蘇木底	27
高句麗の南北朝と南蘇木底	11
高句麗の城廓と撫順新城	27
高句麗の新城(撫順)	27
高句麗の新城發見	27
高句麗の蓋牟城に就て	27
高句麗の墓制に就いて	25
高橋景保書き入れ増訂清文鑑(卷頭寫眞說)	61
高橋景保の滿洲語學	61
高麗古碑及追加	28
高麗末期より朝鮮初期に至る奴婢の研究	8
高麗好大王碑銘考	25
高麗妙清の亂に就いて	98
高麗成宗朝に於ける女眞及び契丹との關係	5
高麗賦得考覈	83
高麗顯宗朝に於ける契丹の侵入	5
高麗と契丹女眞との貿易關係	84
高麗に於ける元の行省	13
高麗に來投せる渤海人に就いて	6
十 一 劃	
乾隆帝東巡沿路考	14
乾隆御製盛京賦に就て	3
停滞的東 內蒙古社會とその經濟實狀	86
問題の二語(糶と泊)	54
國內城及丸都城の位置	11
國內城及び丸都城の位置	27
國內城の位置につきて	11
國立博物館に於いて高句麗壁畫	

模寫竝遺品展覽	26
國都建設の情況	49
國際委員會設置交渉進展	41
國語と外國語との比較研究	60
堂子(清宮室シヤマニズム其の一)	97
密山哈爾濱間の土地事情飛行瞰察	78
密塔安圖線の全貌	70
康熙帝と北方政策	37
康熙帝と南懷仁	14
康熙乾隆時代に於ける滿州と支那本土との通商に就いて	88
張家口外に於ける雲國の勢力	34
張浩とその事蹟	97
匪誠と尼布楚條約	36
曹魏の東方經略	5
望小川傳説と自然崇拜	96
望小川の傳説の正説	96
望小川への疑問	96
望奎縣一般情勢	71
梅河口	49
清三朝寶鏡の纂修	15
清仁宗東巡謁陵圖考	10
清太宗昭陵(石坊着華表降恩殿とその基壇大虹門門櫺牆壁)	65
清太祖如兒哈赤崩殂考	9
清太祖初期に於ける蒙古との關係の一面觀	10
清太祖勃興初期の行迹	9
清太祖福陵(東石坊隆恩殿石碑明樓碑等)	64

- 清太祖福陵隆恩殿（名建築解説）……………64
- 清太祖の七宗藩限に就いて……………10
- 清太祖の都城遷移問題……………9
- 清文鑑和解滿語纂編解説……………61
- 清代中葉に於ける滿洲封禁の歴史的意義……………73
- 清代北滿の屯墾……………75
- 清代滿洲流入考……………76
- 清代滿洲移民政策の變遷……………75
- 清代滿洲の園囿……………55
- 清代滿洲に於ける珠軒の制……………56
- 清代滿蒙に於ける封禁について……………73
- 清代に於ける黑龍江省の開發について……………75
- 清代に於ける滿蒙の經濟的融合……………89
- 清代の土地所有關係……………73
- 清代の滿洲……………6
- 清代の滿洲に於ける糯米の運に就いて……………84
- 清末以後に於ける土地運動の若干事例……………72
- 清末に於ける北滿洲海倫拜泉地方の土地開發……………75
- 清末に於ける吉林省西北部の開發……………75
- 清初入旗制の成立に就いて……………56
- 清初史研究の現状……………10
- 清初社會の經濟的基礎……………86
- 清初旗地に關する滿文老檔の記事……………73
- 清初擺牙喇考……………56
- 清初に於けるニカンニイルデンの發生と其の意義……………56
- 清初に於ける清鮮關係と三田渡の碑文……………56
- 清初の八固山額眞に就いて……………73
- 清初の土地制度をめぐる諸問題……………73
- 清初の日食に就いて……………56
- 清初の直隸侵界戰に就いて……………9
- 清初の旗地……………73
- 清初の疆域……………13
- 清初のシンニゼン牛套について……………56
- 清廷薩滿教の祭神に就いて……………79
- 清東京城城門（遼陽）……………34
- 清皇族莊園所有權に就いて……………75
- 清眞寺（支那に於ける回教寺院）……………67
- 清原縣事情……………69
- 清祖姓名氏考……………36
- 清國建築叢（民家）……………47
- 清國創業時代の財政……………63
- 清朝一族と中國劇……………62
- 清朝中期に於ける旗地の小作關係……………73
- 清朝初期に於ける授充と其起源……………73
- 清朝初期に於ける旗地の發展過程……………73
- 清朝初期の繼嗣問題……………10
- 清朝姓氏考……………86
- 清朝時代土地制度の研究……………73
- 清朝時代に於ける黑龍江省の開發……………75
- 清朝時代に於ける蒙古の社會階級……………86
- 清朝時代の牛祿地と漢人移民……………73

清朝時代の牛祿地と漢人移民	75	烽火臺と路臺	34
清朝國號考	10	猛安謀克制の歴史的變遷	55
清朝創業期の社會	86	猛安謀克と金の國勢	7
清朝創業期の社會	86	猛安謀克と金の國勢	55
清朝發祥の地域について	14	現今の滿蒙民族	91
清朝發祥地の傳説	96	現代寺廟田考	73
清朝開闢期の史料	15	現存せる滿洲民族の信仰薩滿教 に就いて	59
清朝開闢説話の歴史的考察	96	産業立地より觀たる滿洲國の地 域性	47
清朝開基の地	14	第一回版圖滿洲旅順双台子山發 見の調査(旅順双台子山發見新 石器時代遺跡)	22
清朝實録のはなし	15	第一の發清條約	26
清朝歷代皇帝の滿洲巡幸	14	訪書	67
清朝に於ける滿洲駐防の特殊性 に關する考察	56	蒙古空の行程録に見ゆる資金時 代の滿洲交通路	13
清朝に於ける旗地の構成	73	通化	49
清朝の文獻より觀たる蒙古人の 相傳布店に就いて	95	通溝二日半	26
清朝の太廟行園就て	55	通溝附近の古墳と高句麗墓制	25
清朝の對蒙政策論	10	通溝の祭禮聚落に就て	87
清朝の滿洲支配と支那人移住	76	鄭餘庵で拾つた法不齊衆	74
清朝の興起(滿洲史第9編)	9	鄭餘庵前旗概況	71
清寧宮と坤寧宮(清宮室シヤマ ニズム其の二)	97	鄭餘庵前旗に於ける小作 關係	80
清寧宮の儀器(清宮室シヤマニ ズム其の三)	97	陵丹汗の書信に就いて	10
清露秘會條約及滿洲鐵道旅順口 大迎講	27	陵を見る	26
清の太宗の立太子問題	19	烏居文學博士沙女の審査要旨	17
清の太宗の即位事情とその君主事 情確立	9	十二劃	
清の太宗と宸妃の死	9	喇嘛大學瑞應寺に就いて	7
清の太祖と李成梁との關係	19	喇嘛美術斷想塔寺裝飾	35
清の太祖と煙突	10	喇嘛教供養具に見られる所謂八 寶に就いて	62
清の始祖と傳説	96		

喇嘛廟會（甌房札記）……………65
 喇嘛廟緋威（承德）……………65
 喇嘛となりで……………59
 喜禮嘎爾旗一般狀況……………71
 喀喇沁中旗に於ける蠶租の慣行
 に就て……………80
 喀爾喀の二花と宰賽……………9
 圍場縣事情……………71
 富山の現状……………71
 寒地に於ける露人の住宅……………67
 復州城及長興島史蹟調査略記…50
 敦化地方に於ける邦人の農業經
 營……………80
 敦化縣概況……………70
 敦化縣に於ける滿人の農家經濟
 調査……………80
 敦化額穆地方に於ける水稻作…78
 普蘭店附近の探査「巨石遺跡」…23
 景教に關する畫像石……………3
 最近二十箇年間に於ける南滿洲
 對外貿易の趨勢……………84
 最近中華民國及滿洲國視察の所
 感……………63
 最近契丹史學界の展望……………7
 最近の營口貿易の趨勢……………85
 朝貢と撫順馬市……………85
 朝陽附近の新石器時代遺跡…………20
 朝陽縣出土の韓公墓誌……………3
 朝陽縣の古墳……………48
 朝鮮人の見たる通溝の遺蹟…………6
 朝鮮及び滿洲に於ける宗教及び
 風俗に就いて上……………58
 朝鮮半島に於ける漢四郡疆域及

沿革考……………11
 朝鮮司譯院日滿蒙語學書斷簡解
 說……………60
 朝鮮孝宗朝に於ける兩次の滿洲
 出兵……………86
 朝鮮高麗朝に於ける東女眞の海
 寇……………6
 朝鮮國境の史的考察……………49
 朝鮮話とウラルアルタイ語との
 比較……………60
 朝鮮滿洲の磨製石器に就いて…5
 朝鮮側鴨綠江上流地方一般狀況70
 朝鮮臺灣滿洲研究の枝析…………1
 朝鮮の古王國高句麗の遺蹟…………36
 渤海中京顯德府即遼陽說…………1
 渤海古城（東京城）……………8
 渤海史上の難問題に就いて…………6
 渤海史研究の回顧……………6
 渤海考……………6
 渤海扶餘府考……………1
 渤海來貢の真相……………36
 渤海東京考……………8
 渤海東京城發掘……………8
 渤海金の歴史地理的考察…………1
 渤海時代……………1
 渤海國上京城址……………8
 渤海國上京龍泉府の第二回發掘
 に就いて……………8
 渤海國上京龍泉府の遺址につい
 て……………8
 渤海國上京の街坊に就いて…………8
 渤海國王の文化……………6
 渤海國官制補說……………54

渤海國南京南海府考……………	12	都市鞍山の地理……………	48
渤海國都東京城に就いて……………	28	都爾鼻考……………	14
渤海國都城址の發掘……………	28	鄂倫春人に接して……………	93
渤海國都城址發掘の概要……………	28	鈔本百二老人語錄及び其の著者……………	3
渤海國の文化……………	26	開原石塔寺とその塔……………	65
渤海國の石燈籠について……………	29	開原長春の清真寺……………	67
渤海國の復現と日本との關係……………	86	開原懷古……………	48
渤海國の興亡とその文化……………	6	間宮林藏先生の生涯と事蹟……………	51
渤海國の疆域……………	12	間宮林藏と東靺地方……………	51
渤海灣を周る古代民族……………	90	間宮林藏の樺太探險と近藤守重……………	
渤海の中京顯德府に就いて……………	28	高橋景保兩氏の卓見……………	51
渤海の五京に就いて……………	12	間島及琿春地方の韓鮮農民……………	76
渤海の佛像……………	29	間島地方に於ける鮮農經濟事情……………	80
渤海の扶餘府並に遼の黃龍府につきての考……………	12	間島地方の史的考察……………	41
渤海の建州と元の建州……………	12	間島地方史的考察……………	49
渤海の建國者について……………	6	間島帝國總領事館内内の石獸石人……………	29
渤海の舊都東京城の發掘……………	28	間島省延吉縣西城村北大屯所在の高句麗時代の古墳群調査概報……………	27
無煙炭の生成及性質と日滿支の分布……………	82	間島省經濟界の現勢……………	70
畫像石とケルン……………	23	間島省管内に於ける小作慣行調査……………	80
畫像石の種々……………	23	間島省の山城土城……………	29
盛京吉林黑龍江等處標註戰蹟輿圖(評)……………	33	間島協約締結の由來と其改訂の機運……………	41
盛京省南部地質及礦床……………	42	間島國境問題……………	41
盛京路程圖……………	53	間島問題の真相……………	41
稀覯書(東北靺鞨)……………	3	間島處分の一案……………	41
粟大豆高粱の収支及生産費……………	78	間島ソヴエト區域全貌……………	70
結晶と生産誕生……………	14	間島に於ける集團部落……………	57
舒爾哈齊の元清初内訌の一論……………	9	間島に於ける農業機運……………	70
貂皮貂裘考……………	1	間島について……………	11
都市近郊地帯の蔬菜栽培哈爾濱の先……………	7	間島の耕地生産力並に人口支持……………	

力……………78

關東地方農況……………79

隋唐二朝高句麗遠征の地理……………11

黃寺の碑記……………34

黃河河道を繞る金宋の交渉……………36

黑山縣事情……………69

黑河盆地に於ける……………46

黑龍江沿線十縣の人口と住民……………52

黑龍江省呼蘭平野の開墾に就きて……………75

黑龍江省清丈線記……………75

黑龍江名の開墾……………75

黑龍江省の農業經濟……………79

黑龍江北の農業經濟……………79

黑龍江流域の探險略史……………51

黑龍江溯航記……………52

黑龍江ウルミ及ツングスカ居住
ゴルドに就て……………98

黑龍江を下つた二人の俄蘭西經
馬カトリック僧の語……………98

黑龍江を溯る……………52

黑龍江とその調査……………92

黑龍江の春……………14

黑龍江の異名に就て……………14

黑龍江略について……………5

十 三 劃

關田龜氏編「滿洲金石志稿」(書評)……………2

塊狀多頭石器南滿洲の石器……………41

塔呼城址……………33

塔察篇古の後裔覺羅氏の碑……………35

塗改本太祖實錄殘卷及び其年代……………15

愛川村の臨地觀察……………50

愛吾廬滿洲地政雜俎……………72

愛 條約北京條約の研究……………37

新女真國書碑に就いて……………33

新巴爾虎の結婚儀式に就いて……………34

新日露協約に就いて……………39

新出の高句麗壁畫(口繪及略解)
……………26

新出の高句麗墳(輯安縣)壁畫……………96

新縣事情……………69

新京發見の鉞形石器……………32

新滿洲國建築史……………62

新滿洲國建築史……………62

新滿洲國に於ける黑水鐵勒達
姑等の諸族に就いて……………90

楊賓と完顏忠室碑に就いて……………31

業主權に就て……………75

極東民族の石神崇拜について……………59

極東ソ領及び間島に於ける鮮人……………52

準平原の地形計測的考察遼東準
平原に就いて……………64

獅子等の網様ある彫刻石初……………31

真春地方農況……………79

真春縣狀況……………70

真春縣に於ける學田に就て……………72

當舖及押舖牧印子錢的……………83

綏中縣の古蹟……………49

綏芬河事情……………71

綏寧の住民……………51

經濟上より見たる奉天鐵道……………69

經濟地理學上より見たる吉敦鐵
道沿線……………70

義和拳匪亂と露西亞の占領につ
いて……………39

義縣奉國寺小記	45
義縣嘉福寺の佛塔	66
義縣の古蹟	48
肅慎考	91
肅慎考	91
萬里長城	25
萬里の長城と古北口の漢古	35
葛根廟紀行	65
緬人考	91
資料より見たる滿洲各地の農民	
分化南滿各地部密に於ける	78
農安事情	70
農作物より見たる滿洲農業の經	
濟的發展	77
農村生活を語る	77
農村金融上に於ける當舖の地位	83
農村金融の現状と金融機能	83
農村階級構成の變遷に關する一	
試論	87
農村駐在調査報告	79
農村雜話と熱河	80
農村の年中行事	80
農耕上より見たる齊齊哈爾地方	
の氣象概観	43
農耕上より見たる齊齊哈爾地方	
の氣象概観	78
農産物を通じて見たる都市背後	
地圏	78
遊牧地に於ける諸慣行	89
道院紅萬子會の研究	57
道親と道士	57
遼呼爾を中心として見たる蒙古	
風俗誌	94
遼海巴克斯の墓碑	95

遼鮮鮮族平老海拉爾群を主對象	
として	97
遼唐古考	91

十四 劃

關佳一部線の經濟地理的研究	70
案と本	33
察哈爾綏遠農民經濟の解剖	8
寧古者貝勒に就いて	55
寧安縣農業	89
對西伯利亞鐵道策	39
彰武黑山蓋山遼安各縣	43
慣習ホボ索包	60
構造的變革過程に於ける密山縣	
の社會的經濟的機構	85
滿支俚諺の社會的觀察	95
滿支經濟關係の考察	86
滿文太監老檔の所屬族譜表に就	
いて	86
滿文地圖に就いての要約	58
滿文字の地圖と職貢圖	53
滿文老檔序文譯稿未完	15
滿文輯韻	61
滿北支點摘	63
滿和對譯滿文寶錄	15
滿和辭典	61
滿洲人の今昔	14
滿洲人の今昔人の好むポスト	92
滿洲八旗の成立過程に關する考	
察	56
滿洲土地制度理解に關する關	
鍵	72
滿洲土地の沿革	72
滿洲土地法論拾遺	72

滿洲土地問題關係文献目錄	1	滿洲出土の多鈕銅鏡について	23
滿洲土俗見聞録片片	94	滿洲出怪人而致	31
滿洲土俗學の概念	94	滿洲出張の思ひ出と内藤湖南博士の追憶	15
滿洲土產關東三寶	97	滿洲北支金融聯携	82
滿洲土語會一二三	91	滿洲北支地方開拓史の一節	75
滿洲大豆の研究	81	滿洲古瓦に就いて	35
滿洲大豆の發展	81	滿洲古建築の展望	63
滿洲巫來物語	97	滿洲古美術史略	62
滿洲工業史に關する一考察	81	滿洲古美術遊記	62
滿洲工業原料畜産資源調査	72	滿洲史上の人物	15
滿州公主嶺附近石人石獸	33	滿洲史要領	4
滿洲化石物語	42	滿洲史參考文獻目錄	1
滿洲及大清の國號に就て	9	滿洲史研究序説	4
滿洲及北支に於ける麻專精	81	滿洲史研究の現状	4
滿洲及華北の行臺と風俗	95	滿洲史觀	4
滿洲及華北の越年風俗	95	滿洲史の一批判	85
滿洲支那地方誌概観	6	滿洲史の一節としての渤海國史	6
滿洲支那に於ける動物信仰	58	滿洲四頭政治に就て	11
滿洲支那の雨乞	59	滿洲民家斷想	67
滿洲支那の將來に付て史學の推測	4	滿洲民族	90
滿洲支那の將來に附て史學の推測	4	滿洲民族興起時代	5
滿洲文化史上の一挿話	3	滿洲民族とその言語	61
滿洲文化史概論	4	滿洲民族と民家	67
滿洲々學の回顧	69	滿洲民族に關する兩方面の觀察	90
滿洲水田概況	78	滿洲民族の斷絶「還元性」とその發展に就いて	90
滿洲水田概説	78	滿洲民族の過去	9
滿洲水田の將來	78	滿洲族の過去	90
滿洲水名雜記	14	滿洲民族の興亡	90
滿洲主要古址再覽	18	滿洲石炭丁致	51
滿洲出土古瓦管見	25	滿洲石器時代石斧の遺物形態學的研完	21
滿洲出土怪獸裝飾紋	31		

滿洲交通事情	53	の支那	21
滿洲各地に於ける小作慣行及小作料	80	滿洲事件の支那人の滿洲研究	11
滿洲各地の風車利用に關する基礎的調査	41	滿洲季語雜談	62
滿洲各通貨の歴史的研究	82	滿洲に於ける露西亞勢力の變遷	37
滿洲名産味覺くきと羊すつぼん	94	滿洲東部國境の地域的觀察	47
滿洲名義考	14	滿洲東部東境の界牌	39
滿洲吉林省石碑嶺發見金	92	滿洲東部國境の諸問題	39
滿洲地下資源に就て	51	滿洲東蒙古の三大遺蹟	29
滿洲地方志目錄	1	滿洲油 中	81
滿洲地方志考	3	滿洲物價極の行方	85
滿洲地方志綜合目錄	1	滿洲社會中の斷層	85
1. 滿洲の地理的特徴	43	滿洲社會經濟中の諸問題	85
滿洲地理區	44	滿洲社會經濟史の諸問題	85
滿洲地誌	46	滿洲社會と匪賊	88
滿洲地質學の父アネルト	41	滿洲虎	45
滿洲考古旅行記	16	滿洲金石志稿を前にして	2
滿洲考古資料	16	滿洲長安出土の漢代文字瓦當	24
滿洲考古資料餘話	16	滿洲阿片考	95
滿洲考古學界の近況	16	滿洲雨の地理的分布と最大量とに就いて	43
滿洲考古學界の趨勢	16	滿洲建築大觀	63
滿洲考古學發達小史	16	滿洲建築中概要(含考古記事)	16
滿洲考古學漫筆	16	滿洲建築中概要	62
滿洲考古學より東亞考古學へ	16	滿洲建築の特質	63
滿洲西北境に於ける露支交渉	37	滿洲旅行記	51
滿洲佛教建築中概説	62	滿洲旅行談(長棚の話)	13
滿洲初期の貿易と地理的環境	85	滿洲旅行談	51
滿洲志料	15	滿洲旅行談	6
滿洲成文法上に於ける私有分有林の意に就て	72	滿洲特産の大豆に就て	81
滿洲赤嶺の考古學的調査	65	滿洲神話とその展開	96
滿洲赤峰の考古學的調査(紅山		滿洲秘話暖作霖の遺言	15
		滿洲馬賊と匪賊	88
		滿洲問題	33

滿洲問題と支那の時勢……………	4	滿洲國植物調査研究略史……………	45
滿洲問題に關する露國新聞の忠 愛的論議……………	39	滿洲國都市の分布……………	46
滿洲問題の再發と李鴻章の卒去……………	38	滿洲國閩島省内古蹟調査略報……………	29
滿洲問題の局面變せんばず……………	38	滿洲國閩島省理春縣半拉城に就 いて……………	28
滿洲國人阿片中毒患者の購買人 類學的研究……………	59	滿洲國新出の古銀銅面及二三の 青銅遺物について……………	31
滿洲國內蒙古地帯に於ける民族 分布に就いて……………	53	滿洲國新興の興安省について……………	71
滿洲國內に現存する彫塑……………	62	滿洲國農民生産政策の吟味……………	77
滿洲國回教概観……………	57	滿洲國撫順の古瓦に就いて……………	24
滿洲國出土の所謂雞冠壺に就い て……………	65	滿洲國熱河建寧縣發見の古銀銅 面……………	31
滿洲國國民の性別構成……………	52	滿洲國熱河省新出の古銀銅面……………	31
滿洲國立博物館……………	17	滿洲國熱河省葉爾壽附近的遺蹟 に就て……………	29
滿洲國吉林省廳部屯第一回發掘 研究報告……………	15	滿洲國興安西省蒙古人に於ける 定住と文化の變遷……………	93
滿洲國吉林開山子の遺跡……………	20	滿洲國再安縣高勾麗遺蹟調査の 現況……………	26
滿洲國地方制度の確立……………	36	滿洲國錦州省錦州出土の劍柄形 銅器……………	23
滿洲國安東省輯安縣高勾麗遺蹟 の第二回調査……………	26	滿洲國曠野開拓の革命……………	41
滿洲國安東省輯安縣に於ける高 勾麗の遺蹟……………	26	滿洲國に於ける土地制度……………	72
滿洲國奉天省燕京城九連洞遺跡 について……………	20	滿洲國に於ける正大遺跡に就て……………	16
滿洲國財政十年史……………	84	滿洲國に於ける回回教……………	57
滿洲國婚姻法に關する考察……………	87	滿洲國に於ける外國人の不動産 權……………	74
滿洲國通化省輯安縣に於ける高 勾麗の壘畫古墳……………	26	滿洲國に於ける從來の土地賣買 手續……………	74
滿洲國喇嘛教の現狀……………	57	滿洲國の一農村に於ける農於の 租稅負擔……………	34
滿洲國朝陽の遼代碑文と佛塔……………	66	滿洲國の人口……………	52
滿洲國朝陽の遼代碑文と佛塔……………	32	滿洲國の土壤に就て……………	45
滿洲國植物調査研究略史……………	45		

滿洲國の交通と地理的影響… 53
 滿洲國の地形區… 43
 滿洲國の地域的發展と其の經濟區… 69
 滿洲國の地域に興亡せる民族の種類に就いて… 40
 滿洲國の治安と匪賊の由來… 88
 滿洲國の建國と其の現勢… 11
 滿洲國の建築… 63
 滿洲國の建築を語る… 63
 滿洲國の娯樂祭りに就いて… 58
 滿洲國の海運に就いて… 53
 滿洲國の國境及省界… 47
 滿洲國の植物分布と農林業… 47
 滿洲國の道路… 53
 滿洲國の鑛業資源… 83
 滿洲國族の停滯性… 86
 滿洲既耕地の生産力と肥料… 73
 滿洲既耕地の生産力の推移… 78
 滿洲現在の城堡類… 17
 滿洲産蓖麻子油に就て… 72
 滿洲産掌の新段階… 89
 滿洲研究の方面村落から都市へ47
 滿洲移民小史… 76
 滿洲移民の組織化傾向に就て… 76
 滿洲移植民考… 76
 滿洲通貨一般… 85
 滿洲通貨考… 85
 滿洲最古の文化民族… 90
 滿洲最古の石造拱橋… 68
 滿洲最近世史上に於ける國際關係の推移… 91

滿洲植民の效果一殊に黑龍江將軍特普欽の土地開放について… 75
 滿洲渤海區域に於ける地形上のニ特徴と上部リスブリヤ紀屬及び崗山餘の劃區分 就いて… 42
 滿洲發見古銀銅面について… 31
 滿洲街看板のぞ記… 95
 滿洲都市生活の物質… 46
 滿洲開拓史年表… 57
 滿洲開拓地理的歷程… 46
 滿洲開拓の發展に關する學考… 76
 滿洲開拓の發展に關する學考… 77
 滿洲舊國移民の阻害と諸問題… 76
 滿洲經濟地帯の形成に… 68
 滿洲經濟恐慌分析のための出發點として… 85
 滿洲經濟研究の出發點… 68
 滿洲經濟研究の新局面… 85
 滿洲經濟開發の飛躍性と金融統制の強化… 81
 滿洲經濟の發達… 88
 滿洲奇蹟萬能洞… 65
 滿洲旅人達海の碑… 94
 滿洲踏傍洞… 59
 滿洲農村土地態樣… 72
 滿洲農村に於ける部落結合の要素… 87
 滿洲農村に於ける階級構成論… 77
 滿洲農村の一幅寫… 77
 滿洲農村の一幅寫… 87
 滿洲農村の苦力… 52
 滿洲農村の貸借制度… 83
 滿洲農家金融に關する一考察… 83

滿洲農家經濟收支に現はれたる 小作の諸問題……………80	滿洲語學史補遺……………61
滿洲農家の年中行事……………95	滿洲語と北滿の地名……………14
滿洲農業所見……………77	滿洲語と漢字音の關係……………61
滿洲農業關係文献目錄……………1	滿洲語と漢語を混用したる歌本 「吃旁蟹」……………52
滿洲農業と商品取引資本……………77	滿洲語 (Nanai) の意義……………61
滿洲農業に於ける南滿型北滿型 に對する覺書……………77	滿洲語の語域……………61
滿洲農業に關する若干の文献に ついて……………1	滿洲語のはなし……………90
滿洲農業の生産規模……………77	滿洲撤兵と滿洲開放……………58
滿洲農業の現段階……………77	滿洲熱河方面の侵蝕面……………43
滿洲郷土玩具素描……………97	滿洲熱河省大名城發見の石宮等 について……………49
滿洲郷土玩具點描……………47	滿洲調査復命書……………16
滿洲旗人の家祭……………47	滿洲調査復命書……………92
滿洲旗人の部落を訪むて……………43	滿洲諸部の位置に就いて……………11
滿洲旗人の體質の人類學的研究……………85	滿洲諸都市の民族構成……………52
滿洲歌謠集……………47	滿洲博安縣に於ける高句麗の遺 蹟……………26
滿洲窩集小考……………87	滿洲遼墓と景教との關係に就い て……………57
滿洲精神の問題……………10	滿洲遼墓と景教との關係に就て……………9
滿洲給業史……………81	滿洲遼滿教の建築……………63
滿洲語……………61	滿洲薩滿教の家祭……………47
滿洲語今昔譚……………61	滿洲龍崗の現勢……………85
滿洲語及び通古斯語に於ける動 詞轉化の接尾語について……………11	滿洲舊石器時代の骨角器……………18
滿洲語及びツングシス語に於け る母音めについて……………91	滿洲關係漢籍解題……………1
滿洲語文典……………91	滿洲關係論文抄録……………1
滿洲語文典について……………91	滿洲蘋果の特色……………81
滿洲語史……………61	滿洲鐵道申立問題と清國……………49
滿洲語虚字の研究……………91	滿洲鐵道問題……………49
滿洲語圖書目錄……………1	滿洲鐵道處分の告別……………9
滿洲語綴字全書……………91	滿洲鐵道の「遼」人名に就いての 一考察……………72

- 滿洲あなぐら考……………67
 滿洲エスペラント運動史概観 62
 滿洲シャマン見學メモ……………59
 滿洲で見る門……………68
 滿洲と水……………45
 滿洲と朝鮮の薩滿教に就て……………59
 滿洲と蒙古との資料……………2
 滿洲に因む支那劇の話……………62
 滿洲に於ける人類學的視察談……………62
 滿洲に於ける入會地に就て……………75
 滿洲に於ける土地制度の沿革及び沿革的土地に發生せる小作關係の發展……………72
 滿洲に於ける小作様式と其の性質……………80
 滿洲に於ける山東苦力と河北苦力……………72
 滿洲に於ける工業立地と國土計畫……………47
 滿洲に於ける工業立地の諸問題……………47
 滿洲に於ける元の疆域……………13
 滿洲に於ける支那人口と支那の文化に就いて……………53
 滿洲に於ける支那人労働者……………52
 滿洲に於ける支那労働者……………52
 滿洲に於ける支那労働移民……………76
 滿洲に於ける支那鹽田及其習慣……………54
 滿洲に於ける日本の地位……………41
 滿洲に於ける日本の權益の内容……………41
 滿洲に於ける回教寺建築史の研究……………66
 滿洲に於ける北魏唐遼時代の文化的遺跡……………59
 滿洲に於ける古文書整理の概要……………15
 滿洲に於ける巨石遺物の地理的分布……………22
 滿洲に於ける民間信仰の神統に就いて……………58
 滿洲に於ける民間信仰……………58
 滿洲に於ける石炭……………82
 滿洲に於ける米國の勢力……………41
 滿洲に於ける我植民問題……………77
 滿洲に於ける私的土地所有の發展……………72
 滿洲に於ける京旗に屯墾に就て……………75
 滿洲に於ける宗教……………58
 滿洲に於ける宗教思想瞥見—主祭神を中心として—……………58
 滿洲における押租錢慣行……………88
 滿洲に於ける板硝子工業と其需給趨勢……………72
 滿洲に於ける金納小作形態の本質……………80
 滿洲に於ける金の疆域……………13
 滿洲に於ける阿片類……………85
 滿洲に於ける前漢末の遺物……………23
 滿洲に於ける建築用煉瓦工業……………72
 滿洲に於ける建築裝飾に就て……………68
 滿洲に於ける唐代文化の波及と渤海國……………6
 滿洲に於ける拳匪の叛亂……………59
 滿洲に於ける拳匪の叛亂……………59
 滿洲に於ける粟……………81
 滿洲に於ける特殊自治制度……………56
 滿洲に於ける特殊慣行に就て……………74
 滿洲に於ける特殊慣行に就て……………88

滿洲に於ける珠軒の制	25	的遺跡	25
滿洲に於ける馬匪と匪賊	88	滿洲に於ける漢代遺跡	23
滿洲に於ける高句麗遺蹟	25	滿洲に於ける漢代の城址	25
滿洲に於ける商店の構成とこれ が分析	85	滿洲に於ける漢民族の地位	85
滿洲に於ける國際鐵道戰	40	滿洲に於ける漢民族の移民地域	46
滿洲に於ける清初の喇嘛教建築	65	滿洲に於ける漢時代の遺跡	23
滿洲に於ける清時代の文化的遺 跡	63	滿洲に於ける熱河省の地位に就 て	46
滿洲に於ける清朝初期の滿洲字 碑(目錄)	54	滿洲に於ける賣契に就いて	74
滿洲に於ける移動人口—勞動力 としての苦力	52	滿洲に於ける蔬菜の需給	78
滿洲に於ける陶磁器工業と其の 需給	72	滿洲に於ける遼金時代の文化的 遺跡	29
滿洲に於ける勞働者運動の趨勢	52	滿洲に於ける遼金時代の徳塔	66
滿洲に於ける勞働問題に關する 一研究	52	滿洲に於ける遼の疆域	12
滿洲に於ける勞働運動特殊に勞 働爭議	52	滿洲に於ける薛仁貴の傳説	68
滿洲に於ける都市の形態	47	滿洲に於ける舊石器時代の最初 の發見	18
滿洲に於ける新鐵物バンドナイ ト	82	滿洲に於けるシャーマーンの大鼓 に就いて	97
滿洲に於ける落花生	85	滿洲に於けるソ聯の經濟活動と 列國	69
滿洲に於ける農家負債の深度原 因結果	83	滿洲に就て何を讀むべきか	1
滿洲に於ける農業事情	77	滿洲に絡む日露の史的彙録	97
滿洲に於ける農業恐慌	77	滿洲に對する支那の植民	76
滿洲に於ける滿人と其言語及書 籍	61	滿洲に關する對露外交批評	98
滿洲に於ける漢及び高句麗時代 的遺跡	23	滿洲に關するロシアの書物	2
滿洲に於ける漢及び高句麗時代		滿洲の人文地理	46
		滿洲の土地形態と地代形態	80
		滿洲の大豆と遼河の水運	53
		滿洲の大豆高粱粟作の經營成果	78
		滿洲の井戸(スケッチ)	67
		滿洲の天氣俚諺	95
		滿洲の孔子廟建築	65

滿洲の文化と遺蹟の史的考察	16	滿洲の考古學的遺跡	16
滿洲の水と滿洲の水に對する認識の今昔	45	滿洲の自然界	44
滿洲の火山に就て	44	滿洲の佛塔	66
滿洲の回教	57	滿洲の佛塔	66
滿洲の古領	59	滿洲の佛塔概説	66
滿洲の古人種	90	滿洲の佛寺建築	65
滿洲の古今城壁考	17	滿洲の佛教美術	62
滿洲の古物と支那の古文獻	16	滿洲の村落にあらはれた民族的交渉	93
滿洲の古建築と古墳	19	滿洲の言語と文字の變遷	61
滿洲の古建築と古墳	63	滿洲の典型的な衣料生産部門に於ける勞動事情	53
滿洲の古陶	55	滿洲の居住形態に關する一考察	46
滿洲の古碑	58	滿洲の松	45
滿洲の古話	95	滿洲の河川と傳説	96
滿洲の民家	67	滿洲の玩具	97
滿洲の民間信仰路傍祠	59	滿洲の玩具	98
滿洲の石器時代遺跡出土の型式と所感	18	滿洲の社寺廟觀	5
滿洲の石器時代遺跡出土の型式と所感	22	滿洲の門(スケッチ)	68
滿洲の石器時代遺跡と朝鮮の石器時代遺跡に就て	19	滿洲の信仰	58
滿洲の地代研究とその立場	80	滿洲の思出	16
滿洲の地方商業と都市	47	滿洲の苦力	5
滿洲の地形	44	滿洲の倉庫	67
滿洲の地域性	46	滿洲の城特輯グラフ	17
滿洲の地理を論じて渤海の五京に及ぶ	11	滿洲の城壁と傳説	17
滿洲の地質學	42	滿洲の娘娘祭に用ゆる呪物に就て	58
滿洲の地震古記録年表	45	滿洲の氣候區	77
滿洲の年中行事とそれに匹いた食物	95	滿洲の氣候と農業	76
滿洲の考石	16	滿洲の馬匪とその組織	88
		滿洲の馬裝	99
		滿洲の既往と將來	6
		滿洲の現代建築の基調	77

滿洲の鹿	45	滿洲を三韓といふことについて	11
滿洲の景域	45	滿珠國成立過程の一考察	10
滿洲の匪賊と不換紙幣	98	滿族入關前の經濟生活	86
(滿洲の)産業	81	滿清紀事の編刊について	3
滿洲の産業及貿易に就て	69	滿清遺事	9
滿洲の都市と其の景相	87	滿清の肇國と其の血統	9
滿洲の都市とその景相	47	滿華宗教の現状に關する印象	57
滿洲の結髮	94	滿漢二體の滿洲實録に就いて	15
滿洲の黒龍江地帯	42	滿蒙人(蒙古族通古斯族)指紋 の研究	89
滿洲の 矢に就いて	95	滿蒙土地商租問題	74
滿洲の歳の市	95	滿蒙支那關係重要記事索引	1
滿洲の當舖と奉天に於ける其の 金融	83	滿蒙支露主要地名	11
滿洲の經濟事情に就て	69	滿蒙支の古銅鐵器と古民族	23
滿蒙の經濟區に就て	69	滿蒙史論	4
滿洲の經濟發達と對支展望	69	滿蒙民族の史的考察	90
滿洲の農業	77	滿蒙民族の祭天	59
滿洲の農業	77	滿蒙民の今昔	90
滿洲の農業	73	滿蒙交界地方の地誌について	54
滿洲の農業地域	71	滿洲各民族の消長	90
滿洲の農業金融	83	滿蒙民方の言語に就て	60
滿洲の郷土玩具	97	滿蒙考古槩	15
滿洲の團扇	98	滿蒙住居考	49
滿洲の聚落	97	滿蒙巫史	97
滿洲の劇場	68	滿蒙言語の系統	66
滿洲の影繪	98	滿蒙旅行談(元上部中心)	13
滿洲の歴史	97	滿蒙探查旅誌	16
滿洲の燈籠	98	滿蒙移住漢民の數的考察	76
滿洲の諸佛塔	66	滿蒙開拓者として漢族商人	76
滿洲の舊石器時代に就いて	18	滿蒙新石器時代要論	19
滿洲のジュウ系概説	4	滿蒙新石器時代要論	19
滿洲のスミレ類	45	滿蒙資源の考察	81
滿洲のペスト流行とその迷信	59	滿蒙農業に關する參考文獻	11

滿蒙聚落の消長……………	47	滿蒙の鐵道問題と日本利權の推 移……………	40
滿蒙聚落の消長……………	46	滿蒙は支那本來の領土でない……………	41
滿蒙聚落の植民論的意義……………	46	滿韓交換論を評す……………	38
滿諸蒙鐵道の現状……………	41	滿韓風俗の梗概……………	94
滿蒙鮮と支那本部との關係……………	36	滿韓に起れる國際問題……………	41
滿蒙叢書刊行……………	3	滿鮮不可分史的考察……………	4
滿蒙藏は支那本來の領土に非る 論……………	41	滿鮮支旅行談……………	17
滿蒙邊疆地帶論……………	41	滿鮮古代の産鐵史料に就て……………	81
滿蒙に於ける支那人向商品と意 匠との關係……………	95	滿鮮史論……………	4
滿蒙に於ける日本の正當な地位……………	41	滿鮮史學上の内藤湖南博士……………	15
滿蒙に於ける日本の特殊權益に 關する資料……………	41	滿鮮史體系の再認識……………	4
滿蒙に於ける庶民金融機關……………	83	「滿鮮地理歴史研究報告」を中 心として見たる滿洲中世史研究……………	4
滿蒙に於ける契丹の遺蹟につい て……………	39	滿鮮國境古代文一の交流……………	5
滿蒙に残存せる元の二大史蹟……………	33	滿鮮諸族の始祖神話に就いて……………	96
滿蒙に對する日米の相異點……………	41	滿鮮關係史雜考……………	36
滿蒙の二民族に就て……………	41	滿鮮關係の新資料……………	15
滿蒙の土壤と農業……………	78	滿鮮に於ける竿木崇拜……………	97
滿蒙の文化……………	5	滿鮮の文化を語る……………	16
滿蒙の石器時代……………	19	滿鮮の朝鮮系及び震旦系層序の 三型式と秦嶺京城線の意義に就 いて……………	42
滿蒙の石器時代……………	19	滿鮮の繪高麗と支那の磁州窯……………	62
滿蒙の佛教美術……………	63	滿蘇國境東南部に關する文獻……………	3
滿蒙の宗教に就いて……………	58	滿蘇國境東南部に關する文獻……………	41
滿蒙の松……………	15	滿蘇國境珠爾干附近發見の遺物……………	21
滿蒙の風俗と生活……………	91	滿蘇國境珠爾干附近發見の遺物 追加……………	21
滿蒙の野性羊類……………	45	滿蘇國境興凱湖と其の水産……………	72
滿蒙の開拓地域……………	46	滿蘇國境の東南端に就て……………	47
滿蒙の開拓地域……………	78	滿蘇接壤帶地の經濟地理……………	71
滿蒙の遺蹟と支那の古陶磁……………	16	滿露國境考……………	47
滿蒙の舊石器時代……………	18		

滿ノ國境問題の展望……………	40	蒙古草原を行く再び蒙古草原を 行く三度び草原を行く……………	50
滿ノ國境雜記……………	47	蒙古高原と滿洲平原中部との地 形的相似……………	44
漢人の北滿發展……………	76	蒙古族及び通古斯族の體質人類 學的研究……………	89
漢人の蒙地開墾に就いて……………	76	蒙古會金鑛及興安各省鑛產地概 況……………	72
漢代古墳の發掘(鞍山)……………	42	蒙古薩滿の行事……………	97
漢代第三玄菟郡……………	35	蒙古藝文新録……………	2
漢代の滿洲……………	5	蒙古に行はれる小作制……………	89
漢代の壁畫古墳……………	23	蒙古に於ける土地所有權……………	71
漢代の壁畫に就いて……………	23	蒙古に於ける牧畜慣行……………	89
漢民族の滿洲移民と在滿朝鮮人 壓迫問題……………	76	蒙古に於ける封建制度……………	56
漢和對譯滿文老滿……………	15	蒙古に於ける財産相続の慣習……………	89
漢沓氏縣考……………	11	蒙古の身分制度に就いて……………	56
漢軍(烏真超哈)に就いて……………	55	蒙古と漢人農民……………	89
熊岳城蓋平海城の回教寺……………	67	蒙古に於ける一荷の一例に就て……………	89
睿親王多爾袞、九王の意義……………	10	蒙古の話……………	73
睿親王多爾袞を中心とに見たる 清朝初期の繼嗣……………	19	蒙旗に於ける地方制度に就て……………	56
雜詠の滿蒙……………	17	蒙旗の土地制度に就て(嶺北)……………	77
蒙支日譯滿洲實錄(1.2)……………	15	滿鮮萬奴事蹟考……………	8
蒙古人の地方型及びこれと接觸 せる達呼爾並びに索倫人……………	43	滿鮮萬奴國號考……………	3
蒙古土地の私賣禁止令……………	73	滿鮮萬奴國號考補正……………	8
蒙民日記……………	92	滿鮮萬奴の國號について……………	8
蒙古包……………	67	蓋平城撤去……………	14
蒙古包概説……………	67	蓋平から樺太へ……………	52
蒙古包の研究……………	67	蓋平の會館雜考……………	83
蒙古包の構造、寸法、組立……………	69	蓋平城址……………	27
蒙古村落瞥見……………	7	赫哲族踏査報告……………	43
古社會崩壞の歴史的過程……………	86	赫哲族踏査報告……………	43
蒙古勃興期に於ける金西夏關係……………	7	赫哲族に於けるバラについて……………	56
蒙古旅行談……………	51	赫圖阿拉構成の素描……………	14
蒙古旅行談……………	17		

遙輦氏傳説成立に關する史的考察	4
史研究に關する諸問題	5
鳳城附近の探査(メンヒル)	22
鳳凰山	27
齊北線地方特産情況	71
齊克總泰山背後地に於ける大豆作に代る穀類作出現に關する考察	73
齊克鐵路とその背後地	74
齊齊哈爾八旗の沿革	55
齊齊哈爾八旗の沿革	56
齊齊哈爾地方の霜と雪	43
齊齊哈爾近郊の五千年前の遺跡	18
齊齊哈爾の牛肉市場	82
十 五 訓	
劉豫の齊國を中心として觀たる金宋交渉	36
寬甸縣より發見の經路副使之印	34
廣開土王陵	26
廣開土王碑發見の由來と碑石の現状	38
徳林石小考	12
愷水—熱河へ	29
撫近門の扁額に就いて	10
撫順大官屯の古窯址	35
撫順出土瓷	35
撫順北關山城址(高句麗時代)	27
撫順永安公園附近に於ける石器及土器類分布狀況	20
撫順永安公園鬱ヶ丘遺蹟	37
撫順炭田古第三紀植物化石研究豫報	43

撫順炭礦の沿革	82
撫順郊外にて得たる頭蓋骨の人類學的研究	89
撫順城(明清)	34
撫順城郭考	34
撫順高句麗城址の陶片	35
撫順塔と石經幢(遼金)	66
撫順縣大石頭溝製鐵爐址に就て	36
撫順縣車塔	69
撫順遼代石經幢	33
撫順から興京へ古城址發見行	18
撫順に於ける開元の古碑銘	31
撫順の古文化	17
撫順の史蹟	17
撫順の發掘	20
撫順の遼代石經幢	31
撫順縣狀況	71
様子嶺の高塔	6a
歐美人の滿洲研究	4
熱河八大寺に於ける大發見	65
熱河山房地帶産中世紀爬虫類化石に就て	43
熱河及び間島中世層産レプトレピス科魚類化石	43
熱河文津閣小記	2
熱河文獻解説	2
熱河文獻綜覽	2
熱河北滿の史蹟調査略記	17
熱河史話	49
熱河老西營子 墓調査記	49
熱河西南部先史時代遺蹟表承徳瀋陽附近	20
熱河赤峰出土の一古鎮について	23

熱河赤峰出土の一古鏡に就て	3
熱河赤峰遊記	21
熱河赤峰の旅日記	51
熱河官莊旗地に於ける小作關係 に就て	80
熱河承德附近の新石器時代遺蹟	11
熱河省内古城調査	18
熱河省古山驛附近の古器時代遺 跡	41
熱河省平泉縣下鉛金	8
熱河省平泉縣產化縣銀鉛鑛調査 報告	8
熱河省生代植物化石に就て	42
熱河省承德附近伊犛廟台地出土 の遺物に就て	21
熱河省承徳の今昔(一)	20
熱河省昆蟲類	45
熱河省産蜘蛛類	46
熱河省灤平縣附近の遺蹟	25
熱河に於ける農産特に食糧資源 に就て	78
熱河省の古代文化と遺蹟	30
熱河省の考古學的調査研究の一 端	21
熱河畫行	63
熱河發見の契丹文字墓誌	31
熱河解説	63
熱河蒙地に於ける蒙漢兩民族十 地權利の一考察	73
熱河蒙旗	56
熱河蒙旗の歴史的考察	55
熱河蒙旗の歴史的考察	56
熱河錦州兩省發見陶器考	35

熱河錦州兩省發見陶器考	35
熱河避暑山莊及郊外の八大廟	63
熱河離宮回顧	64
熱河に現存せる文化的資料	2
熱河に關する歐人の著述	2
熱河の土	63
熱河の土俗	34
熱河の古建築	63
熱河の古蹟と傳説を拾る	49
熱河の先史時代遺跡	20
熱河の地理	44
熱河の地理區	43
熱河の地質及岩石	42
熱河の村と家	44
熱河の建築	63
熱河の風物	62
熱河の絨氈	48
熱河の喇嘛廟	65
熱河の植物	45
熱河の壁	23
熱河の遺蹟	63
熱河の遺蹟と遺物	20
熱河の避暑山莊と行宮	64
熱河の離宮	64
熱河の離宮と喇嘛寺	63
熱錦八旗外倉地の研究	74
熱錦の兩省の魚の化石	43
熱錦蒙地の處理に就て	73
稻葉君山博士の追憶	15
稻葉君山博士の學績	15
蝙蝠に關する蒙古の若干の傳説	6
鄭家屯西北砂丘地帯の一遺蹟	1
鄭家屯經濟狀態	71

鞍山中學校歴史研究室蒐集品目録	17	興安西省假測定古蹟古物一覽表	17
鞍山出土畫石について	51	興安西省の貿易	71
鞍山の調査	31	興安東省内に於ける鄂倫春民族の分布及生活並に風俗習慣	92
十六劃		興安東省内に於ける鄂倫春民族の分布及生活並に風俗習慣	94
墾務沿革	75	興安南省に於ける蒙地の考察	73
戦略上に於ける日露の優劣	39	興安嶺附近に於ける薩滿教の遺風	59
樺甸地方經濟事情	70	興安嶺に於けるヤクート民族概況	93
橋本増吉氏の遼の建國年代に就いてを讀む	7	興京二夜	34
歴代屯田考と興安屯墾軍	75	興城温泉地質調査	45
歴史上滿洲の支那主權の無根據を論ず	41	興城縣の古蹟	49
歴史上に於ける滿洲の地位	4	衛匡國の鞏鰲戰記	3
歴史上より見たる滿洲移民	76	輯安	49
歴史學年報(昭和十七年度)東洋史	1	輯安行高句麗時代の遺蹟調査	26
歴史を無視したりトン報告	41	輯安高句麗墓に關する一二の考察	25
淵の盟約と其の史的意義	7	輯安發見の畫像石(圖版解説)	32
燕州城及缸官屯の古蹟趾	35	遼大康通寶銀泉考	32
燕京に於ける金宋遼三國の角逐	7	遼大康通寶銀泉考	32
燕雲十六州解説	7	遼中京城址の大康	30
燕の北長城(萬里長城)の研究	24	遼中京城址の大康	66
第燕の長城考	24	遼代古墳の發掘とその出土品(鞍山)	31
燕の龍城と龍騰苑	24	遼代史概説	6
碩沙藏と彫刻藏所との發見並にその影印に就いて	3	遼代佛塔概説	6
穆陵炭一覽	32	遼代佛教に關する研究の發展	57
興安屯堡公署開放地の實態について	74	遼代社會に於ける佛教	57
興安北省三河地方經濟概観	71	遼代秦水考	13
興安北省内に於けるオロチヨン民族概況	90	遼代紀年考	7
		遼代混同江考	12

遼代貨幣史論……………	82	遼西鮮卑殷代考……………	5
遼代陵墓内の壁畫に就いて……………	30	遼西に於ける唐の太宗征に關する傳説……………	96
遼代烏古敵烈考……………	91	遼西交通路に就いて……………	13
遼代壁畫古墳……………	30	遼初史釋疑三題一迭刺部・漢域、西穢……………	7
遼代礦床考……………	81	遼宋の交通と遼國內に於ける經濟的發達……………	68
遼代に於ける契丹人の婚姻に就いて……………	86	遼東半島古領地の地層並に大島岩の類別……………	42
遼代に於ける奚に就て……………	92	遼東半島地形……………	44
遼代に於ける徙民政策と都市州縣制の成立……………	54	遼東半島南部に於ける聚落景觀……………	47
遼代に於ける讞人と刑法に關する一考察……………	54	遼東半島南部に於ける漢民族移住の地理考察……………	46
遼代の文化……………	29	遼東半島準平原の平坦度……………	44
遼代の瓦當文について興安西省發見古瓦の研究……………	35	遼東半島に於ける地層運動……………	44
遼代の邑會に就て……………	87	遼東半島に於ける地層運動……………	45
遼代の奇獸「貌狸」に就いて……………	95	遼東半島に於ける高麗の考古學上の事實……………	36
遼代の長春州について……………	12	遼東半島に發達する所謂低位置準平原とその諸性質によつて……………	44
遼代の建築……………	30	遼東半島の石室……………	22
遼代建築……………	63	遼東半島の地質一斑……………	43
遼代の素燒土器に就いて……………	35	遼東半島の海岸……………	43
遼代の國舅帳について……………	54	遼東半島の海岸……………	44
遼代の畫像石に就いて……………	32	遼東半島の海岸地形につて……………	43
遼代の溝城と炭山……………	12	遼東半島の遺蹟……………	17
遼代の壁畫について……………	30	遼東史話……………	4
遼史拾遺續補凡例……………	3	遼東行部志研究……………	3
遼史拾遺續補序……………	3	遼東記行……………	51
遼史校勘記序……………	3	遼東發見の古代土器……………	22
遼在金吾衛上將軍蕭德溫墓誌跋……………	31	遼東 墓人骨の拔齒例……………	22
遼代交通路の變遷……………	15	遼東屬國の性質に就て……………	54
遼西旅行談……………	51		
遼西義賢の石窟寺紀行……………	30		
遼西義縣の石窟寺記行……………	65		

遼東にて發見せし獅子狩り彫刻石	31	遼陽市外の佛塔	66
遼東の地勢地質に關する所見	42	遼陽南林子漢代右墳壁畫(圖版解説)	24
遼東の建築(含城郭史)	17	遼陽附近の壁畫右墳	24
遼東の建築	62	遼陽清真寺	67
遼東の建築	63	遼陽喇嘛墳碑文の解説	51
遼河上流地方の地理的特色	44	遼陽喇嘛墳碑記	54
遼金文字僅存録	60	遼陽發見の水盟	32
遼金民族の古傳と文化	56	遼陽發見の壁畫古墳	34
遼金交渉史	26	遼陽發見の壁畫古墳	30
遼・金・西夏・元・清・五朝の製字	60	遼陽新城實測報告書	24
遼金佛教の中心	57	遼陽壁畫古墳保存工事竣工	24
遼金時代の佛教	57	遼陽縣に於ける大家族に就て	87
遼金時代の糺軍に就いて	64	遼陽縣に於ける民事慣習	74
遼金時代の所謂糺軍に就いて	64	遼陽縣に於ける民事慣習	88
遼金都城考(北京通信)	50	遼陽縣に於ける農村の一考察	79
遼金塔の特徴と其の茶羅的性格	63	遼陽舊蹟叢話	48
遼金の古城址	50	遼陽に於ける漢代墳墓の發掘調査	24
遼宣懿皇后哀冊釋文	53	遼陽に發見せる遼代古墳の壁畫(遼陽東石岫山)	30
遼室君主權の成立に關する一考察	6	遼陽の一日	48
遼律の復舊	54	遼瀋の古蹟	24
遼處喇嘛墳碑文解説補正	31	遼陽の史蹟を探る	24
遼陵哀冊の哀冊と慶陵	29	遼陽の白塔	66
遼陵壁畫を通じて見たる契丹人生活の一面	94	遼陽の白塔に就て	66
遼彭城郡王劉繼文墓誌跋	31	遼陽の官署址寺觀	54
遼朝諸皇帝の東巡	13	遼陽の東京城及東京陵	14
遼開泰七年在銘石棺に伴出の青釉瓶に就て	35	遼陽の城垣につきて	24
遼陽古墳發掘記	24	遼慶陵の調査	30
遼陽太子河附近の壁畫ある古墳	44	遼靈感寺佛塔碑文並に舍利函關り刻	32
		遼靈感寺佛塔碑文並に舍利函彫	

刻	66
遼の上京城址	30
遼の上京と其遺品	30
遼の中京大寧城の廢墟	30
遼の中京城内に存在する石器時代の遺蹟	31
遼の中京城一址	30
遼の中京とその過去及現在中京内外遺蹟の研究	30
遼の太宗北支進出の一考察	6
遼の古都を尋ねて(上京慶州城陵墓等)	30
遼の西樓と北蕃地理志	12
遼の投下州に對する二三の臆測	54
遼の制度の二重軌系	54
遼の金 肢考	58
遼の建國年代 就いて	7
遼の建國に就いて	7
遼の皇族帳に就て	54
遼の祖洲・西樓說の原據について	12
遼の 民政策に就いての一私見	88
遼の部族制度に就て	54
遼の部族制度に就て	86
遼の部族制度に就いて	86
遼の陵墓について	30
遼の聖宗の女眞征伐	6
遼の道宗墓誌篆蓋上の十二支像	21
遼の慶州城	30
遼の慶陵	30
遼の樞密院に就いて	54
遼の遼東經路	6
遼の銅鑄	31

錦州北鎮縣出土墳 金古錢整理	60
記	32
錦州市民衆教育館所藏	17
錦州地方に於ける舊上古情況に就て	74
錦州省内に於て發見されたる古期中世代恐龍 Ichiosaurys の足跡に就いて	42
錦州省北票より熱河承德に至る地形及地質に就いて	42
錦州省北鎮縣の東嶽廟	65
錦州省興城縣の白塔に就いて	66
錦州省錦縣に於ける農村行政組織と其の運營現態	79
錦西縣の古蹟	48
錦熱蒙地奉天解說	74
錦熱蒙地に於ける租子と畝捐に就て	
錦縣城に於ける金融商工機構	83
錦縣の大廣濟寺と佛塔	66
錦縣の古蹟	48
尼克ブリアート社會に於けるキャンプタブーに就いて	87
靜嘉堂本女眞譯語攷略	60
綠江畔好太王の碑と將軍塚	26
鴨綠江 洞溝に於ける高句麗の遺跡	27
鴨綠江河 の高麗遺蹟壁畫上に見える歌舞音樂資料	26
鴨綠江を語る	53
鴨綠江と 河との比較	45
鴨綠江の水運	53
龍江省甘南縣に於けるステツプ	

十壤に就いて	45	營城子古墳壁畫繪記	24
龍江縣に於ける土地慣行	74	營城子古墳壁畫に關して	23
龍江に於ける燒鍋の現状	81	營城子古墳壁畫の畫題に於いて	23
龍鎮縣況	70	營城子古墳の壁畫に就いて	23
龍鎮縣農村慣行	79	營城子・前牧場驛附近の漢代壁畫甌墓	23
龍と滿洲の地名	14	營城子畫古墓篇を讀む	23
十 七 劃		聯盟報告に現れたる滿洲農業問題の斷面的檢討	77
嶺南蒙古記	50	薩滿教	59
濱北沿線地質	42	薩滿教私觀	59
濱田學士小川博士の滿洲古墳調査	17	薩滿教私觀	59
濱江省三靈屯の石器	20	薩滿教と滿洲族の家旗制度	87
濱江省哈爾濱市顧鄉屯化石產地帶報告	18	薩滿教に就て	59
濱江省ベクトナイト	82	薩滿教の神歌	97
濱綏線沿線に於ける物資流動の地理的考察	71	薩滿の祭儀に就て	97
濱綏線附近に於ける内地人の發展	52	薩滿の祭儀に就て	97
濱綏線經濟風土記	71	薩爾濟山戰碑考	35
濱綏線岡佳線北鮮地方の地理的研究	71	薩爾濟山の戰	9
營口附屬地沿革地	48	薩爾 行	31
營口開港前後	48	薩滿の巫祭と大仙の巫術	97
營口縣に於ける土地親族相續慣行調査	74	貔子窩南滿洲碧流河畔の先史時代遺跡	19
營口縣に於ける土地親族相續慣行調査	88	貔子窩遺跡發掘記	19
營口を中心とせる滿洲市場に於ける支那語商品名調査	85	貔子窩の土器	22
營口に於ける大屋子	84	貔子窩の起源及發達	19
營口の回教寺	67	韓人露領移住由來	76
營城子(東亞考古學會編)評	23	韓滿境界歴史	37
		鮮初の東北境との關係	9
		鮮卑族の活躍と高句麗の盛衰	5
		鮮滿及バルガ地方聞見錄	69
		鮮滿史に於ける土地附合に關する慣習	74

鮮満における前方後圓形	26
鮮満の正月民俗を語る座談會	95
鮮満見聞録より	51
十 八 劃	
瀋海沿線調査	69
瀋海沿線調査撫順縣清原縣海龍縣	69
瀋海沿線と奉天との關係	69
瀋陽縣に於ける地方自治の現狀	56
瀋獄問題に就いて上	36
瀋館考	36
糧饒に就いて	85
舊五代史契丹傳について	7
舊記問答	15
舊記とは如何なるものか	15
舊黑龍江省に於ける物權の習慣	74
舊黑龍江省に於ける物權の習慣	88
舊滿洲に於ける鄉村統治の形態	55
舊滿洲に於ける鄉村統治の形態	88
舊熱河蒙地の開墾資料二則	75
豐寧縣事情	69
醫巫閭山	48
鎌倉時代に於ける女真船の來航	84
雙山縣の經濟事情	69
雙城堡	49
双城縣に於ける農民から聽取調査覺書	79
雜誌索引(滿洲)	1
額爾克納左翼旗(三河)事情	71
魏初に於ける契丹勿吉間の諸部族に就て	91

十 九 劃

懐かしいドルメン	32
獸形圖様ある鈎ついて	63
羅子溝概況	70
羅叔言先生を憶ふ	15
羅振玉先生を偲びて	15
羅馬カトリック滿洲教區の開祖 ヴェロ——ル神父	58
邊境農村の發生的考査	87
邊疆異聞抄	50
鏡泊湖及び牡丹江の淡水魚	45
鏡泊湖畔黒石甸子の奇觀	12
鏡泊湖畔の先史學的調査覺書	20
關羽祠廟の由來並に變遷	57
關東州大和尚山に於ける震旦 珪岩層と片麻岩との關係に就いて	42
關東州大和尚山の構造に就て	44
關東州北部の地形學的考察	43
關東州北部の地形學的研究	43
關東州北部の地理學的研究	43
關東州石斧の形式	22
關東州名の起源	14
關東州青雲河口に附近の地質特 にその構造と地形とに いて	43
東關州計畫と滿洲國國土計畫	47
關東州彩色計器の一考察	22
關東州旅大山地の河岸段丘に就いて	44
關東州旅順管内山頭村會大營山 遺跡	19
關東州望奎瑯城石器時代遺蹟の 發掘	19
關東州董家口に於ける漢式墳墓	23

關東州家産古墳調査報告書……………33
關東州境地帯の社會事情……………57
關東州に於ける家産相續の慣習
について……………74
關東州に於ける家産相續の慣習
について……………38
關東州に於ける墓地舊慣……………94
關東州の古墳……………17
關東州の石劍と石槍……………22
關帝信仰に關する資料……………58
關帝廟建築史の研究並補訂……………65
關野先生と滿洲一帯に高句麗壁
畫古墳……………68
關野先生と滿洲古建築學……………68
關野先生と滿洲との關係……………68

二 十 劃

齊遼東邊道の全貌……………81
蘇子河流域に於ける高句麗と後
女眞の遺蹟……………27
蘇子河流域に於ける高句麗と後
女眞の遺蹟……………24
蘇密非武裝地帯各縣專悉……………71
蘇密城址踏査記……………29
蘇密城に就いて……………29
蘇聯邦近時の東洋學關係文献覺
書……………2
釋と粟と赭羯と糺軍……………54
露人最初の滿洲開拓者……………76
露人の爲した北滿洲の學術的研
究……………2
露支交渉の経緯とその將來……………38
露支協定成立と兩國の新關係……………38
露支國交の恢復……………38

露支葛藤と滿洲問題……………88
露支關係と列國の態度……………88
露文雜誌極東關係論文目錄……………3
露西亞の西北利亞併呑史概述……………37
露佛同盟と日露戦争……………39
露國將校の日露戰機談……………38
露國船舶松花江航行の由來……………40
露國黑龍江地方侵略史……………37
露國極東政策の主眼……………37
露國經濟と滿洲問題……………38
露國に對する合衆國の態度……………39
露國の朝鮮入兵一件……………37
露國の關東州古領略史……………48
露國の關東州古領略史—關東州
に於ける露國權の確立……………37
露清交渉小記……………29
露清國境貿易と長惠國條款……………37
露清關係の研究……………37
露清關係の第一期……………37
露清國境を觀る……………47
露領在任朝鮮人問題……………76

二 十 一 劃

欄間地考……………80
結奉天十産一福陵參拜記……………64
續東部蒙古旅行記……………92
鐵利考……………91
鐵利の住地について……………91
鐵都鞍山……………48
鐵道敷設以前に於ける滿洲の交
通及び經濟地理的狀態……………58
鐵嶺清真寺……………67
鐵嶺圓通寺と白塔……………66
鐵嶺衛の位置を疑ふ—和田教授

の「明初の滿洲經路」…………… 8
 鐵嶺龍首山及び圓通寺白塔の銅牌に就いて…………… 36
 鐵嶺の郷土史的考察…………… 48
 鐵嶺を含む南滿震旦系の層序について…………… 45
 顧郷屯に於ける化石發掘調査…………… 18
 「顧郷屯の二次的堆積」について…………… 18
 顧郷屯の二次堆積…………… 18
 顧郷屯の先史學的調査（豫報）…………… 18
 饒河縣事情…………… 71
 雞冠壺を出土せる最初の古墳について…………… 19

二十 二 劃

韃 考…………… 92
 韃 漂流記に就ての研究…………… 51
 韃 漂流記について…………… 51

二十 三 劃

蘿北縣の住民…………… 52

日 文 字 母

アーネルト氏とその滿洲地誌への寄與…………… 43
 アルカ 地帯調査…………… 45
 アルタ 兆諸民族とその言語…………… 60
 アルタ 諸語研究文獻（歐文之部）…………… 2
 ルケン考…………… 56
 ウ ツラロハトキン 往復書簡一…………… 11
 ニ…………… 11
 ウスリーを溯る…………… 53
 オランカイ及び刀伊の名義に就いて…………… 93

オランカイシ衛名稱考…………… 13
 オロチヨン 民具解説——大興安嶺東北部オロチヨン族踏査報告…………… 93
 オロチヨン族の歌謠と説話…………… 96
 オロチヨン族の歌謠と説話…………… 97
 オロチヨン、シヤマニスム…………… 59
 オロツユ 辭典セルケーレオント…………… 62
 オロツユ族…………… 93
 オンドル考…………… 63
 カナクと滿洲農業比較…………… 78
 カマボマ屋根の民家史…………… 67
 ギリヤク族に於ける外來語及び外來文化について…………… 61
 ク スチー滿洲五十年…………… 58
 グレベンシユチユフ滿洲文獻小論…………… 1
 ユズロフのハラホトに就いて…………… 57
 ゴ ド 民話…………… 96
 ゴ ド 族の社會構成…………… 86
 ゴルド族に關する調査及研究小史…………… 93
 ゴルド族の名稱分類に於けるゴルド族の位置および彼等の起源…………… 92
 ゴルドの民族名について…………… 92
 サマギル族に就いて…………… 93
 シベ ヤ * 蒙古及び歐露の異民族間に於けるシヤーマン教…………… 9
 シベ ヤ 魯石器時代…………… 18
 シベ ヤの滿洲族…………… 93
 「シヤンシン * モド」と「オブグバ」(部落神木信仰)…………… 59

ジュルシカ (Juried) ……	60	試譯 ……	97
「ジュシン」に對する一私幸 ……	56	にゆりちゆあん斷想 ……	58
ジュセンの一考察 ……	55	ノモンハン事件の顛末 ……	41
ジヨトホルル (喇嘛之一法會) ……	57	バルガ即ち呼倫貝爾に於ける諸 種族の分布及び産業 ……	93
シラムレン及興安地方旅行談 ……	92	バルガ 蒙古人の横顔 ……	93
シラムレン流域及興安嶺方面に 於ける東胡民族の遺跡 ……	51	ハルビン近郊發掘の洪積期人類 遺品 ……	18
ソ満國境の今昔閑話 ……	50	ハルビンに於けるトルコ民族の 生活 ……	94
その頃の關東州 ……	48	ハルビンに残るロシア建築 ……	67
タウル巫の正月 ……	97	はるびんの復活 ……	58
ダライノール水系の漁業 ……	72	ハルビンの博物館 ……	17
チャライノール出土の骨器につ いて ……	13	ハルビン博物館のボノソフ氏 ……	17
チヨゴラの慣行 (太集會) ……	57	ハルビン露西亞學者 ……	17
ツアーリと滿洲語彙 ……	41	ハロンアルシヤン行 ……	50
ツングース人男子 身骨路の一 例に就て ……	89	ハロンア シヤンの聖蛇 ……	59
ツングース民族研究の結論 ……	91	フランスに於ける滿洲研究 ……	4
ツングース族慣習法 ……	89	ブヤド蒙古史の諸問題 ……	93
ツングース族の土地所有關係 ……	75	フン・ブイ 地方の考古學的 遺跡 ……	33
ツングース族の土地所有關係 ……	89	ボグラニーチャ經濟史 ……	85
ツングース族の社會組織と婚姻 制度 ……	87	ホロンバイ 大草原 ……	50
ツングース諸方言の研究のため の資料 ……	62	ホロンバイ 草原 ……	50
トケブ吉岡君オロチオン踏査記 91 ——オロチオン民俗斷片—— ……	92	ホロンバイ 縦斷記 (蒙古の横 顔) ……	50
トルコ蒙古ツングース族におけ る呼稱年春者に關する考察 ……	37	ミユイー饒樂水考を續む ……	13
ドルメン ……	22	ミユイー 一師の略歴 ……	13
ドルメンミメンヒル ……	22	ヤクート族を訪ねて ……	93
トルメンに就て ……	32	「ロシア滿洲學」に就て ……	4
ニオフル氏ル天の祭に唱ふる詞		ロシアに於ける渤海研究者及び 文献について ……	2
		ロマノフカ村開拓過程 ……	76

れ國土の地位.....	16
ワールインマツハ 調査旅行誌.....	29
ワールマンハ 遼の陵墓の調査.....	30
ワールマンハの遼陵.....	29

